

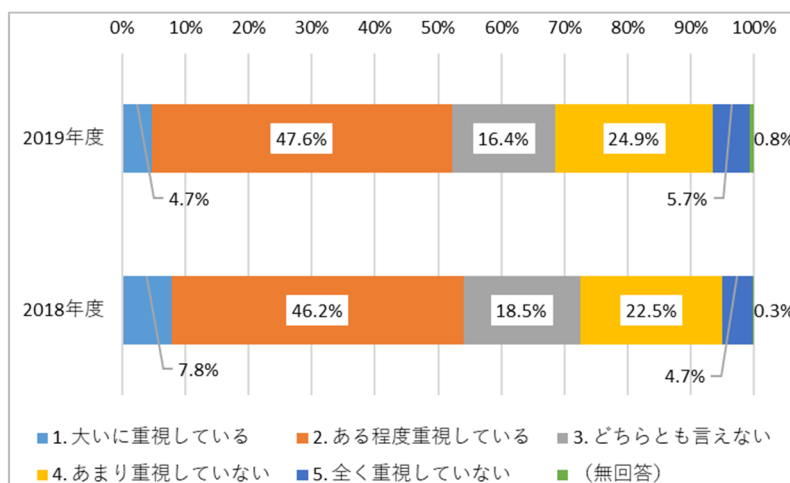
## VII. 採用選考活動における学業成果の活用について

### (1) 採用選考活動における学業成果の重視について

○採用選考活動において、卒業・修了前年度までの学業成果（成績や履修履歴等）を重視しているか尋ねたところ、「大いに重視している」、「ある程度重視している」と回答した企業の合計は52.3%であった。「全く重視していない」、「あまり重視していない」と回答した企業の合計は30.6%であった。

採用選考活動において、卒業・修了前年度までの学業成果（成績や履修履歴等）を重視していますか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 大いに重視している	2. ある程度重視している	3. どちらとも言えない	4. あまり重視していない	5. 全く重視していない	(無回答)
923	43	439	151	230	53	7
100.0%	4.7%	47.6%	16.4%	24.9%	5.7%	0.8%



2019年度 N=923  
2018年度 N=957

※採用活動を実施したと回答した923社に質問

業種別クロス集計表		全体	1.大いに重視している	2.ある程度重視している	3.どちらとも言えない	4.あまり重視していない	5.全く重視していない	(無回答)
全体		923	43	439	151	230	53	7
		100.0%	4.7%	47.6%	16.4%	24.9%	5.7%	0.8%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	0	1	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	89	3	41	17	20	7	1
		100.0%	3.4%	46.1%	19.1%	22.5%	7.9%	1.1%
	3. 製造業	328	22	180	45	72	8	1
		100.0%	6.7%	54.9%	13.7%	22.0%	2.4%	0.3%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	13	0	10	1	1	0	1
		100.0%	0.0%	76.9%	7.7%	7.7%	0.0%	7.7%
	5. 情報通信業	69	4	37	8	14	6	0
		100.0%	5.8%	53.6%	11.6%	20.3%	8.7%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	35	0	16	8	8	3	0
		100.0%	0.0%	45.7%	22.9%	22.9%	8.6%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	182	4	61	34	67	14	2
		100.0%	2.2%	33.5%	18.7%	36.8%	7.7%	1.1%
	8. 金融業、保険業	24	1	17	4	1	0	1
		100.0%	4.2%	70.8%	16.7%	4.2%	0.0%	4.2%
	9. 不動産業、物品賃貸業	11	0	5	2	3	1	0
		100.0%	0.0%	45.5%	18.2%	27.3%	9.1%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	0	11	2	1	1	0
		100.0%	0.0%	73.3%	13.3%	6.7%	6.7%	0.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	14	0	6	3	4	1	0
		100.0%	0.0%	42.9%	21.4%	28.6%	7.1%	0.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	10	0	1	6	3	0	0
		100.0%	0.0%	10.0%	60.0%	30.0%	0.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	14	1	5	2	5	1	0
		100.0%	7.1%	35.7%	14.3%	35.7%	7.1%	0.0%
	14. 医療、福祉	25	4	10	1	7	2	1
		100.0%	16.0%	40.0%	4.0%	28.0%	8.0%	4.0%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	54	3	15	11	18	7	0
		100.0%	5.6%	27.8%	20.4%	33.3%	13.0%	0.0%
16. その他	30	1	18	4	5	2	0	
	100.0%	3.3%	60.0%	13.3%	16.7%	6.7%	0.0%	
(無回答)	8	0	5	3	0	0	0	
	100.0%	0.0%	62.5%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 大いに重視している	2. ある程度重視している	3. どちらとも言えない	4. あまり重視していない	5. 全く重視していない	(無回答)
全体		923	43	439	151	230	53	7
		100.0%	4.7%	47.6%	16.4%	24.9%	5.7%	0.8%
従業員数	1. 100人未満	61	2	23	15	19	1	1
		100.0%	3.3%	37.7%	24.6%	31.1%	1.6%	1.6%
	2. 100人以上～300人未満	396	18	176	70	110	19	3
		100.0%	4.5%	44.4%	17.7%	27.8%	4.8%	0.8%
	3. 300人以上～500人未満	124	3	62	14	38	7	0
		100.0%	2.4%	50.0%	11.3%	30.6%	5.6%	0.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	83	4	41	13	20	5	0
		100.0%	4.8%	49.4%	15.7%	24.1%	6.0%	0.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	124	8	67	19	19	9	2
		100.0%	6.5%	54.0%	15.3%	15.3%	7.3%	1.6%
	6. 5,000人以上～10,000人未満	64	3	36	11	9	5	0
		100.0%	4.7%	56.3%	17.2%	14.1%	7.8%	0.0%
	7. 10,000人以上	69	5	33	9	15	6	1
		100.0%	7.2%	47.8%	13.0%	21.7%	8.7%	1.4%
(無回答)	2	0	1	0	0	1	0	
	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	

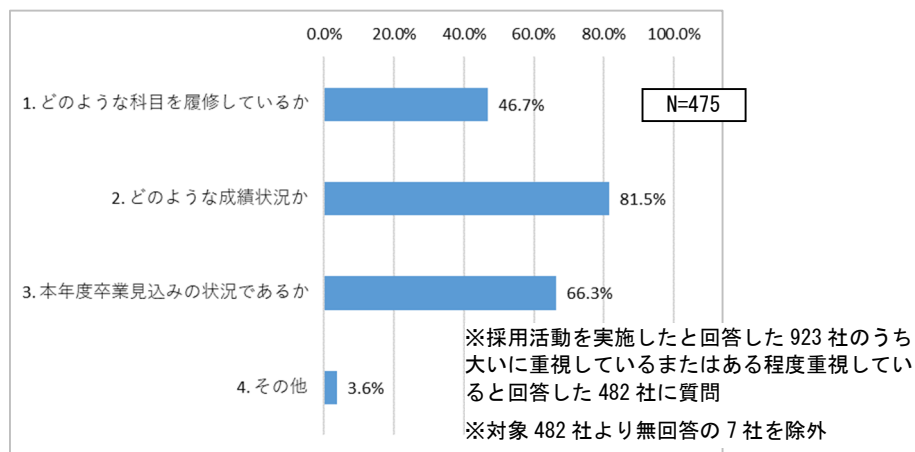
所在地別クロス集計表		全体	1. 大いに重視している	2. ある程度重視している	3. どちらとも言えない	4. あまり重視していない	5. 全く重視していない	(無回答)
全体		923	43	439	151	230	53	7
		100.0%	4.7%	47.6%	16.4%	24.9%	5.7%	0.8%
所在地	1. 北海道・東北	80	2	45	12	17	4	0
		100.0%	2.5%	56.3%	15.0%	21.3%	5.0%	0.0%
	2. 関東（東京以外）	130	9	56	20	38	6	1
		100.0%	6.9%	43.1%	15.4%	29.2%	4.6%	0.8%
	3. 東京	253	14	120	42	50	24	3
		100.0%	5.5%	47.4%	16.6%	19.8%	9.5%	1.2%
	4. 中部	168	6	79	37	37	8	1
		100.0%	3.6%	47.0%	22.0%	22.0%	4.8%	0.6%
	5. 近畿	162	9	79	19	46	7	2
		100.0%	5.6%	48.8%	11.7%	28.4%	4.3%	1.2%
	6. 中国・四国	76	1	40	9	23	3	0
		100.0%	1.3%	52.6%	11.8%	30.3%	3.9%	0.0%
	7. 九州・沖縄	51	2	17	12	19	1	0
		100.0%	3.9%	33.3%	23.5%	37.3%	2.0%	0.0%
(無回答)	3	0	3	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

## (2) 学業成果のどのような点を重視しているかについて

○ (1) にて学業成果を「大いに重視している」「ある程度重視している」と回答した企業(482社)に対し、学業成果のどのような点について重視しているかを尋ねたところ、「どのような成績状況か」(81.5%)が最も多く、次いで「本年度卒業見込みの状況であるか」(66.3%)との回答が多かった。

採用選考活動において、学業成果のどのような点について重視していますか（当てはまるものを全て選択）

全体	1. どのような科目を履修しているか	2. どのような成績状況か	3. 本年度卒業見込みの状況であるか	4. その他
475	222	387	315	17
	46.7%	81.5%	66.3%	3.6%



業種別クロス集計表	全体	1. どのような科目を履修しているか	2. どのような成績状況か	3. 本年度卒業見込みの状況であるか	4. その他	
全体	475	222	387	315	17	
		46.7%	81.5%	66.3%	3.6%	
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	1	1	1	1	0
			100.0%	100.0%	100.0%	0.0%
	2. 建設業	44	24	35	30	0
			54.5%	79.5%	68.2%	0.0%
	3. 製造業	199	113	175	118	5
			56.8%	87.9%	59.3%	2.5%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	10	5	7	10	0
			50.0%	70.0%	100.0%	0.0%
	5. 情報通信業	40	19	28	27	3
			47.5%	70.0%	67.5%	7.5%
	6. 運輸業、郵便業	16	6	13	10	0
			37.5%	81.3%	62.5%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	64	15	45	53	3
			23.4%	70.3%	82.8%	4.7%
	8. 金融業、保険業	17	5	14	12	0
			29.4%	82.4%	70.6%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	5	2	4	3	0
			40.0%	80.0%	60.0%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	11	8	11	5	0
			72.7%	100.0%	45.5%	0.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	6	1	5	5	0
			16.7%	83.3%	83.3%	0.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	1	0	0	1	0
			0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	6	1	5	4	2
			16.7%	83.3%	66.7%	33.3%
	14. 医療、福祉	13	4	12	9	4
			30.8%	92.3%	69.2%	30.8%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	18	7	10	10	0
			38.9%	55.6%	55.6%	0.0%
	16. その他	19	8	17	13	0
			42.1%	89.5%	68.4%	0.0%
(無回答)	5	3	5	4	0	
		60.0%	100.0%	80.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. どのような科目を履修しているか	2. どのような成績状況か	3. 本年度卒業見込みの状況であるか	4. その他
全体		475	222	387	315	17
			46.7%	81.5%	66.3%	3.6%
従業員数	1. 100人未満	24	8	16	16	1
			33.3%	66.7%	66.7%	4.2%
	2. 100人以上～300人未満	191	92	155	105	8
			48.2%	81.2%	55.0%	4.2%
	3. 300人以上～500人未満	65	33	51	46	0
			50.8%	78.5%	70.8%	0.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	45	22	40	32	1
			48.9%	88.9%	71.1%	2.2%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	74	32	62	56	4
		43.2%	83.8%	75.7%	5.4%	
6. 5,000人以上～10,000人未満	38	20	31	30	0	
		52.6%	81.6%	78.9%	0.0%	
7. 10,000人以上	37	15	31	29	3	
		40.5%	83.8%	78.4%	8.1%	
(無回答)	1	0	1	1	0	
		0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	

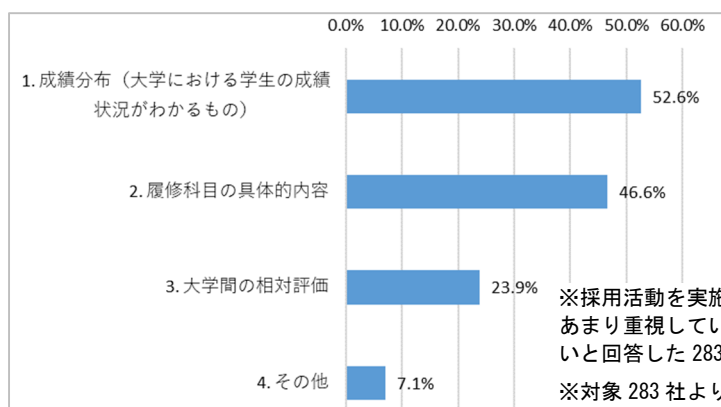
所在地別クロス集計表		全体	1. どのような科目を履修しているか	2. どのような成績状況か	3. 本年度卒業見込みの状況であるか	4. その他
全体		475	222	387	315	17
			46.7%	81.5%	66.3%	3.6%
所在地	1. 北海道・東北	46	22	36	31	1
			47.8%	78.3%	67.4%	2.2%
	2. 関東（東京以外）	65	35	58	43	5
			53.8%	89.2%	66.2%	7.7%
	3. 東京	130	60	102	95	3
			46.2%	78.5%	73.1%	2.3%
	4. 中部	84	39	67	54	3
			46.4%	79.8%	64.3%	3.6%
	5. 近畿	88	35	70	61	5
		39.8%	79.5%	69.3%	5.7%	
6. 中国・四国	40	22	37	19	0	
		55.0%	92.5%	47.5%	0.0%	
7. 九州・沖縄	19	8	15	10	0	
		42.1%	78.9%	52.6%	0.0%	
(無回答)	3	1	2	2	0	
		33.3%	66.7%	66.7%	0.0%	

### (3) 学業成果を重視するとした場合、どのような要素が必要かについて

○ (1) にて学業成果を「あまり重視していない」「全く重視していない」と回答した企業（283社）に対し、学業成果を重視するとした場合、どのような要素が必要かについて尋ねたところ、「成績分布（大学における学生の成績状況がわかるもの）（52.6%）」との回答が最も多く、次いで「履修科目の具体的内容」（46.6%）」との回答が多かった。

採用選考活動において、学業成果を重視するとした場合、どのような要素が必要ですか（複数回答）

全体	1. 成績分布	2. 履修科目の具体的内容	3. 大学間の相対評価	4. その他
268	141	125	64	19
	52.6%	46.6%	23.9%	7.1%



※採用活動を実施したと回答した 923 社のうち  
あまり重視していないまたは全く重視して  
いないと回答した 283 社に質問

※対象 283 社より無回答の 15 社を除く

業種別クロス集計表	全体	1. 成績分布	2. 履修科目の具体的内容	3. 大学間の相対評価	4. その他
全体	268	141	125	64	19
		52.6%	46.6%	23.9%	7.1%
1. 鉱業・採石業、砂利採取業	1	0	1	0	0
		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
2. 建設業	25	11	12	6	2
		44.0%	48.0%	24.0%	8.0%
3. 製造業	76	39	43	15	3
		51.3%	56.6%	19.7%	3.9%
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	1	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
5. 情報通信業	19	9	9	5	2
		47.4%	47.4%	26.3%	10.5%
6. 運輸業、郵便業	10	6	2	3	1
		60.0%	20.0%	30.0%	10.0%
7. 卸売業、小売業	76	39	36	20	4
		51.3%	47.4%	26.3%	5.3%
8. 金融業、保険業	1	0	1	0	0
		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
9. 不動産業、物品賃貸業	4	3	3	1	0
		75.0%	75.0%	25.0%	0.0%
10. 学術研究、専門・技術サービス業	2	2	1	1	1
		100.0%	50.0%	50.0%	50.0%
11. 宿泊業、飲食サービス業	4	2	3	0	0
		50.0%	75.0%	0.0%	0.0%
12. 生活関連サービス業、娯楽業	3	1	1	0	1
		33.3%	33.3%	0.0%	33.3%
13. 教育・学習支援業	6	5	1	2	1
		83.3%	16.7%	33.3%	16.7%
14. 医療、福祉	9	8	1	0	1
		88.9%	11.1%	0.0%	11.1%
15. サービス業 (他に分類されないもの)	24	11	10	8	1
		45.8%	41.7%	33.3%	4.2%
16. その他	7	5	1	3	1
		71.4%	14.3%	42.9%	14.3%
(無回答)	0	0	0	0	0
		-	-	-	-

従業員数別クロス集計表		全体	1. 成績分布	2. 履修科目の具体的内容	3. 大学間の相対評価	4. その他
全体		268	141	125	64	19
			52.6%	46.6%	23.9%	7.1%
従業員数	1. 100人未満	20	10	9	5	0
			50.0%	45.0%	25.0%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	121	55	59	25	12
			45.5%	48.8%	20.7%	9.9%
	3. 300人以上～500人未満	43	21	21	9	3
			48.8%	48.8%	20.9%	7.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	22	12	10	8	1
			54.5%	45.5%	36.4%	4.5%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	27	16	11	6	0
			59.3%	40.7%	22.2%	0.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	14	10	6	3	1	
		71.4%	42.9%	21.4%	7.1%	
7. 10,000人以上	20	16	9	7	2	
		80.0%	45.0%	35.0%	10.0%	
(無回答)	1	1	0	1	0	
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

所在地別クロス集計表		全体	1. 成績分布	2. 履修科目の具体的内容	3. 大学間の相対評価	4. その他
全体		268	141	125	64	19
			52.6%	46.6%	23.9%	7.1%
所在地	1. 北海道・東北	19	10	6	4	2
			52.6%	31.6%	21.1%	10.5%
	2. 関東（東京以外）	42	19	25	10	1
			45.2%	59.5%	23.8%	2.4%
	3. 東京	71	42	29	15	5
			59.2%	40.8%	21.1%	7.0%
	4. 中部	43	19	20	11	4
			44.2%	46.5%	25.6%	9.3%
	5. 近畿	51	26	25	9	5
			51.0%	49.0%	17.6%	9.8%
6. 中国・四国	24	16	12	10	1	
		66.7%	50.0%	41.7%	4.2%	
7. 九州・沖縄	18	9	8	5	1	
		50.0%	44.4%	27.8%	5.6%	
(無回答)	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	

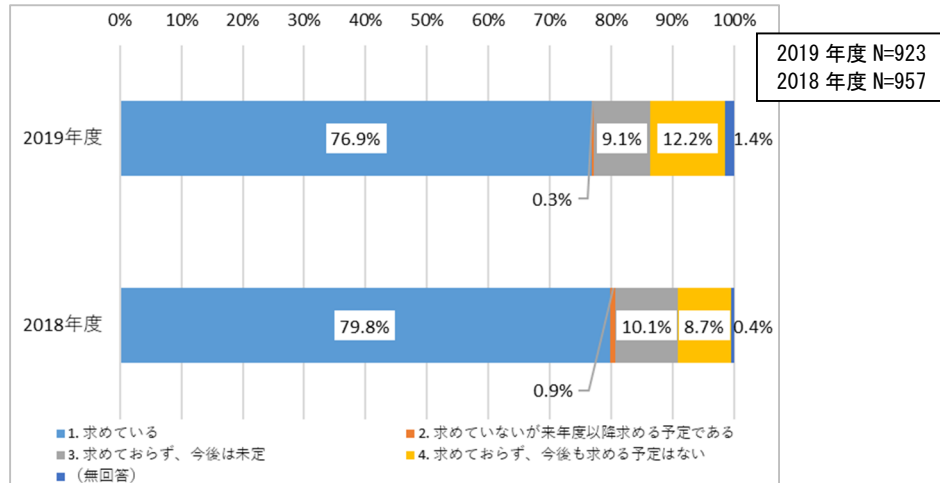
#### (4) 学業成果を表す書類やデータの提出を求めているかについて

○本年度の応募者全員に学業成果を表す書類やデータ（例えば、成績証明書や履修履歴等）の提出を求めているかを尋ねたところ、「求めている」と回答した企業が最も多く、76.9%であった。次いで「求めておらず、今後も求める予定はない」（12.2%）、「求めておらず、今後は未定」（9.1%）であった。



本年度の応募者全員に学業成果を表す書類やデータ（例えば、成績証明書や履修履歴等）の提出を求めていますか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 求めている	2. 求めているが来年度以降求める予定である	3. 求めておらず、今後は未定	4. 求めておらず、今後も求める予定はない	(無回答)
923	710	3	84	113	13
100.0%	76.9%	0.3%	9.1%	12.2%	1.4%



※採用活動を実施したと回答した 923 社に質問

業種別クロス集計表		全体	1. 求めている	2. 求めていないが 来年度以降求める 予定である	3. 求めておらず、今後 は未定	4. 求めておらず、 今後求める予定 はない	(無回答)
全体		923	710	3	84	113	13
		100.0%	76.9%	0.3%	9.1%	12.2%	1.4%
業 種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	2	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	89	71	0	9	9	0
		100.0%	79.8%	0.0%	10.1%	10.1%	0.0%
	3. 製造業	328	276	2	18	27	5
		100.0%	84.1%	0.6%	5.5%	8.2%	1.5%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	13	11	0	1	0	1
		100.0%	84.6%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%
	5. 情報通信業	69	52	0	6	11	0
		100.0%	75.4%	0.0%	8.7%	15.9%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	35	24	0	8	3	0
		100.0%	68.6%	0.0%	22.9%	8.6%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	182	129	0	20	27	6
		100.0%	70.9%	0.0%	11.0%	14.8%	3.3%
	8. 金融業、保険業	24	20	0	3	1	0
		100.0%	83.3%	0.0%	12.5%	4.2%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	11	6	0	0	5	0
		100.0%	54.5%	0.0%	0.0%	45.5%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	15	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	14	12	0	1	1	0
		100.0%	85.7%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	10	3	0	3	4	0
		100.0%	30.0%	0.0%	30.0%	40.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	14	9	0	3	2	0
		100.0%	64.3%	0.0%	21.4%	14.3%	0.0%
	14. 医療、福祉	25	17	0	4	4	0
		100.0%	68.0%	0.0%	16.0%	16.0%	0.0%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	54	37	0	7	10	0
		100.0%	68.5%	0.0%	13.0%	18.5%	0.0%
	16. その他	30	19	1	1	8	1
		100.0%	63.3%	3.3%	3.3%	26.7%	3.3%
(無回答)	8	7	0	0	1	0	
	100.0%	87.5%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 求めている	2. 求めていないが 来年度以降求める 予定である	3. 求めておらず、今後 は未定	4. 求めておらず、 今後も求める予定 はない	(無回答)
全体		923	710	3	84	113	13
		100.0%	76.9%	0.3%	9.1%	12.2%	1.4%
従業員数	1. 100人未満	61	39	0	14	7	1
		100.0%	63.9%	0.0%	23.0%	11.5%	1.6%
	2. 100人以上～300人未満	396	305	1	33	50	7
		100.0%	77.0%	0.3%	8.3%	12.6%	1.8%
	3. 300人以上～500人未満	124	101	1	11	10	1
		100.0%	81.5%	0.8%	8.9%	8.1%	0.8%
	4. 500人以上～1,000人未満	83	65	0	7	10	1
		100.0%	78.3%	0.0%	8.4%	12.0%	1.2%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	124	99	1	7	15	2
		100.0%	79.8%	0.8%	5.6%	12.1%	1.6%
6. 5,000人以上～10,000人未満	64	50	0	6	8	0	
	100.0%	78.1%	0.0%	9.4%	12.5%	0.0%	
7. 10,000人以上	69	50	0	6	12	1	
	100.0%	72.5%	0.0%	8.7%	17.4%	1.4%	
(無回答)	2	1	0	0	1	0	
	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	

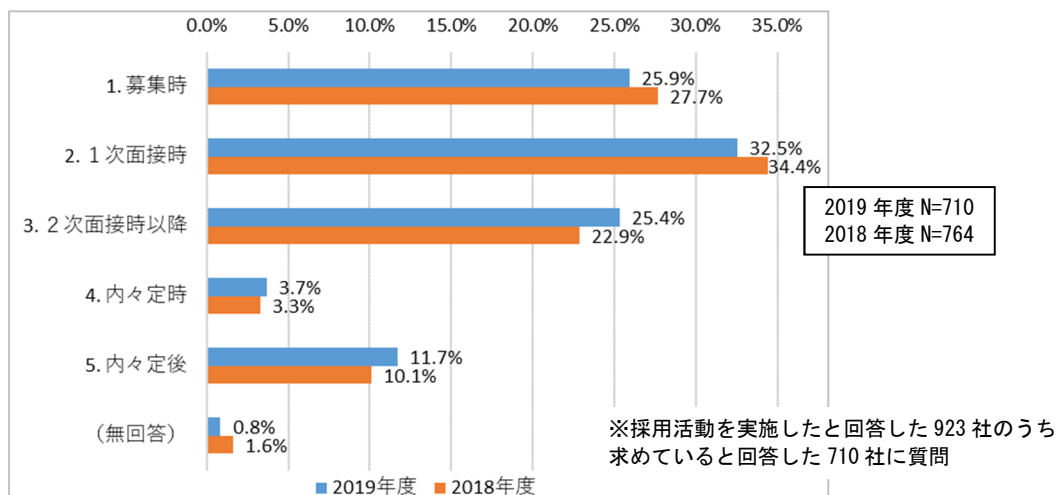
所在地別クロス集計表		全体	1. 求めている	2. 求めていないが 来年度以降求める 予定である	3. 求めておらず、今後 は未定	4. 求めておらず、 今後も求める予定 はない	(無回答)
全体		923	710	3	84	113	13
			76.9%	0.3%	9.1%	12.2%	1.4%
所在地	1. 北海道・東北	80	57	2	8	11	2
			71.3%	2.5%	10.0%	13.8%	2.5%
	2. 関東（東京以外）	130	103	0	14	11	2
			79.2%	0.0%	10.8%	8.5%	1.5%
	3. 東京	253	189	1	23	35	5
			74.7%	0.4%	9.1%	13.8%	2.0%
	4. 中部	168	145	0	6	16	1
			86.3%	0.0%	3.6%	9.5%	0.6%
	5. 近畿	162	120	0	20	20	2
			74.1%	0.0%	12.3%	12.3%	1.2%
6. 中国・四国	76	59	0	5	12	0	
		77.6%	0.0%	6.6%	15.8%	0.0%	
7. 九州・沖縄	51	34	0	8	8	1	
		66.7%	0.0%	15.7%	15.7%	2.0%	
(無回答)	3	3	0	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

(5) どの段階で学業成果を表す書類やデータを提出させたかについて

○(4)で学業成果を表す書類やデータの提出を「求めている」と回答した企業(710社)に対し、どの段階で学業成果を表す書類やデータを提出させたかを尋ねたところ、「1次面接時」(32.5%)との回答が最も多く、次いで「募集時」(25.9%)「2次面接時以降」(25.4%)との回答が多かった。

どの段階で学生に学業成果を表す書類やデータ（例えば、成績証明書や履修履歴等）を提出させましたか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 募集時	2. 1次面接時	3. 2次面接時以降	4. 内々定時	5. 内々定後	(無回答)
710	184	231	180	26	83	6
100.0%	25.9%	32.5%	25.4%	3.7%	11.7%	0.8%



業種別クロス集計表		全体	1. 募集時	2. 1次面接時	3. 2次面接時以降	4. 内々定時	5. 内々定後	(無回答)
全体		710	184	231	180	26	83	6
		100.0%	25.9%	32.5%	25.4%	3.7%	11.7%	0.8%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	1	0	0	0	1	0
		100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	2. 建設業	71	28	18	16	3	6	0
		100.0%	39.4%	25.4%	22.5%	4.2%	8.5%	0.0%
	3. 製造業	276	75	100	74	8	16	3
		100.0%	27.2%	36.2%	26.8%	2.9%	5.8%	1.1%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	11	2	5	2	0	2	0
		100.0%	18.2%	45.5%	18.2%	0.0%	18.2%	0.0%
	5. 情報通信業	52	6	21	13	5	7	0
		100.0%	11.5%	40.4%	25.0%	9.6%	13.5%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	24	3	9	5	0	7	0
		100.0%	12.5%	37.5%	20.8%	0.0%	29.2%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	129	21	34	40	4	29	1
		100.0%	16.3%	26.4%	31.0%	3.1%	22.5%	0.8%
	8. 金融業、保険業	20	7	5	5	1	2	0
		100.0%	35.0%	25.0%	25.0%	5.0%	10.0%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	6	1	2	1	0	2	0
		100.0%	16.7%	33.3%	16.7%	0.0%	33.3%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	3	8	2	0	2	0
		100.0%	20.0%	53.3%	13.3%	0.0%	13.3%	0.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	12	3	2	4	1	2	0
		100.0%	25.0%	16.7%	33.3%	8.3%	16.7%	0.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	3	0	1	0	0	2	0
		100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	9	7	0	1	0	0	1
		100.0%	77.8%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	11.1%
	14. 医療、福祉	17	11	4	2	0	0	0
		100.0%	64.7%	23.5%	11.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	37	6	14	9	3	4	1
		100.0%	16.2%	37.8%	24.3%	8.1%	10.8%	2.7%
16. その他	19	7	5	5	1	1	0	
	100.0%	36.8%	26.3%	26.3%	5.3%	5.3%	0.0%	
(無回答)	7	3	3	1	0	0	0	
	100.0%	42.9%	42.9%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 募集時	2. 1次面接時	3. 2次面接時以降	4. 内々定時	5. 内々定後	(無回答)
全体		710	184	231	180	26	83	6
		100.0%	25.9%	32.5%	25.4%	3.7%	11.7%	0.8%
従業員数	1. 100人未満	39	12	11	7	3	6	0
		100.0%	30.8%	28.2%	17.9%	7.7%	15.4%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	305	92	116	62	6	28	1
		100.0%	30.2%	38.0%	20.3%	2.0%	9.2%	0.3%
	3. 300人以上～500人未満	101	25	31	29	6	7	3
		100.0%	24.8%	30.7%	28.7%	5.9%	6.9%	3.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	65	10	23	17	4	10	1
		100.0%	15.4%	35.4%	26.2%	6.2%	15.4%	1.5%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	99	19	32	32	2	14	0
		100.0%	19.2%	32.3%	32.3%	2.0%	14.1%	0.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	50	17	8	13	1	10	1	
	100.0%	34.0%	16.0%	26.0%	2.0%	20.0%	2.0%	
7. 10,000人以上	50	9	10	19	4	8	0	
	100.0%	18.0%	20.0%	38.0%	8.0%	16.0%	0.0%	
(無回答)	1	0	0	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

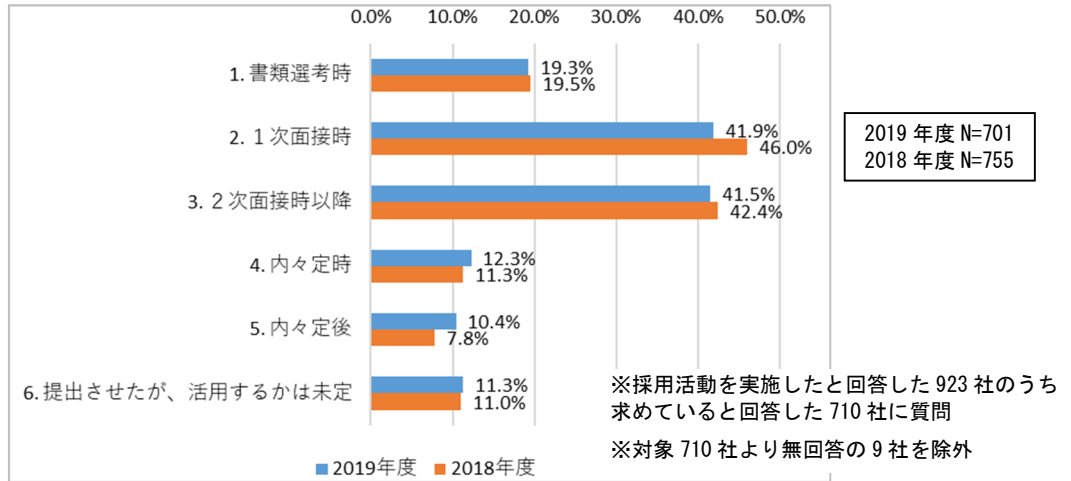
所在地別クロス集計表		全体	1. 募集時	2. 1次面接時	3. 2次面接時以降	4. 内々定時	5. 内々定後	(無回答)
全体		710	184	231	180	26	83	6
		100.0%	25.9%	32.5%	25.4%	3.7%	11.7%	0.8%
所在地	1. 北海道・東北	57	23	15	12	1	6	0
		100.0%	40.4%	26.3%	21.1%	1.8%	10.5%	0.0%
	2. 関東（東京以外）	103	18	48	22	2	12	1
		100.0%	17.5%	46.6%	21.4%	1.9%	11.7%	1.0%
	3. 東京	189	46	54	53	10	25	1
		100.0%	24.3%	28.6%	28.0%	5.3%	13.2%	0.5%
	4. 中部	145	41	56	32	3	11	2
		100.0%	28.3%	38.6%	22.1%	2.1%	7.6%	1.4%
	5. 近畿	120	24	31	40	4	19	2
		100.0%	20.0%	25.8%	33.3%	3.3%	15.8%	1.7%
6. 中国・四国	59	18	21	12	2	6	0	
	100.0%	30.5%	35.6%	20.3%	3.4%	10.2%	0.0%	
7. 九州・沖縄	34	13	6	8	3	4	0	
	100.0%	38.2%	17.6%	23.5%	8.8%	11.8%	0.0%	
(無回答)	3	1	0	1	1	0	0	
	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	

#### (6) どの段階で学業成果を表す書類やデータを活用したかについて

○同様に、(4)で学業成果を表す書類やデータの提出を「求めている」と回答した企業(710社)に対し、選考にあたり、どの段階で学業成果を表す書類やデータを活用したかを尋ねたところ、「1次面接時」(41.9%)との回答が最も多く、次いで「2次面接時以降」(41.5%)との回答が多かった。

選考にあたり、どの段階で学業成果を表す書類やデータ（例えば、成績証明書や履修履歴等）を活用しましたか（当てはまるものを全て選択）

全体	1. 書類選考時	2. 1次面接時	3. 2次面接時以降	4. 内々定時	5. 内々定後	6. 提出させたが、活用するかは未定
701	135	294	291	86	73	79
	19.3%	41.9%	41.5%	12.3%	10.4%	11.3%



業種別クロス集計表		全体	1.書類選考時	2.1次面接時	3.2次面接時以降	4.内々定時	5.内々定後	6.提出させたが、活用するかは未定
全体		701	135	294	291	86	73	79
			19.3%	41.9%	41.5%	12.3%	10.4%	11.3%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	1	1	0	0	0	1
			50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	2. 建設業	70	15	30	29	6	5	4
			21.4%	42.9%	41.4%	8.6%	7.1%	5.7%
	3. 製造業	273	58	130	125	34	17	24
			21.2%	47.6%	45.8%	12.5%	6.2%	8.8%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	11	3	4	5	2	2	1
			27.3%	36.4%	45.5%	18.2%	18.2%	9.1%
	5. 情報通信業	51	3	22	22	5	5	7
			5.9%	43.1%	43.1%	9.8%	9.8%	13.7%
	6. 運輸業、郵便業	24	3	7	9	2	4	5
			12.5%	29.2%	37.5%	8.3%	16.7%	20.8%
	7. 卸売業、小売業	126	17	37	48	17	21	23
			13.5%	29.4%	38.1%	13.5%	16.7%	18.3%
	8. 金融業、保険業	20	5	5	10	6	3	1
			25.0%	25.0%	50.0%	30.0%	15.0%	5.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	6	1	3	3	0	1	2
			16.7%	50.0%	50.0%	0.0%	16.7%	33.3%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	2	9	7	3	3	1
			13.3%	60.0%	46.7%	20.0%	20.0%	6.7%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	12	3	1	4	2	2	2
			25.0%	8.3%	33.3%	16.7%	16.7%	16.7%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	3	0	1	0	0	2	0
			0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	9	5	5	5	1	0	0
			55.6%	55.6%	55.6%	11.1%	0.0%	0.0%
	14. 医療、福祉	17	8	13	4	1	0	0
			47.1%	76.5%	23.5%	5.9%	0.0%	0.0%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	36	4	15	9	4	7	7
			11.1%	41.7%	25.0%	11.1%	19.4%	19.4%
	16. その他	19	3	8	9	3	1	1
			15.8%	42.1%	47.4%	15.8%	5.3%	5.3%
(無回答)	7	4	3	2	0	0	0	
		57.1%	42.9%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	



従業員数別クロス集計表		全体	1.書類選考時	2.1次面接時	3.2次面接時以降	4.内々定時	5.内々定後	6.提出させたが、活用するかは未定
全体		701	135	294	291	86	73	79
			19.3%	41.9%	41.5%	12.3%	10.4%	11.3%
従業員数	1.100人未満	38	9	12	11	5	4	5
			23.7%	31.6%	28.9%	13.2%	10.5%	13.2%
	2.100人以上～300人未満	303	68	150	101	32	24	30
			22.4%	49.5%	33.3%	10.6%	7.9%	9.9%
	3.300人以上～500人未満	98	17	40	44	13	7	13
			17.3%	40.8%	44.9%	13.3%	7.1%	13.3%
	4.500人以上～1,000人未満	65	9	25	26	5	6	12
			13.8%	38.5%	40.0%	7.7%	9.2%	18.5%
	5.1,000人以上～5,000人未満	97	18	37	52	13	13	8
		18.6%	38.1%	53.6%	13.4%	13.4%	8.2%	
6.5,000人以上～10,000人未満	50	10	18	29	8	10	3	
		20.0%	36.0%	58.0%	16.0%	20.0%	6.0%	
7.10,000人以上	49	4	12	27	10	9	8	
		8.2%	24.5%	55.1%	20.4%	18.4%	16.3%	
(無回答)	1	0	0	1	0	0	0	
		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

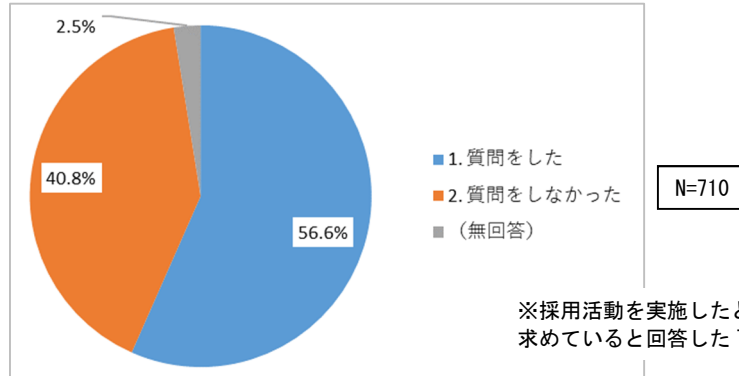
所在地別クロス集計表		全体	1.書類選考時	2.1次面接時	3.2次面接時以降	4.内々定時	5.内々定後	6.提出させたが、活用するかは未定
全体		701	135	294	291	86	73	79
			19.3%	41.9%	41.5%	12.3%	10.4%	11.3%
所在地	1.北海道・東北	57	16	31	18	5	3	4
			28.1%	54.4%	31.6%	8.8%	5.3%	7.0%
	2.関東(東京以外)	102	18	51	36	10	10	8
			17.6%	50.0%	35.3%	9.8%	9.8%	7.8%
	3.東京	186	31	72	90	32	26	27
			16.7%	38.7%	48.4%	17.2%	14.0%	14.5%
	4.中部	143	31	63	60	12	12	16
			21.7%	44.1%	42.0%	8.4%	8.4%	11.2%
	5.近畿	118	17	38	57	16	13	14
			14.4%	32.2%	48.3%	13.6%	11.0%	11.9%
6.中国・四国	59	13	27	21	7	6	3	
		22.0%	45.8%	35.6%	11.9%	10.2%	5.1%	
7.九州・沖縄	33	9	12	8	3	3	6	
		27.3%	36.4%	24.2%	9.1%	9.1%	18.2%	
(無回答)	3	0	0	1	1	0	1	
		0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	33.3%	

### (7) 面接の中で学業成果を表す書類やデータに基づき質問をしたかについて

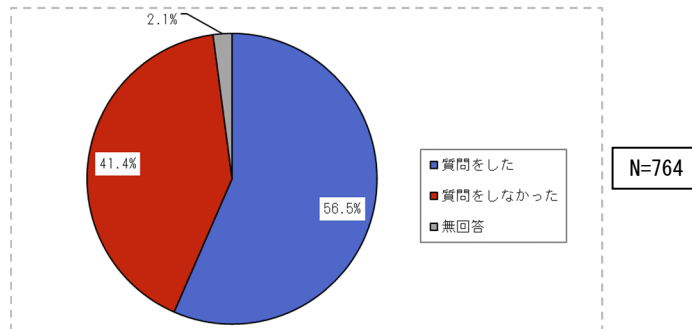
○さらに、面接の中で、提出された学業成果を表す書類に基づき質問をしたかを尋ねたところ、「質問をした」との回答した企業が56.6%、「質問をしなかった」と回答した企業が40.8%であった。

面接の中で、提出された学業成果を表す書類やデータ（例えば、成績証明書や履修履歴等）に基づき、質問をしましたか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 質問をした	2. 質問をしなかった	(無回答)
710	402	290	18
100.0%	56.6%	40.8%	2.5%



[参考：昨年度調査]



業種別クロス集計表	全体	1. 質問をした	2. 質問をしなかった	(無回答)	
全体	710	402	290	18	
	100.0%	56.6%	40.8%	2.5%	
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	1	1	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	2. 建設業	71	43	27	1
		100.0%	60.6%	38.0%	1.4%
	3. 製造業	276	169	98	9
		100.0%	61.2%	35.5%	3.3%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	11	6	4	1
		100.0%	54.5%	36.4%	9.1%
	5. 情報通信業	52	36	15	1
		100.0%	69.2%	28.8%	1.9%
	6. 運輸業、郵便業	24	13	11	0
		100.0%	54.2%	45.8%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	129	50	76	3
		100.0%	38.8%	58.9%	2.3%
	8. 金融業、保険業	20	15	5	0
		100.0%	75.0%	25.0%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	6	2	4	0
		100.0%	33.3%	66.7%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	9	6	0
		100.0%	60.0%	40.0%	0.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	12	4	7	1
		100.0%	33.3%	58.3%	8.3%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	3	1	2	0
		100.0%	33.3%	66.7%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	9	6	3	0
		100.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	14. 医療、福祉	17	13	4	0
		100.0%	76.5%	23.5%	0.0%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	37	14	21	2
		100.0%	37.8%	56.8%	5.4%
	16. その他	19	15	4	0
		100.0%	78.9%	21.1%	0.0%
(無回答)	7	5	2	0	
	100.0%	71.4%	28.6%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 質問をした	2. 質問をしなかった	(無回答)
全体		710	402	290	18
		100.0%	56.6%	40.8%	2.5%
従業員数	1. 100人未満	39	17	21	1
		100.0%	43.6%	53.8%	2.6%
	2. 100人以上～300人未満	305	178	119	8
		100.0%	58.4%	39.0%	2.6%
	3. 300人以上～500人未満	101	59	40	2
		100.0%	58.4%	39.6%	2.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	65	33	31	1
		100.0%	50.8%	47.7%	1.5%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	99	57	40	2
		100.0%	57.6%	40.4%	2.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	50	30	18	2	
	100.0%	60.0%	36.0%	4.0%	
7. 10,000人以上	50	28	20	2	
	100.0%	56.0%	40.0%	4.0%	
(無回答)	1	0	1	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

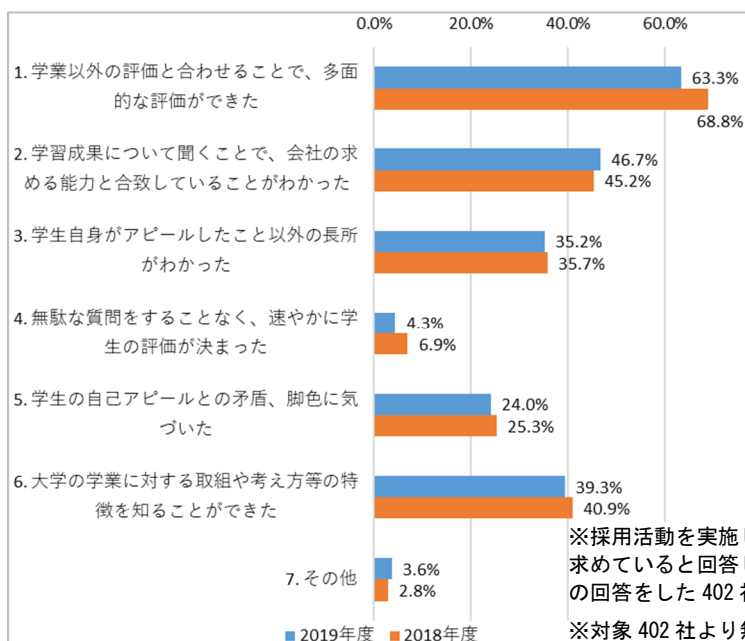
所在地別クロス集計表		全体	1. 質問をした	2. 質問をしなかった	(無回答)
全体		710	402	290	18
		100.0%	56.6%	40.8%	2.5%
所在地	1. 北海道・東北	57	34	23	0
		100.0%	59.6%	40.4%	0.0%
	2. 関東（東京以外）	103	64	38	1
		100.0%	62.1%	36.9%	1.0%
	3. 東京	189	112	71	6
		100.0%	59.3%	37.6%	3.2%
	4. 中部	145	75	66	4
		100.0%	51.7%	45.5%	2.8%
	5. 近畿	120	67	50	3
		100.0%	55.8%	41.7%	2.5%
6. 中国・四国	59	36	20	3	
	100.0%	61.0%	33.9%	5.1%	
7. 九州・沖縄	34	14	19	1	
	100.0%	41.2%	55.9%	2.9%	
(無回答)	3	0	3	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

#### (8) 質問してよかったと思うことについて

○ (7) にて「質問をした」と回答した企業 (402社) に対し、質問をしてよかったと思うことを尋ねたところ、「学業以外の評価と合わせることで、多面的な評価ができた」(63.3%) との回答が最も多く、次いで「学習成果について聞くことで、会社の求める能力と合致していることがわかった」(46.7%) との回答が多かった。

質問をしてよかったと思うことは何ですか（当てはまるものを全て選択）

全体	1. 学業以外の評価と合わせることで、多面的な評価ができた	2. 学習成果について聞くことで、会社の求める能力と合致していることがわかった	3. 学生自身がアピールしたこと以外の長所がわかった	4. 無駄な質問をすることなく、速やかに学生の評価が決まった	5. 学生の自己アピールとの矛盾、脚色に気づいた	6. 大学の学業に対する取組や考え方等の特徴を知ることができた	7. その他
392	248	183	138	17	94	154	14
	63.3%	46.7%	35.2%	4.3%	24.0%	39.3%	3.6%



業種別クロス集計表		1. 学業以外の評価と合わせること、多面的な評価ができた	2. 学習成果について聞くことで、会社の求める能力と合致していることがわかった	3. 学生自身がアピールしたこと以外の長所がわかった	4. 無駄な質問をすることなく、速やかに学生の評価が決まった	5. 学生の自己アピールとの矛盾、脚色に気づいた	6. 大学の学業に対する取組や考え方の特徴を知ることができた	7. その他
全体	392	248	183	138	17	94	154	14
		63.3%	46.7%	35.2%	4.3%	24.0%	39.3%	3.6%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	1	1	1	0	0	1	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	2. 建設業	42	28	20	12	0	11	14
		66.7%	47.6%	28.6%	0.0%	26.2%	33.3%	2.4%
	3. 製造業	168	106	94	67	10	44	58
		63.1%	56.0%	39.9%	6.0%	26.2%	34.5%	1.8%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	6	4	0	2	0	2	3
		66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	50.0%	0.0%
	5. 情報通信業	35	18	20	9	0	7	14
		51.4%	57.1%	25.7%	0.0%	20.0%	40.0%	8.6%
	6. 運輸業、郵便業	12	9	4	5	1	2	3
		75.0%	33.3%	41.7%	8.3%	16.7%	25.0%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	47	29	12	15	0	8	21
		61.7%	25.5%	31.9%	0.0%	17.0%	44.7%	6.4%
	8. 金融業、保険業	15	10	5	6	0	4	10
		66.7%	33.3%	40.0%	0.0%	26.7%	66.7%	6.7%
	9. 不動産業、物品賃貸業	2	0	0	1	0	1	2
		0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	100.0%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	9	5	7	6	3	3	5
		55.6%	77.8%	66.7%	33.3%	33.3%	55.6%	0.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	4	2	3	2	0	0	1
		50.0%	75.0%	50.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	1	1	0	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	6	5	2	1	0	3	4
		83.3%	33.3%	16.7%	0.0%	50.0%	66.7%	0.0%
14. 医療、福祉	12	7	2	5	1	1	6	
	58.3%	16.7%	41.7%	8.3%	8.3%	50.0%	8.3%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	13	8	6	3	2	6	4	
	61.5%	46.2%	23.1%	15.4%	46.2%	30.8%	15.4%	
16. その他	15	12	6	3	0	1	6	
	80.0%	40.0%	20.0%	0.0%	6.7%	40.0%	0.0%	
(無回答)	4	3	1	0	0	1	2	
	75.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%	50.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 学業以外の評価と合わせること、多面的な評価ができた	2. 学習成果について聞くことで、会社の求める能力と合致していることがわかった	3. 学生自身がアピールしたこと以外の長所がわかった	4. 無駄な質問をすることなく、速やかに学生の評価が決まった	5. 学生の自己アピールとの矛盾、脚色に気づいた	6. 大学の学業に対する取組や考え方等の特徴を知ることができた	7. その他
全体		392	248	183	138	17	94	154	14
			63.3%	46.7%	35.2%	4.3%	24.0%	39.3%	3.6%
従業員数	1. 100人未満	16	10	4	5	1	3	3	1
			62.5%	25.0%	31.3%	6.3%	18.8%	18.8%	6.3%
	2. 100人以上～300人未満	176	100	84	57	9	35	60	7
			56.8%	47.7%	32.4%	5.1%	19.9%	34.1%	4.0%
	3. 300人以上～500人未満	58	37	31	21	3	10	28	1
			63.8%	53.4%	36.2%	5.2%	17.2%	48.3%	1.7%
	4. 500人以上～1,000人未満	29	18	16	13	1	11	12	1
			62.1%	55.2%	44.8%	3.4%	37.9%	41.4%	3.4%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	55	37	24	20	2	20	27	1
			67.3%	43.6%	36.4%	3.6%	36.4%	49.1%	1.8%
6. 5,000人以上～10,000人未満	30	25	10	12	1	8	13	2	
		83.3%	33.3%	40.0%	3.3%	26.7%	43.3%	6.7%	
7. 10,000人以上	28	21	14	10	0	7	11	1	
		75.0%	50.0%	35.7%	0.0%	25.0%	39.3%	3.6%	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	-	-

所在地別クロス集計表		全体	1. 学業以外の評価と合わせること、多面的な評価ができた	2. 学習成果について聞くことで、会社の求める能力と合致していることがわかった	3. 学生自身がアピールしたこと以外の長所がわかった	4. 無駄な質問をすることなく、速やかに学生の評価が決まった	5. 学生の自己アピールとの矛盾、脚色に気づいた	6. 大学の学業に対する取組や考え方等の特徴を知ることができた	7. その他
全体		392	248	183	138	17	94	154	14
			63.3%	46.7%	35.2%	4.3%	24.0%	39.3%	3.6%
所在地	1. 北海道・東北	34	20	15	12	1	6	6	1
			58.8%	44.1%	35.3%	2.9%	17.6%	17.6%	2.9%
	2. 関東（東京以外）	62	42	29	24	4	12	17	2
			67.7%	46.8%	38.7%	6.5%	19.4%	27.4%	3.2%
	3. 東京	109	81	54	34	5	33	45	7
			74.3%	49.5%	31.2%	4.6%	30.3%	41.3%	6.4%
	4. 中部	74	39	34	25	4	15	32	0
			52.7%	45.9%	33.8%	5.4%	20.3%	43.2%	0.0%
	5. 近畿	65	39	31	25	1	19	31	2
			60.0%	47.7%	38.5%	1.5%	29.2%	47.7%	3.1%
6. 中国・四国	34	20	15	13	2	8	14	1	
		58.8%	44.1%	38.2%	5.9%	23.5%	41.2%	2.9%	
7. 九州・沖縄	14	7	5	5	0	1	9	1	
		50.0%	35.7%	35.7%	0.0%	7.1%	64.3%	7.1%	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	-	-

## VIII. 学校推薦について

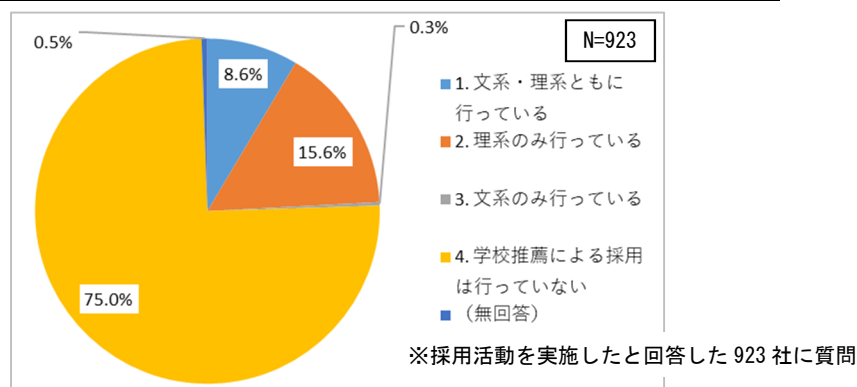
### (1) 学校推薦による採用を行っているかについて

○学校推薦による採用を行っているかを尋ねたところ、「学校推薦による採用は行っていない」と回答した企業が最も多く75.0%であった。行っているとの回答の中では、「理系のみ行っている」との回答が15.6%、「文系・理系ともに行っている」8.6%、「文系のみ行っている」0.3%であった。

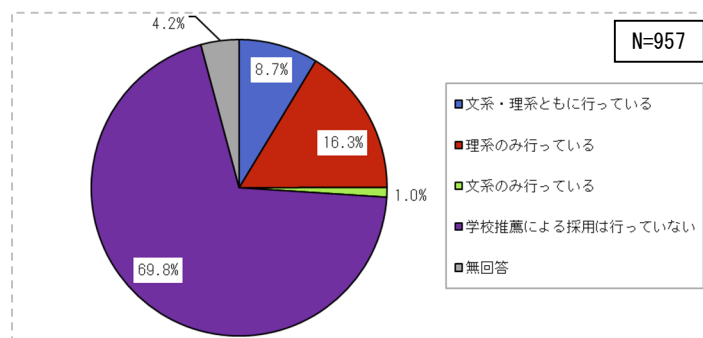
○昨年度と比較すると、回答割合はほぼ同じ程度である。

学校推薦による採用を行っていますか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 文系・理系ともに行っている	2. 理系のみ行っている	3. 文系のみ行っている	4. 学校推薦による採用は行っていない	(無回答)
923	79	144	3	692	5
100.0%	8.6%	15.6%	0.3%	75.0%	0.5%



[参考：昨年度調査]





業種別クロス集計表		全体	1. 文系・理系ともに行っている	2. 理系のみ行っている	3. 文系のみ行っている	4. 学校推薦による採用は行っていない	(無回答)
全体		923	79	144	3	692	5
		100.0%	8.6%	15.6%	0.3%	75.0%	0.5%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	0	0	0	2	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	2. 建設業	89	9	25	0	55	0
		100.0%	10.1%	28.1%	0.0%	61.8%	0.0%
	3. 製造業	328	28	84	0	215	1
		100.0%	8.5%	25.6%	0.0%	65.5%	0.3%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	13	0	7	0	6	0
		100.0%	0.0%	53.8%	0.0%	46.2%	0.0%
	5. 情報通信業	69	12	13	0	44	0
		100.0%	17.4%	18.8%	0.0%	63.8%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	35	6	1	2	26	0
		100.0%	17.1%	2.9%	5.7%	74.3%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	182	8	4	1	166	3
		100.0%	4.4%	2.2%	0.5%	91.2%	1.6%
	8. 金融業、保険業	24	4	0	0	20	0
		100.0%	16.7%	0.0%	0.0%	83.3%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	11	1	0	0	10	0
		100.0%	9.1%	0.0%	0.0%	90.9%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	4	2	0	9	0
		100.0%	26.7%	13.3%	0.0%	60.0%	0.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	14	0	0	0	13	1
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	92.9%	7.1%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	10	0	0	0	10	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	14	1	1	0	12	0
		100.0%	7.1%	7.1%	0.0%	85.7%	0.0%
	14. 医療、福祉	25	2	0	0	23	0
		100.0%	8.0%	0.0%	0.0%	92.0%	0.0%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	54	3	2	0	49	0
		100.0%	5.6%	3.7%	0.0%	90.7%	0.0%
16. その他	30	1	5	0	24	0	
	100.0%	3.3%	16.7%	0.0%	80.0%	0.0%	
(無回答)	8	0	0	0	8	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 文系・理系ともに行っている	2. 理系のみ行っている	3. 文系のみ行っている	4. 学校推薦による採用は行っていない	(無回答)
全体		923	79	144	3	692	5
		100.0%	8.6%	15.6%	0.3%	75.0%	0.5%
従業員数	1. 100人未満	61	8	3	0	49	1
		100.0%	13.1%	4.9%	0.0%	80.3%	1.6%
	2. 100人以上～300人未満	396	29	29	1	334	3
		100.0%	7.3%	7.3%	0.3%	84.3%	0.8%
	3. 300人以上～500人未満	124	14	17	1	92	0
		100.0%	11.3%	13.7%	0.8%	74.2%	0.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	83	5	8	0	70	0
		100.0%	6.0%	9.6%	0.0%	84.3%	0.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	124	13	36	0	74	1
		100.0%	10.5%	29.0%	0.0%	59.7%	0.8%
6. 5,000人以上～10,000人未満	64	3	22	1	38	0	
	100.0%	4.7%	34.4%	1.6%	59.4%	0.0%	
7. 10,000人以上	69	7	29	0	33	0	
	100.0%	10.1%	42.0%	0.0%	47.8%	0.0%	
(無回答)		2	0	0	0	2	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

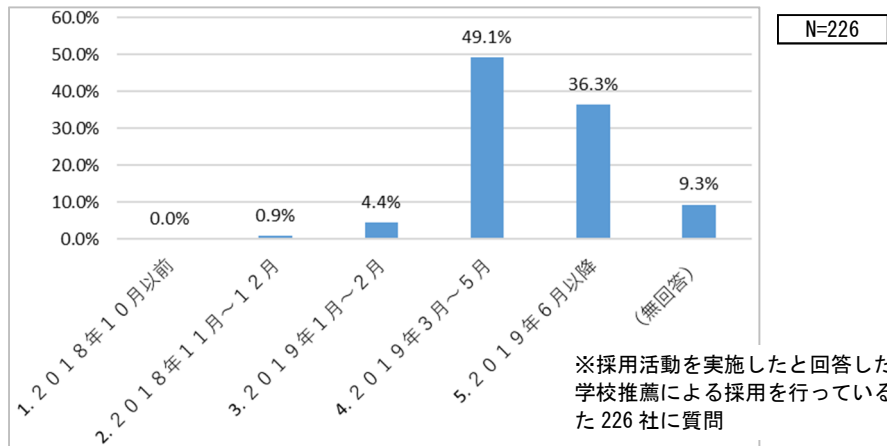
所在地別クロス集計表		全体	1. 文系・理系ともに行っている	2. 理系のみ行っている	3. 文系のみ行っている	4. 学校推薦による採用は行っていない	(無回答)
全体		923	79	144	3	692	5
			8.6%	15.6%	0.3%	75.0%	0.5%
所在地	1. 北海道・東北	80	6	9	0	65	0
			7.5%	11.3%	0.0%	81.3%	0.0%
	2. 関東(東京以外)	130	18	14	0	97	1
			13.8%	10.8%	0.0%	74.6%	0.8%
	3. 東京	253	18	46	1	188	0
			7.1%	18.2%	0.4%	74.3%	0.0%
	4. 中部	168	16	32	2	116	2
			9.5%	19.0%	1.2%	69.0%	1.2%
	5. 近畿	162	12	31	0	117	2
			7.4%	19.1%	0.0%	72.2%	1.2%
6. 中国・四国	76	7	7	0	62	0	
		9.2%	9.2%	0.0%	81.6%	0.0%	
7. 九州・沖縄	51	2	4	0	45	0	
		3.9%	7.8%	0.0%	88.2%	0.0%	
(無回答)		3	0	1	0	2	0
			0.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%

## (2) 学校からの推薦状をいつまでに提出させているかについて

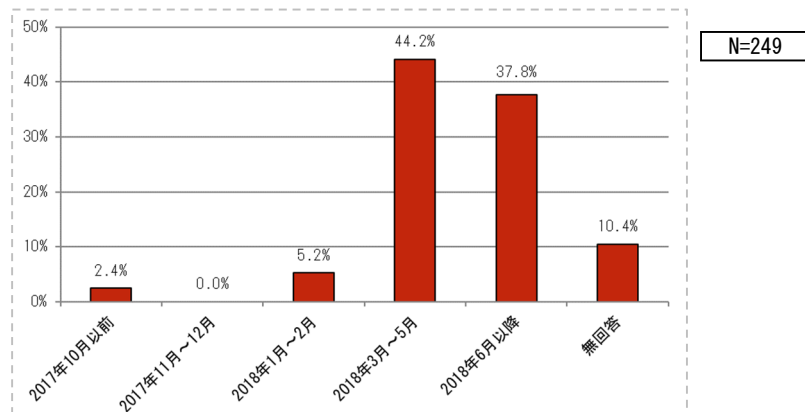
○ (1) にて「学校推薦による採用を行っている」と回答した企業(226社)に対し、学生に学校からの推薦状をいつまでに提出させているかを尋ねたところ、「2019年3月～5月」との回答が最も多く、49.1%であった。次いで「2019年6月以降」が多く、36.3%であった。

学生に学校からの推薦状をいつまでに提出させていますか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 2018年 10月以前	2. 2018年1 1月～12月	3. 2019年 1月～2月	4. 2019年 3月～5月	5. 2019年 6月以降	(無回答)
226	0	2	10	111	82	21
100.0%	0.0%	0.9%	4.4%	49.1%	36.3%	9.3%



[参考：昨年度調査]



業種別クロス集計表		全体	1. 2018年 10月以前	2. 2018年1 1月~12月	3. 2019年 1月~2月	4. 2019年 3月~5月	5. 2019年 6月以降	(無回答)
全体		226	0	2	10	111	82	21
		100.0%	0.0%	0.9%	4.4%	49.1%	36.3%	9.3%
業 種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-
	2. 建設業	34	0	0	0	16	13	5
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	47.1%	38.2%	14.7%
	3. 製造業	112	0	1	7	57	39	8
		100.0%	0.0%	0.9%	6.3%	50.9%	34.8%	7.1%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	7	0	0	0	3	4	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%
	5. 情報通信業	25	0	1	0	11	11	2
		100.0%	0.0%	4.0%	0.0%	44.0%	44.0%	8.0%
	6. 運輸業、郵便業	9	0	0	0	4	4	1
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	44.4%	44.4%	11.1%
	7. 卸売業、小売業	13	0	0	1	6	4	2
		100.0%	0.0%	0.0%	7.7%	46.2%	30.8%	15.4%
	8. 金融業、保険業	4	0	0	0	3	1	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	75.0%	25.0%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	1	0	0	0	1	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
10. 学術研究、専門・技術サービス業	6	0	0	0	6	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
11. 宿泊業、飲食サービス業	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	
13. 教育・学習支援業	2	0	0	0	2	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
14. 医療、福祉	2	0	0	0	1	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	5	0	0	0	1	2	2	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	40.0%	
16. その他	6	0	0	2	0	3	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	50.0%	16.7%	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 2018年 10月以前	2. 2018年1 1月～12月	3. 2019年 1月～2月	4. 2019年 3月～5月	5. 2019年 6月以降	(無回答)
全体		226	0	2	10	111	82	21
		100.0%	0.0%	0.9%	4.4%	49.1%	36.3%	9.3%
従業員数	1. 100人未満	11	0	0	1	0	7	3
		100.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%	63.6%	27.3%
	2. 100人以上～300人未満	59	0	1	3	22	22	11
		100.0%	0.0%	1.7%	5.1%	37.3%	37.3%	18.6%
	3. 300人以上～500人未満	32	0	0	2	20	9	1
		100.0%	0.0%	0.0%	6.3%	62.5%	28.1%	3.1%
	4. 500人以上～1,000人未満	13	0	1	0	10	2	0
		100.0%	0.0%	7.7%	0.0%	76.9%	15.4%	0.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	49	0	0	3	25	19	2
		100.0%	0.0%	0.0%	6.1%	51.0%	38.8%	4.1%
	6. 5,000人以上～10,000人未満	26	0	0	0	15	9	2
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.7%	34.6%	7.7%
	7. 10,000人以上	36	0	0	1	19	14	2
		100.0%	0.0%	0.0%	2.8%	52.8%	38.9%	5.6%
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	

所在地別クロス集計表		全体	1. 2018年 10月以前	2. 2018年1 1月～12月	3. 2019年 1月～2月	4. 2019年 3月～5月	5. 2019年 6月以降	(無回答)
全体		226	0	2	10	111	82	21
		100.0%	0.0%	0.9%	4.4%	49.1%	36.3%	9.3%
所在地	1. 北海道・東北	15	0	0	0	7	5	3
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	46.7%	33.3%	20.0%
	2. 関東(東京以外)	32	0	1	2	14	14	1
		100.0%	0.0%	3.1%	6.3%	43.8%	43.8%	3.1%
	3. 東京	65	0	1	3	28	28	5
		100.0%	0.0%	1.5%	4.6%	43.1%	43.1%	7.7%
	4. 中部	50	0	0	3	32	10	5
		100.0%	0.0%	0.0%	6.0%	64.0%	20.0%	10.0%
	5. 近畿	43	0	0	1	19	18	5
		100.0%	0.0%	0.0%	2.3%	44.2%	41.9%	11.6%
	6. 中国・四国	14	0	0	1	9	3	1
		100.0%	0.0%	0.0%	7.1%	64.3%	21.4%	7.1%
	7. 九州・沖縄	6	0	0	0	2	3	1
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%
(無回答)	1	0	0	0	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

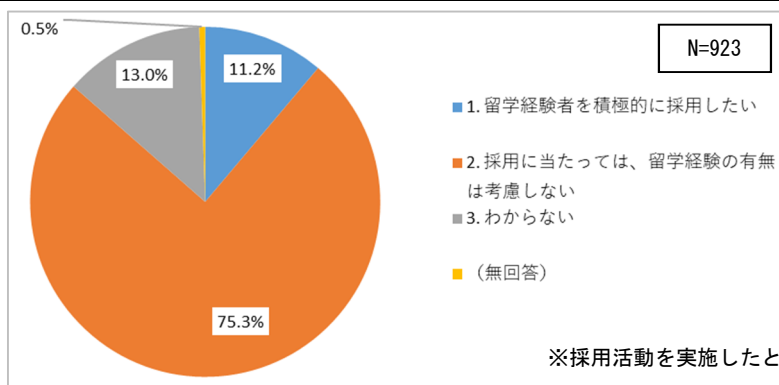
## Ⅸ. 留学経験者の採用等について

### (1) 留学経験者の採用についてどのように考えるかについて

○留学経験者（日本人の学生で海外留学を経験した者）の採用についての考えを尋ねたところ、前年度比3.7ポイント減の11.2%が「留学経験者を積極的に採用したい」と回答した一方、75.3%の企業は「採用に当たっては、留学経験の有無は考慮しない」との回答であった。

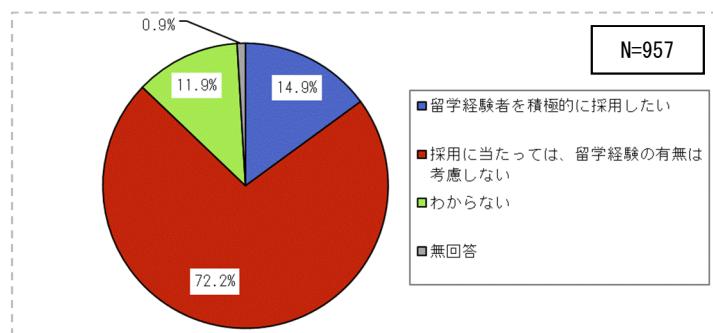
留学経験者（日本人の学生で海外留学を経験した者（留学中も含む））の採用についてどのようにお考えですか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 留学経験者を積極的に採用したい	2. 採用に当たっては、留学経験の有無は考慮しない	3. わからない	(無回答)
923	103	695	120	5
100.0%	11.2%	75.3%	13.0%	0.5%



※採用活動を実施したと回答した923社に質問

[参考：昨年度調査]



業種別クロス集計表	全体	1. 留学経験者を積極的に採用したい	2. 採用に当たっては、留学経験の有無は考慮しない	3. わからない	(無回答)	
全体	923	103	695	120	5	
	100.0%	11.2%	75.3%	13.0%	0.5%	
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	0	2	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	89	3	71	15	0
		100.0%	3.4%	79.8%	16.9%	0.0%
	3. 製造業	328	46	226	55	1
		100.0%	14.0%	68.9%	16.8%	0.3%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	13	2	11	0	0
		100.0%	15.4%	84.6%	0.0%	0.0%
	5. 情報通信業	69	5	60	4	0
		100.0%	7.2%	87.0%	5.8%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	35	4	27	3	1
		100.0%	11.4%	77.1%	8.6%	2.9%
	7. 卸売業、小売業	182	13	142	25	2
		100.0%	7.1%	78.0%	13.7%	1.1%
	8. 金融業、保険業	24	2	19	2	1
		100.0%	8.3%	79.2%	8.3%	4.2%
	9. 不動産業、物品賃貸業	11	1	10	0	0
		100.0%	9.1%	90.9%	0.0%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	2	11	2	0
		100.0%	13.3%	73.3%	13.3%	0.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	14	4	9	1	0
		100.0%	28.6%	64.3%	7.1%	0.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	10	0	8	2	0
		100.0%	0.0%	80.0%	20.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	14	3	11	0	0
		100.0%	21.4%	78.6%	0.0%	0.0%
	14. 医療、福祉	25	3	20	2	0
		100.0%	12.0%	80.0%	8.0%	0.0%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	54	10	37	7	0
		100.0%	18.5%	68.5%	13.0%	0.0%
16. その他	30	5	23	2	0	
	100.0%	16.7%	76.7%	6.7%	0.0%	
(無回答)	8	0	8	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 留学経験者を積極的に採用したい	2. 採用に当たっては、留学経験の有無は考慮しない	3. わからない	(無回答)
全体		923	103	695	120	5
		100.0%	11.2%	75.3%	13.0%	0.5%
従業員数	1. 100人未満	61	6	47	6	2
		100.0%	9.8%	77.0%	9.8%	3.3%
	2. 100人以上～300人未満	396	29	292	74	1
		100.0%	7.3%	73.7%	18.7%	0.3%
	3. 300人以上～500人未満	124	11	94	19	0
		100.0%	8.9%	75.8%	15.3%	0.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	83	10	65	8	0
		100.0%	12.0%	78.3%	9.6%	0.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	124	17	99	7	1
		100.0%	13.7%	79.8%	5.6%	0.8%
6. 5,000人以上～10,000人未満	64	11	50	3	0	
	100.0%	17.2%	78.1%	4.7%	0.0%	
7. 10,000人以上	69	18	47	3	1	
	100.0%	26.1%	68.1%	4.3%	1.4%	
(無回答)	2	1	1	0	0	
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

所在地別クロス集計表		全体	1. 留学経験者を積極的に採用したい	2. 採用に当たっては、留学経験の有無は考慮しない	3. わからない	(無回答)
全体		923	103	695	120	5
		100.0%	11.2%	75.3%	13.0%	0.5%
所在地	1. 北海道・東北	80	5	59	15	1
		100.0%	6.3%	73.8%	18.8%	1.3%
	2. 関東（東京以外）	130	17	94	18	1
		100.0%	13.1%	72.3%	13.8%	0.8%
	3. 東京	253	29	204	19	1
		100.0%	11.5%	80.6%	7.5%	0.4%
	4. 中部	168	17	125	25	1
		100.0%	10.1%	74.4%	14.9%	0.6%
	5. 近畿	162	22	118	22	0
		100.0%	13.6%	72.8%	13.6%	0.0%
6. 中国・四国	76	6	59	11	0	
	100.0%	7.9%	77.6%	14.5%	0.0%	
7. 九州・沖縄	51	7	34	9	1	
	100.0%	13.7%	66.7%	17.6%	2.0%	
(無回答)	3	0	2	1	0	
	100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	

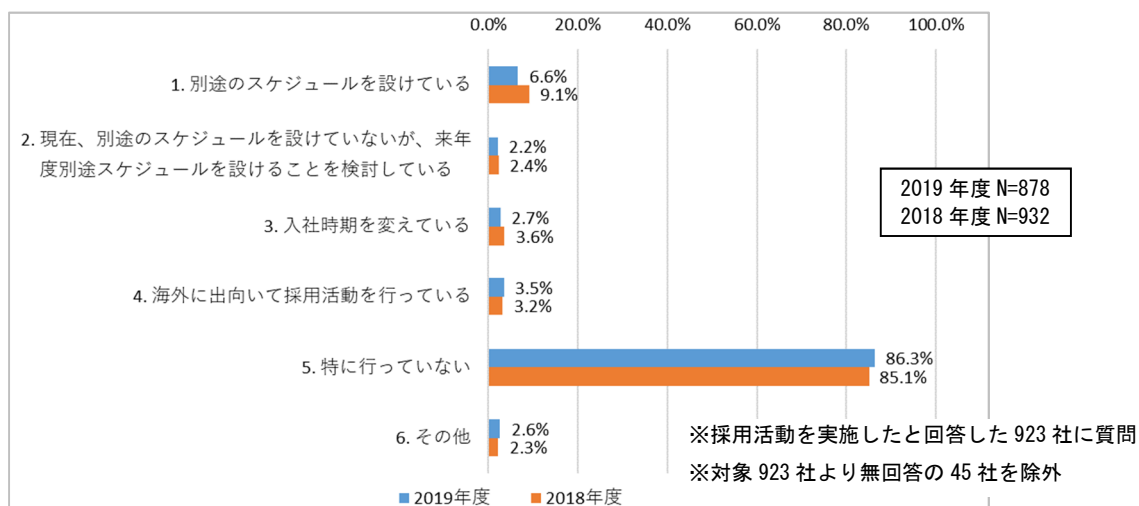
## (2) 留学経験者の採用のために行っていることについて

- 本年度の採用選考について、留学経験者の採用のために行っていることを尋ねたところ、「特に行っていない」と回答した企業が最も多く、86.3%であった。次いで「別途のスケジュールを設けている」が多く、6.6%であった。
- 前項(1)にて「留学経験者を積極的に採用したい」と回答した企業のみで集計したところ、「別途のスケジュールを設けている」企業は25.3%である一方、「特に行っていない」との回答は51.5%であった。なお、「海外に出向いて採用活動を行っている」との回答は18.2%であった。



本年度の採用選考活動について、留学経験者（日本人の学生で海外留学を経験した者）の採用のためにやっていることは何ですか（当てはまるものを全て選択）

全体	1. 別途のスケジュールを設けている	2. 現在、別途のスケジュールを設けていないが、来年度別途スケジュールを設けることを検討している	3. 入社時期を変えている	4. 海外に出向いて採用活動を行っている	5. 特にやっていない	6. その他
878	58	19	24	31	758	23
	6.6%	2.2%	2.7%	3.5%	86.3%	2.6%



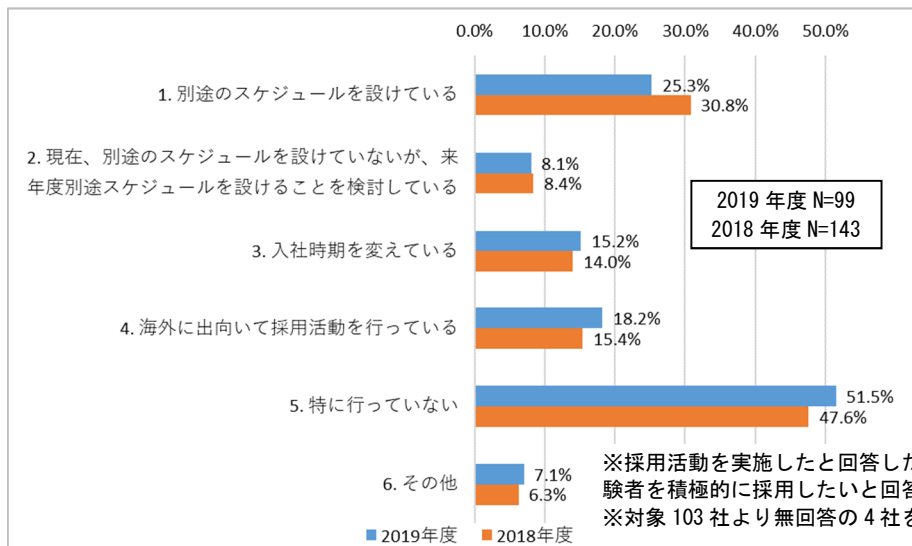
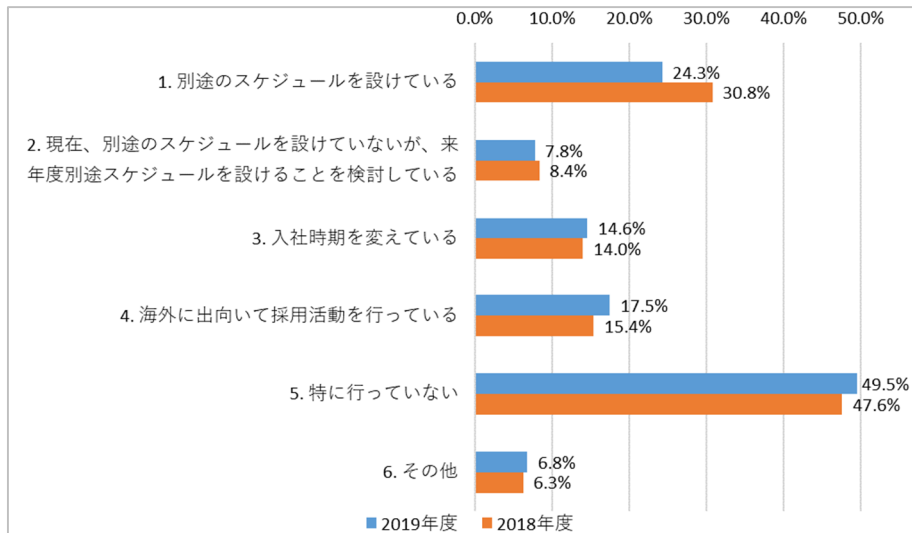
業種別クロス集計表		全体	1. 別途のスケジュールを設けている	2. 現在、別途のスケジュールを設けていないが、来年度別途スケジュールを設けることを検討している	3. 入社時期を変えている	4. 海外に出向いで採用活動を行っている	5. 特に行っていない	6. その他
全体		878	58	19	24	31	758	23
			6.6%	2.2%	2.7%	3.5%	86.3%	2.6%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	0	0	0	0	2	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	2. 建設業	85	3	1	1	1	79	2
			3.5%	1.2%	1.2%	1.2%	92.9%	2.4%
	3. 製造業	314	22	7	9	16	265	9
			7.0%	2.2%	2.9%	5.1%	84.4%	2.9%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	13	1	0	1	1	11	0
			7.7%	0.0%	7.7%	7.7%	84.6%	0.0%
	5. 情報通信業	65	6	4	1	0	55	0
			9.2%	6.2%	1.5%	0.0%	84.6%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	34	2	1	1	1	29	2
			5.9%	2.9%	2.9%	2.9%	85.3%	5.9%
	7. 卸売業、小売業	168	11	1	7	5	148	7
			6.5%	0.6%	4.2%	3.0%	88.1%	4.2%
	8. 金融業、保険業	23	4	1	0	2	15	1
			17.4%	4.3%	0.0%	8.7%	65.2%	4.3%
	9. 不動産業、物品賃貸業	11	1	0	0	0	10	0
			9.1%	0.0%	0.0%	0.0%	90.9%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	0	1	1	0	13	0
			0.0%	6.7%	6.7%	0.0%	86.7%	0.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	13	0	2	0	0	11	0
			0.0%	15.4%	0.0%	0.0%	84.6%	0.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	8	1	0	0	0	7	0
			12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	87.5%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	13	0	0	0	0	13	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	14. 医療、福祉	25	0	0	0	1	24	0
			0.0%	0.0%	0.0%	4.0%	96.0%	0.0%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	52	2	1	2	2	45	2
			3.8%	1.9%	3.8%	3.8%	86.5%	3.8%
16. その他	29	5	0	1	2	23	0	
		17.2%	0.0%	3.4%	6.9%	79.3%	0.0%	
(無回答)	8	0	0	0	0	8	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 別途のスケジュールを設けている	2. 現在、別途のスケジュールを設けていないが、来年度別途スケジュールを設けることを検討している	3. 入社時期を変えている	4. 海外に出向いで採用活動を行っている	5. 特に行っていない	6. その他
全体		878	58	19	24	31	758	23
			6.6%	2.2%	2.7%	3.5%	86.3%	2.6%
従業員数	1. 100人未満	57	0	1	0	0	55	1
			0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	96.5%	1.8%
	2. 100人以上～300人未満	371	6	8	5	5	347	6
			1.6%	2.2%	1.3%	1.3%	93.5%	1.6%
	3. 300人以上～500人未満	118	3	4	1	1	106	3
			2.5%	3.4%	0.8%	0.8%	89.8%	2.5%
	4. 500人以上～1,000人未満	81	6	1	2	1	72	1
			7.4%	1.2%	2.5%	1.2%	88.9%	1.2%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	121	10	4	4	4	100	4
			8.3%	3.3%	3.3%	3.3%	82.6%	3.3%
6. 5,000人以上～10,000人未満	63	17	0	5	9	42	2	
		27.0%	0.0%	7.9%	14.3%	66.7%	3.2%	
7. 10,000人以上	65	16	1	7	11	34	6	
		24.6%	1.5%	10.8%	16.9%	52.3%	9.2%	
(無回答)	2	0	0	0	0	2	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

所在地別クロス集計表		全体	1. 別途のスケジュールを設けている	2. 現在、別途のスケジュールを設けていないが、来年度別途スケジュールを設けることを検討している	3. 入社時期を変えている	4. 海外に出向いで採用活動を行っている	5. 特に行っていない	6. その他
全体		878	58	19	24	31	758	23
			6.6%	2.2%	2.7%	3.5%	86.3%	2.6%
所在地	1. 北海道・東北	77	0	2	1	0	73	1
			0.0%	2.6%	1.3%	0.0%	94.8%	1.3%
	2. 関東（東京以外）	123	8	3	7	5	108	0
			6.5%	2.4%	5.7%	4.1%	87.8%	0.0%
	3. 東京	245	37	8	10	15	183	11
			15.1%	3.3%	4.1%	6.1%	74.7%	4.5%
	4. 中部	159	6	1	3	4	148	1
			3.8%	0.6%	1.9%	2.5%	93.1%	0.6%
	5. 近畿	154	5	3	3	4	136	6
			3.2%	1.9%	1.9%	2.6%	88.3%	3.9%
6. 中国・四国	71	1	2	0	0	68	1	
		1.4%	2.8%	0.0%	0.0%	95.8%	1.4%	
7. 九州・沖縄	46	1	0	0	2	40	3	
		2.2%	0.0%	0.0%	4.3%	87.0%	6.5%	
(無回答)	3	0	0	0	1	2	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	

本年度の採用選考活動について、留学経験者（日本人の学生で海外留学を経験した者）の採用のために行っていることは何ですか（当てはまるものを全て選択）（「留学経験者を積極的に採用したい」と回答した企業のみで集計）

全体	1. 別途のスケジュールを設けている	2. 現在、別途のスケジュールを設けていないが、来年度別途スケジュールを設けることを検討している	3. 入社時期を変えている	4. 海外に出向いで採用活動を行っている	5. 特に行っていない	6. その他
99	25	8	15	18	51	7
	25.3%	8.1%	15.2%	18.2%	51.5%	7.1%



業種別クロス集計表	全体	1. 別途のスケジュールを設けている	2. 現在、別途のスケジュールを設けていないが、来年度別途スケジュールを設けることを検討している	3. 入社時期を変えている	4. 海外に出向いで採用活動を行っている	5. 特に行っていない	6. その他
全体	99	25	8	15	18	51	7
		25.3%	8.1%	15.2%	18.2%	51.5%	7.1%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	2. 建設業	3	1	0	1	1	2
		33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	66.7%	0.0%
	3. 製造業	43	10	3	7	12	20
		23.3%	7.0%	16.3%	27.9%	46.5%	9.3%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	2	0	0	0	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	5. 情報通信業	4	2	2	1	0	0
		50.0%	50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	4	1	0	1	1	3
		25.0%	0.0%	25.0%	25.0%	75.0%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	13	5	0	3	1	5
		38.5%	0.0%	23.1%	7.7%	38.5%	15.4%
	8. 金融業、保険業	2	2	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	1	0	0	0	0	1
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	2	0	0	0	0	2
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
11. 宿泊業、飲食サービス業	4	0	2	0	0	2	
	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	
13. 教育・学習支援業	3	0	0	0	0	3	
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
14. 医療、福祉	3	0	0	0	1	2	
	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	66.7%	0.0%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	10	1	1	1	1	7	
	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	70.0%	10.0%	
16. その他	5	3	0	1	1	2	
	60.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 別途のスケジュールを設けている	2. 現在、別途のスケジュールを設けていないが、来年度別途スケジュールを設けることを検討している	3. 入社時期を変えている	4. 海外に出向いで採用活動を行っている	5. 特に行っていない	6. その他
全体		99	25	8	15	18	51	7
			25.3%	8.1%	15.2%	18.2%	51.5%	7.1%
従業員数	1. 100人未満	5	0	0	0	0	5	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	28	4	4	3	4	17	1
			14.3%	14.3%	10.7%	14.3%	60.7%	3.6%
	3. 300人以上～500人未満	11	0	2	1	0	6	2
			0.0%	18.2%	9.1%	0.0%	54.5%	18.2%
	4. 500人以上～1,000人未満	10	2	0	2	1	7	0
			20.0%	0.0%	20.0%	10.0%	70.0%	0.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	16	6	1	1	1	7	2
			37.5%	6.3%	6.3%	6.3%	43.8%	12.5%
6. 5,000人以上～10,000人未満	11	6	0	2	4	5	0	
		54.5%	0.0%	18.2%	36.4%	45.5%	0.0%	
7. 10,000人以上	17	7	1	6	8	3	2	
		41.2%	5.9%	35.3%	47.1%	17.6%	11.8%	
(無回答)	1	0	0	0	0	1	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

所在地別クロス集計表		全体	1. 別途のスケジュールを設けている	2. 現在、別途のスケジュールを設けていないが、来年度別途スケジュールを設けることを検討している	3. 入社時期を変えている	4. 海外に出向いで採用活動を行っている	5. 特に行っていない	6. その他
全体		99	25	8	15	18	51	7
			25.3%	8.1%	15.2%	18.2%	51.5%	7.1%
所在地	1. 北海道・東北	5	0	1	0	0	4	0
			0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%
	2. 関東（東京以外）	17	6	1	5	5	7	0
			35.3%	5.9%	29.4%	29.4%	41.2%	0.0%
	3. 東京	29	13	4	5	6	8	4
			44.8%	13.8%	17.2%	20.7%	27.6%	13.8%
	4. 中部	17	4	0	3	3	11	0
			23.5%	0.0%	17.6%	17.6%	64.7%	0.0%
	5. 近畿	21	2	1	2	3	14	2
			9.5%	4.8%	9.5%	14.3%	66.7%	9.5%
6. 中国・四国	5	0	1	0	0	4	0	
		0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	
7. 九州・沖縄	5	0	0	0	1	3	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%	20.0%	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	

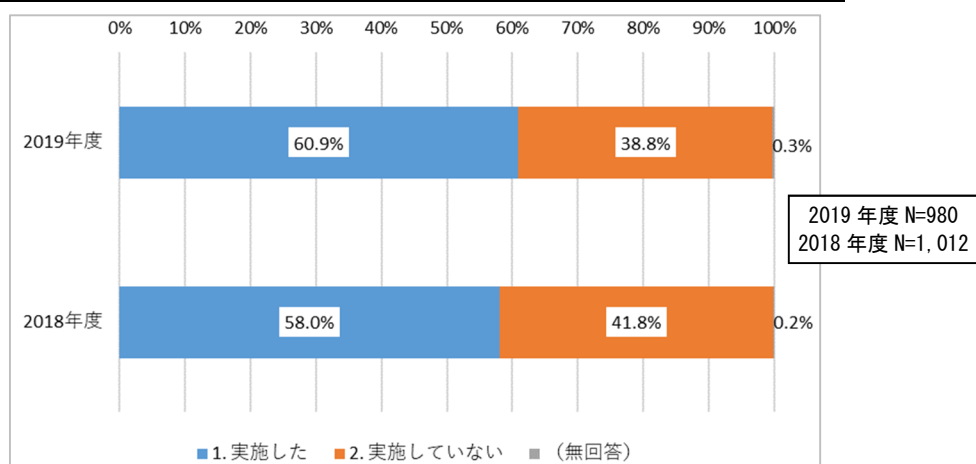
## X. インターンシップについて

### (1) 2019年度卒業・修了予定者を対象としたインターンシップを実施したかについて

○2019年度卒業・修了予定者（2020年3月卒業・修了予定者）を対象としたインターンシップを実施したかを尋ねたところ、「実施した」が60.9%、「実施していない」が38.8%であった。

2019年度（令和元年度）卒業・修了予定者（2020年（令和2年）3月卒業・修了予定者）を対象としたインターンシップを実施しましたか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 実施した	2. 実施していない	(無回答)
980	597	380	3
100.0%	60.9%	38.8%	0.3%



業種別クロス集計表	全体	1.実施した	2.実施していない	(無回答)	
全体	980	597	380	3	
	100.0%	60.9%	38.8%	0.3%	
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	1	1	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	2. 建設業	95	60	35	0
		100.0%	63.2%	36.8%	0.0%
	3. 製造業	354	223	130	1
		100.0%	63.0%	36.7%	0.3%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	15	12	3	0
		100.0%	80.0%	20.0%	0.0%
	5. 情報通信業	72	45	27	0
		100.0%	62.5%	37.5%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	39	20	19	0
		100.0%	51.3%	48.7%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	191	107	82	2
		100.0%	56.0%	42.9%	1.0%
	8. 金融業、保険業	24	19	5	0
		100.0%	79.2%	20.8%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	13	10	3	0
		100.0%	76.9%	23.1%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	11	4	0
		100.0%	73.3%	26.7%	0.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	14	10	4	0
		100.0%	71.4%	28.6%	0.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	10	8	2	0
		100.0%	80.0%	20.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	14	6	8	0
		100.0%	42.9%	57.1%	0.0%
	14. 医療、福祉	28	18	10	0
		100.0%	64.3%	35.7%	0.0%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	56	28	28	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
16. その他	30	16	14	0	
	100.0%	53.3%	46.7%	0.0%	
(無回答)	8	3	5	0	
	100.0%	37.5%	62.5%	0.0%	



従業員数別クロス集計表		全体	1. 実施した	2. 実施していない	(無回答)
全体		980	597	380	3
		100.0%	60.9%	38.8%	0.3%
従業員数	1. 100人未満	73	13	59	1
		100.0%	17.8%	80.8%	1.4%
	2. 100人以上～300人未満	433	208	224	1
		100.0%	48.0%	51.7%	0.2%
	3. 300人以上～500人未満	127	95	31	1
		100.0%	74.8%	24.4%	0.8%
	4. 500人以上～1,000人未満	85	61	24	0
		100.0%	71.8%	28.2%	0.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	125	99	26	0
		100.0%	79.2%	20.8%	0.0%
	6. 5,000人以上～10,000人未満	65	56	9	0
		100.0%	86.2%	13.8%	0.0%
	7. 10,000人以上	70	64	6	0
		100.0%	91.4%	8.6%	0.0%
(無回答)	2	1	1	0	
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	

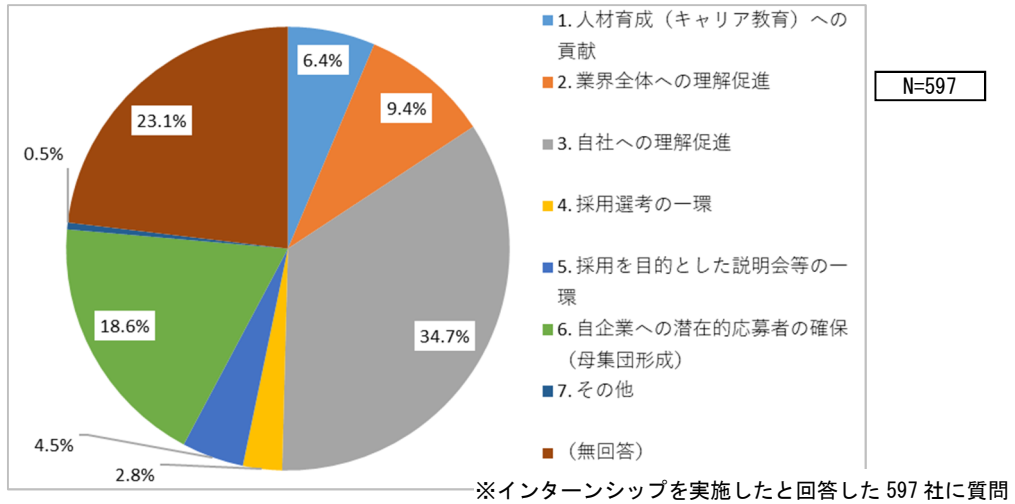
所在地別クロス集計表		全体	1. 実施した	2. 実施していない	(無回答)
全体		980	597	380	3
		100.0%	60.9%	38.8%	0.3%
所在地	1. 北海道・東北	91	40	51	0
		100.0%	44.0%	56.0%	0.0%
	2. 関東（東京以外）	139	77	61	1
		100.0%	55.4%	43.9%	0.7%
	3. 東京	266	174	92	0
		100.0%	65.4%	34.6%	0.0%
	4. 中部	175	116	59	0
		100.0%	66.3%	33.7%	0.0%
	5. 近畿	172	100	71	1
		100.0%	58.1%	41.3%	0.6%
	6. 中国・四国	81	55	25	1
		100.0%	67.9%	30.9%	1.2%
	7. 九州・沖縄	53	33	20	0
		100.0%	62.3%	37.7%	0.0%
(無回答)	3	2	1	0	
	100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	

## (2) インターンシップの実施目的として最も大きいものについて

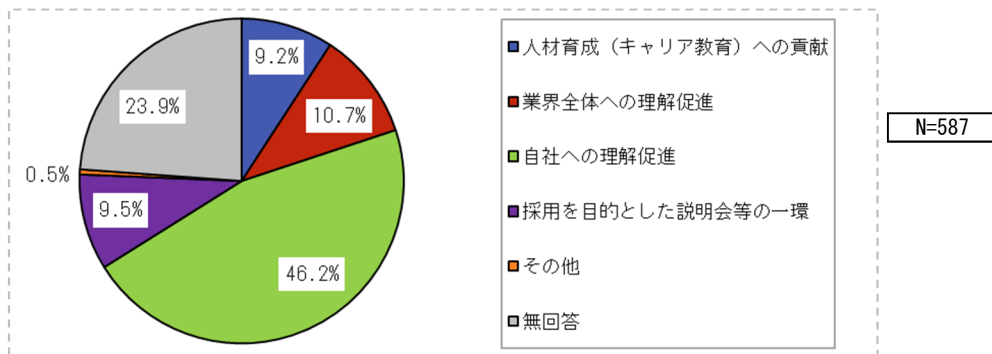
○ (1) にて「実施した」と回答した企業（597社）に対して、インターンシップの実施目的を尋ねたところ、「自社への理解促進」が最も多く34.7%、次いで、「自企業への潜在的応募者の確保（母集団形成）」（18.6%）であった。

インターンシップの実施目的として最も大きいものは何ですか（最も当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 人材育成（キャリア教育）への貢献	2. 業界全体への理解促進	3. 自社への理解促進	4. 採用選考の一環	5. 採用を目的とした説明会等の一環	6. 自企業への潜在的応募者の確保（母集団形成）	7. その他	(無回答)
597	38	56	207	17	27	111	3	138
100.0%	6.4%	9.4%	34.7%	2.8%	4.5%	18.6%	0.5%	23.1%



[参考：昨年度調査]



業種別クロス集計表		全体	1.人材育成 (キャリア 教育)への 貢献	2.業界全体 への理解促 進	3.自社への 理解促進	4.採用選考 の一環	5.採用を目 的とした説 明会等の一 環	6.自企業への 潜在的応募者 の確保(母集 団形成)	7.その他	(無回答)
全体		597	38	56	207	17	27	111	3	138
		100.0%	6.4%	9.4%	34.7%	2.8%	4.5%	18.6%	0.5%	23.1%
業 種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	1	0	0	0	0	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	60	4	9	16	1	3	18	0	9
		100.0%	6.7%	15.0%	26.7%	1.7%	5.0%	30.0%	0.0%	15.0%
	3. 製造業	223	11	11	81	10	14	39	2	55
		100.0%	4.9%	4.9%	36.3%	4.5%	6.3%	17.5%	0.9%	24.7%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	12	2	1	4	0	0	3	0	2
		100.0%	16.7%	8.3%	33.3%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	16.7%
	5. 情報通信業	45	2	7	11	0	2	9	0	14
		100.0%	4.4%	15.6%	24.4%	0.0%	4.4%	20.0%	0.0%	31.1%
	6. 運輸業、郵便業	20	2	2	12	0	0	1	0	3
		100.0%	10.0%	10.0%	60.0%	0.0%	0.0%	5.0%	0.0%	15.0%
	7. 卸売業、小売業	107	10	14	35	3	2	15	1	27
		100.0%	9.3%	13.1%	32.7%	2.8%	1.9%	14.0%	0.9%	25.2%
	8. 金融業、保険業	19	0	2	5	0	1	6	0	5
		100.0%	0.0%	10.5%	26.3%	0.0%	5.3%	31.6%	0.0%	26.3%
	9. 不動産業、物品賃貸業	10	1	0	3	0	0	3	0	3
		100.0%	10.0%	0.0%	30.0%	0.0%	0.0%	30.0%	0.0%	30.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	11	2	0	4	0	1	2	0	2
		100.0%	18.2%	0.0%	36.4%	0.0%	9.1%	18.2%	0.0%	18.2%
11. 宿泊業、飲食サービス業	10	1	0	4	0	0	2	0	3	
	100.0%	10.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	30.0%	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	8	0	3	1	0	0	2	0	2	
	100.0%	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	
13. 教育・学習支援業	6	1	1	0	0	1	2	0	1	
	100.0%	16.7%	16.7%	0.0%	0.0%	16.7%	33.3%	0.0%	16.7%	
14. 医療、福祉	18	1	3	10	1	0	1	0	2	
	100.0%	5.6%	16.7%	55.6%	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%	11.1%	
15. サービス業(他に分類されないもの)	28	1	1	14	2	1	3	0	6	
	100.0%	3.6%	3.6%	50.0%	7.1%	3.6%	10.7%	0.0%	21.4%	
16. その他	16	0	2	5	0	1	4	0	4	
	100.0%	0.0%	12.5%	31.3%	0.0%	6.3%	25.0%	0.0%	25.0%	
(無回答)	3	0	0	2	0	0	1	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1.人材育成 (キャリア 教育)への 貢献	2.業界全体 への理解促 進	3.自社への 理解促進	4.採用選考 の一環	5.採用を目 的とした説 明会等の一 環	6.自企業への 潜在的応募者 の確保(母集 団形成)	7.その他	(無回答)
全体		597	38	56	207	17	27	111	3	138
		100.0%	6.4%	9.4%	34.7%	2.8%	4.5%	18.6%	0.5%	23.1%
従業員数	1. 100人未満	13	1	1	3	1	1	3	0	3
		100.0%	7.7%	7.7%	23.1%	7.7%	7.7%	23.1%	0.0%	23.1%
	2. 100人以上～300人未満	208	13	18	81	5	11	30	1	49
		100.0%	6.3%	8.7%	38.9%	2.4%	5.3%	14.4%	0.5%	23.6%
	3. 300人以上～500人未満	95	6	7	33	5	5	15	1	23
		100.0%	6.3%	7.4%	34.7%	5.3%	5.3%	15.8%	1.1%	24.2%
	4. 500人以上～1,000人未満	61	3	10	13	0	5	12	1	17
		100.0%	4.9%	16.4%	21.3%	0.0%	8.2%	19.7%	1.6%	27.9%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	99	6	12	31	2	4	22	0	22
		100.0%	6.1%	12.1%	31.3%	2.0%	4.0%	22.2%	0.0%	22.2%
6. 5,000人以上～10,000人未満	56	5	3	20	2	0	14	0	12	
	100.0%	8.9%	5.4%	35.7%	3.6%	0.0%	25.0%	0.0%	21.4%	
7. 10,000人以上	64	4	5	25	2	1	15	0	12	
	100.0%	6.3%	7.8%	39.1%	3.1%	1.6%	23.4%	0.0%	18.8%	
(無回答)	1	0	0	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

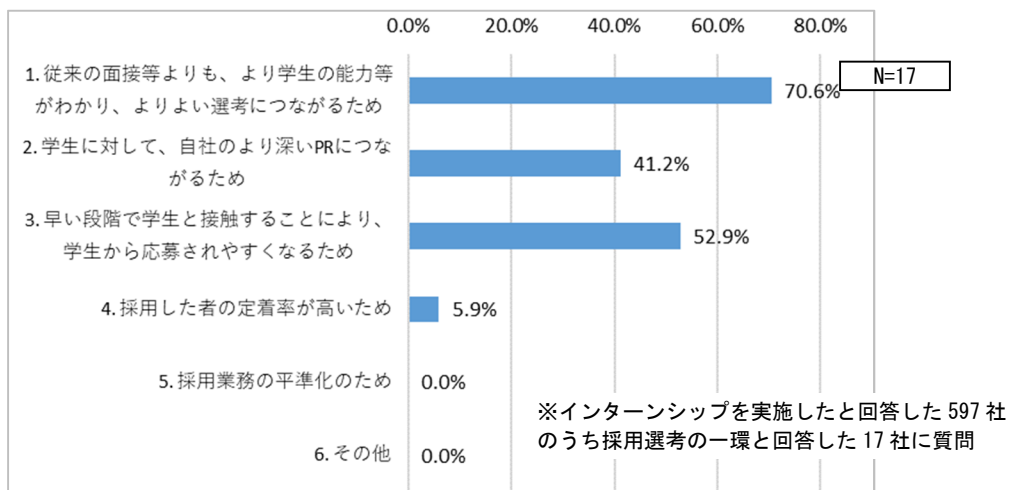
所在地別クロス集計表		全体	1.人材育成 (キャリア 教育)への 貢献	2.業界全体 への理解促 進	3.自社への 理解促進	4.採用選考 の一環	5.採用を目 的とした説 明会等の一 環	6.自企業への 潜在的応募者 の確保(母集 団形成)	7.その他	(無回答)
全体		597	38	56	207	17	27	111	3	138
		100.0%	6.4%	9.4%	34.7%	2.8%	4.5%	18.6%	0.5%	23.1%
所在地	1. 北海道・東北	40	3	6	14	0	2	5	1	9
		100.0%	7.5%	15.0%	35.0%	0.0%	5.0%	12.5%	2.5%	22.5%
	2. 関東(東京以外)	77	6	8	29	1	5	11	0	17
		100.0%	7.8%	10.4%	37.7%	1.3%	6.5%	14.3%	0.0%	22.1%
	3. 東京	174	12	12	61	3	3	38	0	45
		100.0%	6.9%	6.9%	35.1%	1.7%	1.7%	21.8%	0.0%	25.9%
	4. 中部	116	5	6	39	1	9	24	0	32
		100.0%	4.3%	5.2%	33.6%	0.9%	7.8%	20.7%	0.0%	27.6%
	5. 近畿	100	8	13	30	8	4	22	2	13
		100.0%	8.0%	13.0%	30.0%	8.0%	4.0%	22.0%	2.0%	13.0%
6. 中国・四国	55	3	6	22	3	1	5	0	15	
	100.0%	5.5%	10.9%	40.0%	5.5%	1.8%	9.1%	0.0%	27.3%	
7. 九州・沖縄	33	1	5	11	1	3	6	0	6	
	100.0%	3.0%	15.2%	33.3%	3.0%	9.1%	18.2%	0.0%	18.2%	
(無回答)	2	0	0	1	0	0	0	0	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	

### (3) 採用選考としてインターンシップを活用する理由について

○ (2) にて「採用選考の一環」と回答した企業(17社)に対し、採用選考としてインターンシップを活用する理由を尋ねたところ、「従来の面接等よりも、より学生の能力等がわかり、よりよい選考につながるため」(70.6%)との回答が最も多く、次いで「早い段階で学生と接触することにより、学生から応募されやすくなるため」(52.9%)、「学生に対して、自社のより深いPRにつながるため」(41.2%)との回答が多かった。

採用選考としてインターンシップを活用する理由をお答えください（当てはまるものを全て選択）

全体	1. 従来の面接等よりも、より学生の能力等がわかり、よりよい選考につながるため	2. 学生に対して、自社のより深いPRにつながるため	3. 早い段階で学生と接触することにより、学生から応募されやすくなるため	4. 採用した者の定着率が高いため	5. 採用業務の平準化のため	6. その他
17	12	7	9	1	0	0
	70.6%	41.2%	52.9%	5.9%	0.0%	0.0%



業種別クロス集計表		全体	1.従来の面接等よりも、より学生の能力等がわかり、よりよい選考につながるため	2.学生に対して、自社のより深いPRにつながるため	3.早い段階で学生と接触することにより、学生から応募されやすくなるため	4.採用した者の定着率が高いため	5.採用業務の平準化のため	6.その他
全体		17	12	7	9	1	0	0
			70.6%	41.2%	52.9%	5.9%	0.0%	0.0%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0
			-	-	-	-	-	-
	2. 建設業	1	1	0	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3. 製造業	10	6	3	5	0	0	0
			60.0%	30.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	0
			-	-	-	-	-	-
	5. 情報通信業	0	0	0	0	0	0	0
			-	-	-	-	-	-
	6. 運輸業、郵便業	0	0	0	0	0	0	0
			-	-	-	-	-	-
	7. 卸売業、小売業	3	3	2	3	1	0	0
			100.0%	66.7%	100.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	8. 金融業、保険業	0	0	0	0	0	0	0
			-	-	-	-	-	-
	9. 不動産業、物品賃貸業	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	
10. 学術研究、専門・技術サービス業	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	
11. 宿泊業、飲食サービス業	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	
13. 教育・学習支援業	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	
14. 医療、福祉	1	1	1	0	0	0	0	
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	2	1	1	1	0	0	0	
		50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
16. その他	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 従来の面接等よりも、より学生の能力等がわかり、よりよい選考につながるため	2. 学生に対して、自社のより深いPRIにつながるため	3. 早い段階で学生と接触することにより、学生から応募されやすくなるため	4. 採用した者の定着率が高いため	5. 採用業務の標準化のため	6. その他
全体		17	12	7	9	1	0	0
			70.6%	41.2%	52.9%	5.9%	0.0%	0.0%
従業員数	1. 100人未満	1	1	0	1	0	0	0
			100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	5	3	2	3	0	0	0
			60.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3. 300人以上～500人未満	5	4	3	1	0	0	0
			80.0%	60.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	0	0	0	0	0	0	0
			-	-	-	-	-	-
	5. 1,000人以上～5,000人未満	2	0	1	1	0	0	0
		0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
6. 5,000人以上～10,000人未満	2	2	0	2	0	0	0	
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
7. 10,000人以上	2	2	1	1	1	0	0	
		100.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	

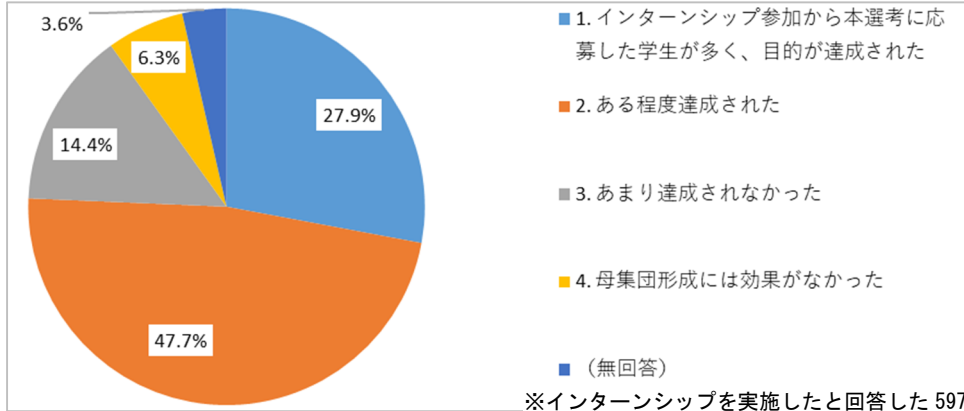
所在地別クロス集計表		全体	1. 従来の面接等よりも、より学生の能力等がわかり、よりよい選考につながるため	2. 学生に対して、自社のより深いPRIにつながるため	3. 早い段階で学生と接触することにより、学生から応募されやすくなるため	4. 採用した者の定着率が高いため	5. 採用業務の標準化のため	6. その他
全体		17	12	7	9	1	0	0
			70.6%	41.2%	52.9%	5.9%	0.0%	0.0%
所在地	1. 北海道・東北	0	0	0	0	0	0	0
			-	-	-	-	-	-
	2. 関東（東京以外）	1	1	1	0	0	0	0
			100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3. 東京	3	3	1	2	1	0	0
			100.0%	33.3%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	4. 中部	1	0	1	1	0	0	0
			0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5. 近畿	8	5	4	4	0	0	0
		62.5%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
6. 中国・四国	3	3	0	1	0	0	0	
		100.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	
7. 九州・沖縄	1	0	0	1	0	0	0	
		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	

#### (4) インターンシップの実施により目的はどの程度達成されたかについて

○(2)にて「自企業への潜在的応募者の確保(母集団形成)」と回答した企業(111社)に対し、インターンシップの実施により目的はどの程度達成されたかを尋ねたところ、「目的が達成された」と「ある程度達成された」の回答を合わせると75.6%に上り、「あまり達成されなかった」と「母集団形成には効果がなかった」の回答を合わせた20.7%を大きく上回った。

インターンシップの実施により、目的はどの程度達成されましたか(当てはまるものを一つ選択)

全体	1. インターンシップ参加から本選考に応募した学生が多く、目的が達成された	2. ある程度達成された	3. あまり達成されなかった	4. 母集団形成には効果がなかった	(無回答)
111	31	53	16	7	4
100.0%	27.9%	47.7%	14.4%	6.3%	3.6%



N=111

※インターンシップを実施したと回答した 597 社のうち潜在的応募者の確保と回答した 111 社に質問

業種別クロス集計表		全体	1. インターンシップ参加から本選考に応募した学生が多く、目的が達成された	2. ある程度達成された	3. あまり達成されなかった	4. 母集団形成には効果がなかった	(無回答)
全体		111	31	53	16	7	4
		100.0%	27.9%	47.7%	14.4%	6.3%	3.6%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0
	2. 建設業	18	4	8	2	2	2
		100.0%	22.2%	44.4%	11.1%	11.1%	11.1%
	3. 製造業	39	14	16	5	4	0
		100.0%	35.9%	41.0%	12.8%	10.3%	0.0%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	3	1	1	1	0	0
		100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%
	5. 情報通信業	9	2	5	1	0	1
		100.0%	22.2%	55.6%	11.1%	0.0%	11.1%
	6. 運輸業、郵便業	1	0	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	15	2	11	1	0	1
		100.0%	13.3%	73.3%	6.7%	0.0%	6.7%
	8. 金融業、保険業	6	3	3	0	0	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	3	1	1	1	0	0
	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	
10. 学術研究、専門・技術サービス業	2	0	1	1	0	0	
	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
11. 宿泊業、飲食サービス業	2	1	0	1	0	0	
	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	2	0	2	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
13. 教育・学習支援業	2	0	2	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
14. 医療、福祉	1	0	0	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	3	1	1	1	0	0	
	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	
16. その他	4	2	1	1	0	0	
	100.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
(無回答)	1	0	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	



従業員数別クロス集計表		全体	1. インターンシップ参加から本選考に応募した学生が多く、目的が達成された	2. ある程度達成された	3. あまり達成されなかった	4. 母集団形成には効果がなかった	(無回答)
全体		111	31	53	16	7	4
		100.0%	27.9%	47.7%	14.4%	6.3%	3.6%
従業員数	1. 100人未満	3	1	0	0	2	0
		100.0%	33.3%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	30	4	14	7	4	1
		100.0%	13.3%	46.7%	23.3%	13.3%	3.3%
	3. 300人以上～500人未満	15	2	8	2	0	3
		100.0%	13.3%	53.3%	13.3%	0.0%	20.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	12	3	7	2	0	0
		100.0%	25.0%	58.3%	16.7%	0.0%	0.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	22	9	10	3	0	0
		100.0%	40.9%	45.5%	13.6%	0.0%	0.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	14	4	10	0	0	0	
	100.0%	28.6%	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
7. 10,000人以上	15	8	4	2	1	0	
	100.0%	53.3%	26.7%	13.3%	6.7%	0.0%	
(無回答)		0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-

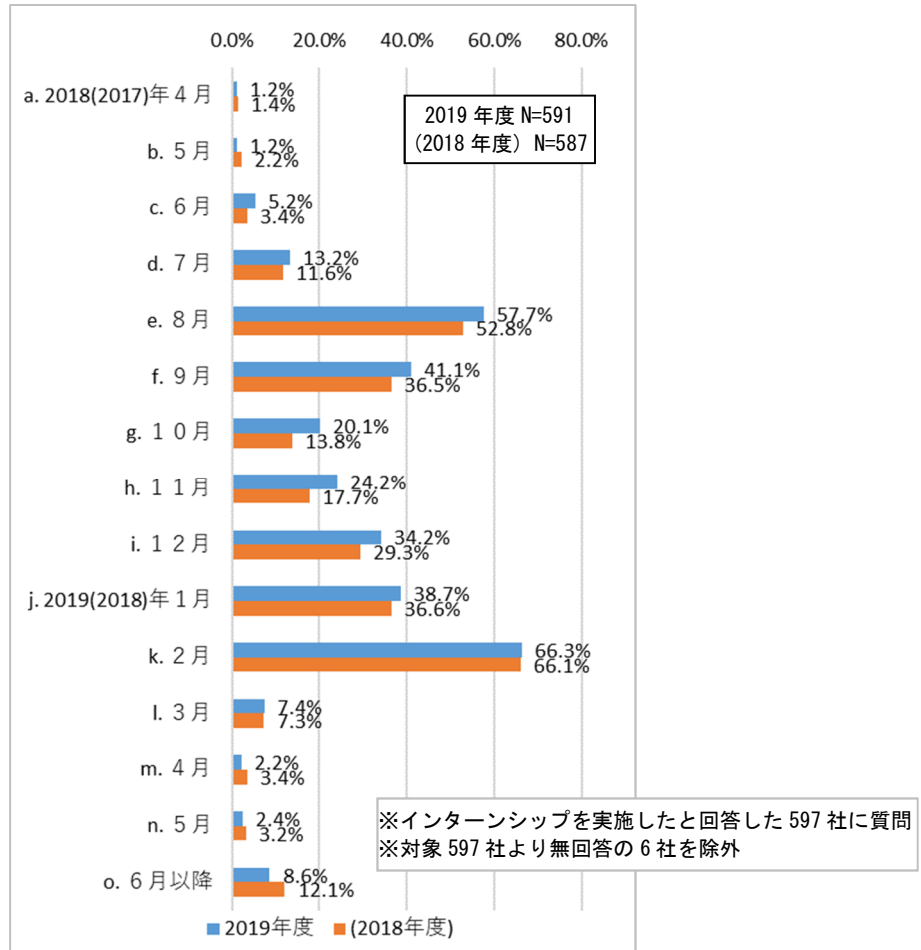
所在地別クロス集計表		全体	1. インターンシップ参加から本選考に応募した学生が多く、目的が達成された	2. ある程度達成された	3. あまり達成されなかった	4. 母集団形成には効果がなかった	(無回答)
全体		111	31	53	16	7	4
		100.0%	27.9%	47.7%	14.4%	6.3%	3.6%
所在地	1. 北海道・東北	5	0	4	0	0	1
		100.0%	0.0%	80.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	2. 関東（東京以外）	11	6	3	1	1	0
		100.0%	54.5%	27.3%	9.1%	9.1%	0.0%
	3. 東京	38	12	18	5	2	1
		100.0%	31.6%	47.4%	13.2%	5.3%	2.6%
	4. 中部	24	6	11	5	2	0
		100.0%	25.0%	45.8%	20.8%	8.3%	0.0%
	5. 近畿	22	4	12	4	1	1
		100.0%	18.2%	54.5%	18.2%	4.5%	4.5%
6. 中国・四国	5	1	2	1	1	0	
	100.0%	20.0%	40.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
7. 九州・沖縄	6	2	3	0	0	1	
	100.0%	33.3%	50.0%	0.0%	0.0%	16.7%	
(無回答)		0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-

#### (5) インターンシップを実施した時期について

○インターンシップを実施した時期を尋ねたところ、「2019年2月」（66.3%）との回答が最も多く、次いで「2018年8月」（57.7%）、「2018年9月」（41.1%）であった。

インターンシップを実施した時期はいつですか（当てはまるものを全て選択）

全体	a. 2018年4月	b. 5月	c. 6月	d. 7月	e. 8月	f. 9月	g. 10月	h. 11月	i. 12月	j. 2019年1月	k. 2月	l. 3月	m. 4月	n. 5月	o. 6月以降
591	7	7	31	78	341	243	119	143	202	229	392	44	13	14	51
	1.2%	1.2%	5.2%	13.2%	57.7%	41.1%	20.1%	24.2%	34.2%	38.7%	66.3%	7.4%	2.2%	2.4%	8.6%



業種別クロス集計表		全体	a. 2018年4月	b. 5月	c. 6月	d. 7月	e. 8月	f. 9月	g. 10月	h. 11月	i. 12月	j. 2019年1月	k. 2月	l. 3月	m. 4月	n. 5月	o. 6月以降
全体		591	7	7	31	78	341	243	119	143	202	229	392	44	13	14	51
			1.2%	1.2%	5.2%	13.2%	57.7%	41.1%	20.1%	24.2%	34.2%	38.7%	66.3%	7.4%	2.2%	2.4%	8.6%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	60	0	0	3	9	42	27	11	15	19	23	40	2	1	0	7
			0.0%	0.0%	5.0%	15.0%	70.0%	45.0%	18.3%	25.0%	31.7%	38.3%	66.7%	3.3%	1.7%	0.0%	11.7%
	3. 製造業	222	0	0	2	20	116	83	32	39	56	79	145	14	3	5	20
			0.0%	0.0%	0.9%	9.0%	52.3%	37.4%	14.4%	17.6%	25.2%	35.6%	65.3%	6.3%	1.4%	2.3%	9.0%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	12	0	0	2	1	10	7	3	4	5	7	9	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	83.3%	58.3%	25.0%	33.3%	41.7%	58.3%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5. 情報通信業	44	1	1	2	6	30	27	9	11	18	22	31	6	0	1	1
			2.3%	2.3%	4.5%	13.6%	68.2%	61.4%	20.5%	25.0%	40.9%	50.0%	70.5%	13.6%	0.0%	2.3%	2.3%
	6. 運輸業、郵便業	20	0	0	1	1	13	11	3	6	10	7	12	0	0	0	0
			0.0%	0.0%	5.0%	5.0%	65.0%	55.0%	15.0%	30.0%	50.0%	35.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	106	2	2	9	19	57	36	22	26	39	41	68	8	1	3	10
			1.9%	1.9%	8.5%	17.9%	53.8%	34.0%	20.8%	24.5%	36.8%	38.7%	64.2%	7.5%	0.9%	2.8%	9.4%
	8. 金融業、保険業	19	0	0	0	2	13	12	6	8	9	7	17	0	1	0	0
			0.0%	0.0%	0.0%	10.5%	68.4%	63.2%	31.6%	42.1%	47.4%	36.8%	89.5%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	10	0	0	0	0	6	3	2	4	6	3	6	2	1	0	1
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	30.0%	20.0%	40.0%	60.0%	30.0%	60.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%
10. 学術研究、専門・技術サービス業	10	0	0	0	1	5	4	3	3	3	3	5	0	0	0	2	
		0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	50.0%	40.0%	30.0%	30.0%	30.0%	30.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	
11. 宿泊業、飲食サービス業	9	1	1	1	2	5	4	3	3	6	6	9	2	1	2	2	
		11.1%	11.1%	11.1%	22.2%	55.6%	44.4%	33.3%	33.3%	66.7%	66.7%	100.0%	22.2%	11.1%	22.2%	22.2%	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	8	0	0	2	2	5	1	5	4	6	4	6	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	25.0%	25.0%	62.5%	12.5%	62.5%	50.0%	75.0%	50.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
13. 教育・学習支援業	6	0	0	0	0	4	3	1	2	2	0	1	0	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	50.0%	16.7%	33.3%	33.3%	0.0%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
14. 医療、福祉	18	2	2	3	6	8	6	5	2	3	6	8	6	4	1	4	
		11.1%	11.1%	16.7%	33.3%	44.4%	33.3%	27.8%	11.1%	16.7%	33.3%	44.4%	33.3%	22.2%	5.6%	22.2%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	27	0	0	3	4	16	11	5	6	9	10	19	2	0	0	2	
		0.0%	0.0%	11.1%	14.8%	59.3%	40.7%	18.5%	22.2%	33.3%	37.0%	70.4%	7.4%	0.0%	0.0%	7.4%	
16. その他	16	1	1	3	5	9	8	9	9	10	9	13	2	1	1	2	
		6.3%	6.3%	18.8%	31.3%	56.3%	50.0%	56.3%	56.3%	62.5%	56.3%	81.3%	12.5%	6.3%	6.3%	12.5%	
(無回答)	3	0	0	0	0	1	0	0	1	1	2	3	0	0	1	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	66.7%	100.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	a. 2018年4月	b. 5月	c. 6月	d. 7月	e. 8月	f. 9月	g. 10月	h. 11月	i. 12月	j. 2019年1月	k. 2月	l. 3月	m. 4月	n. 5月	o. 6月以降
全体		591	7	7	31	78	341	243	119	143	202	229	392	44	13	14	51
			1.2%	1.2%	5.2%	13.2%	57.7%	41.1%	20.1%	24.2%	34.2%	38.7%	66.3%	7.4%	2.2%	2.4%	8.6%
従業員数	1. 100人未満	11	0	0	1	3	7	6	1	2	3	3	6	3	2	1	3
			0.0%	0.0%	9.1%	27.3%	63.6%	54.5%	9.1%	18.2%	27.3%	27.3%	54.5%	27.3%	18.2%	9.1%	27.3%
	2. 100人以上～300人未満	204	2	1	4	23	111	53	25	30	42	54	114	18	1	7	29
			1.0%	0.5%	2.0%	11.3%	54.4%	26.0%	12.3%	14.7%	20.6%	26.5%	55.9%	8.8%	0.5%	3.4%	14.2%
	3. 300人以上～500人未満	95	2	2	2	6	45	33	10	10	23	32	60	8	4	3	6
			2.1%	2.1%	2.1%	6.3%	47.4%	34.7%	10.5%	10.5%	24.2%	33.7%	63.2%	8.4%	4.2%	3.2%	6.3%
	4. 500人以上～1,000人未満	61	1	2	6	11	31	29	17	16	18	27	40	6	3	2	7
			1.6%	3.3%	9.8%	18.0%	50.8%	47.5%	27.9%	26.2%	29.5%	44.3%	65.6%	9.8%	4.9%	3.3%	11.5%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	99	2	1	5	14	66	48	25	32	46	45	76	6	1	0	2
			2.0%	1.0%	5.1%	14.1%	66.7%	48.5%	25.3%	32.3%	46.5%	45.5%	76.8%	6.1%	1.0%	0.0%	2.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	56	0	0	4	3	33	35	16	24	35	30	44	0	1	0	1	
		0.0%	0.0%	7.1%	5.4%	58.9%	62.5%	28.6%	42.9%	62.5%	53.6%	78.6%	0.0%	1.8%	0.0%	1.8%	
7. 10,000人以上	64	0	1	9	18	48	39	25	29	35	38	51	3	1	1	3	
		0.0%	1.6%	14.1%	28.1%	75.0%	60.9%	39.1%	45.3%	54.7%	59.4%	79.7%	4.7%	1.6%	1.6%	4.7%	
(無回答)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

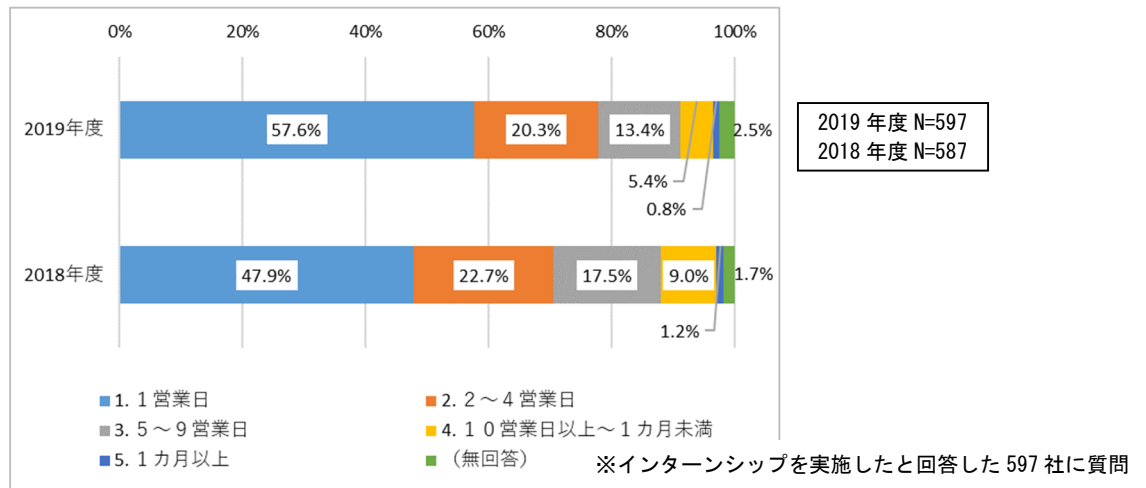
所在地別クロス集計表		全体	a. 2018年4月	b. 5月	c. 6月	d. 7月	e. 8月	f. 9月	g. 10月	h. 11月	i. 12月	j. 2019年1月	k. 2月	l. 3月	m. 4月	n. 5月	o. 6月以降
全体		591	7	7	31	78	341	243	119	143	202	229	392	44	13	14	51
			1.2%	1.2%	5.2%	13.2%	57.7%	41.1%	20.1%	24.2%	34.2%	38.7%	66.3%	7.4%	2.2%	2.4%	8.6%
所在地	1. 北海道・東北	39	0	0	0	3	21	14	6	6	9	10	23	2	0	2	6
			0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	53.8%	35.9%	15.4%	15.4%	23.1%	25.6%	59.0%	5.1%	0.0%	5.1%	15.4%
	2. 関東（東京以外）	77	0	1	8	18	45	29	15	18	22	34	51	4	2	2	10
			0.0%	1.3%	10.4%	23.4%	58.4%	37.7%	19.5%	23.4%	28.6%	44.2%	66.2%	5.2%	2.6%	2.6%	13.0%
	3. 東京	171	1	2	11	24	97	85	53	62	82	91	126	16	4	4	11
			0.6%	1.2%	6.4%	14.0%	56.7%	49.7%	31.0%	36.3%	48.0%	53.2%	73.7%	9.4%	2.3%	2.3%	6.4%
	4. 中部	115	2	2	3	13	74	45	14	18	26	39	89	7	3	3	14
			1.7%	1.7%	2.6%	11.3%	64.3%	39.1%	12.2%	15.7%	22.6%	33.9%	77.4%	6.1%	2.6%	2.6%	12.2%
	5. 近畿	99	2	1	5	10	49	30	21	29	38	36	60	9	3	2	3
			2.0%	1.0%	5.1%	10.1%	49.5%	30.3%	21.2%	29.3%	38.4%	36.4%	60.6%	9.1%	3.0%	2.0%	3.0%
6. 中国・四国	55	1	1	4	7	34	28	8	5	16	12	25	3	1	0	7	
		1.8%	1.8%	7.3%	12.7%	61.8%	50.9%	14.5%	9.1%	29.1%	21.8%	45.5%	5.5%	1.8%	0.0%	12.7%	
7. 九州・沖縄	33	1	0	0	3	20	12	2	5	9	7	17	3	0	1	0	
		3.0%	0.0%	0.0%	9.1%	60.6%	36.4%	6.1%	15.2%	27.3%	21.2%	51.5%	9.1%	0.0%	3.0%	0.0%	
(無回答)	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

(6) インターンシップの実施日数について

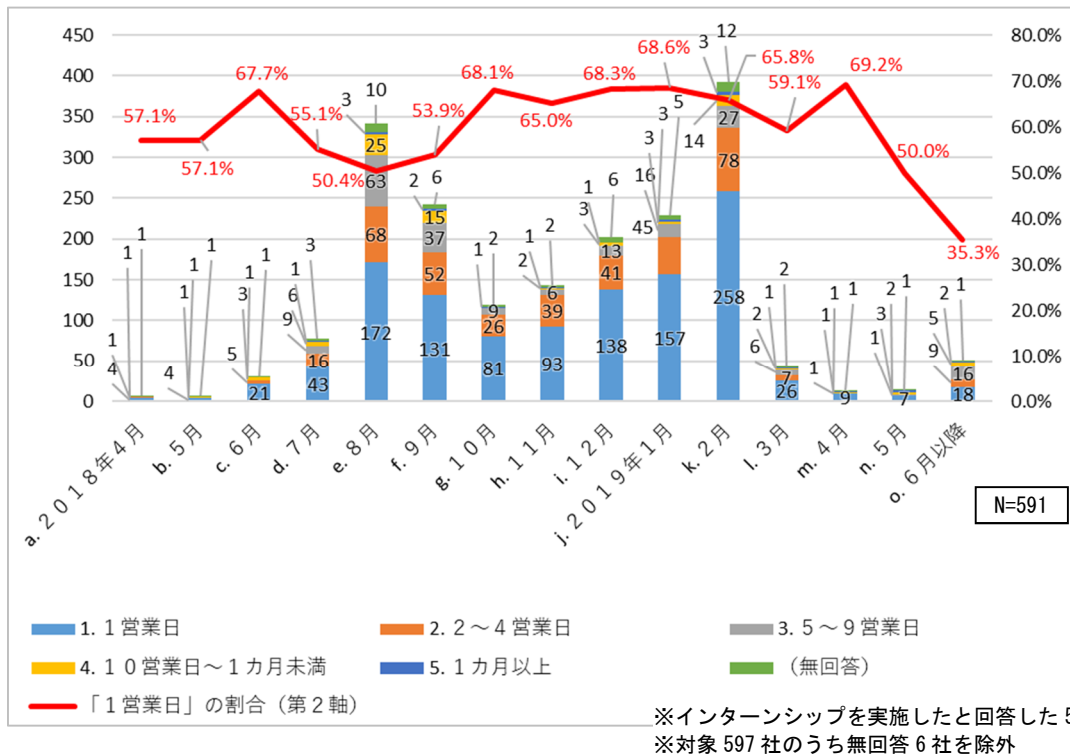
○1回あたりのインターンシップの実施日数を尋ねたところ、「1営業日」（57.6%）との回答が最も多く、次に「2～4営業日」（20.3%）、「5～9営業日」（13.4%）であった。

1回あたりのインターンシップについて、実施日数は何日間ですか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 1営業日	2. 2～4営業日	3. 5～9営業日	4. 10営業日以上～1カ月未満	5. 1カ月以上	(無回答)
597	344	121	80	32	5	15
100.0%	57.6%	20.3%	13.4%	5.4%	0.8%	2.5%



参考：インターンシップの実施時期と1回あたりの実施日数



業種別クロス集計表	全体	1. 1営業日	2. 2～4営業日	3. 5～9営業日	4. 10営業日以上～1カ月未満	5. 1カ月以上	(無回答)
全体	597	344	121	80	32	5	15
	100.0%	57.6%	20.3%	13.4%	5.4%	0.8%	2.5%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	1	0	0	1	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	60	36	10	9	4	0
		100.0%	60.0%	16.7%	15.0%	6.7%	0.0%
	3. 製造業	223	107	51	38	17	2
		100.0%	48.0%	22.9%	17.0%	7.6%	0.9%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	12	5	5	2	0	0
		100.0%	41.7%	41.7%	16.7%	0.0%	0.0%
	5. 情報通信業	45	27	6	8	3	0
		100.0%	60.0%	13.3%	17.8%	6.7%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	20	9	8	2	1	0
		100.0%	45.0%	40.0%	10.0%	5.0%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	107	75	18	6	5	1
		100.0%	70.1%	16.8%	5.6%	4.7%	0.9%
	8. 金融業、保険業	19	8	8	2	1	0
		100.0%	42.1%	42.1%	10.5%	5.3%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	10	8	1	1	0	0
		100.0%	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	11	5	1	3	0	1
		100.0%	45.5%	9.1%	27.3%	0.0%	9.1%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	10	5	2	2	0	0
		100.0%	50.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	8	8	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	6	3	1	2	0	0
		100.0%	50.0%	16.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	14. 医療、福祉	18	16	2	0	0	0
		100.0%	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	28	19	6	2	1	0
		100.0%	67.9%	21.4%	7.1%	3.6%	0.0%
	16. その他	16	11	2	1	0	1
		100.0%	68.8%	12.5%	6.3%	0.0%	6.3%
(無回答)	3	2	0	1	0	0	
	100.0%	66.7%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 1 営業日	2. 2～4 営業日	3. 5～9 営業日	4. 10 営業日以上～1 カ月未満	5. 1 カ月以上	(無回答)
全体		597	344	121	80	32	5	15
		100.0%	57.6%	20.3%	13.4%	5.4%	0.8%	2.5%
従業員数	1. 100 人未満	13	7	1	4	1	0	0
		100.0%	53.8%	7.7%	30.8%	7.7%	0.0%	0.0%
	2. 100 人以上～300 人未満	208	116	41	36	8	2	5
		100.0%	55.8%	19.7%	17.3%	3.8%	1.0%	2.4%
	3. 300 人以上～500 人未満	95	57	13	13	7	2	3
		100.0%	60.0%	13.7%	13.7%	7.4%	2.1%	3.2%
	4. 500 人以上～1,000 人未満	61	40	8	8	2	0	3
		100.0%	65.6%	13.1%	13.1%	3.3%	0.0%	4.9%
	5. 1,000 人以上～5,000 人未満	99	62	22	10	3	1	1
		100.0%	62.6%	22.2%	10.1%	3.0%	1.0%	1.0%
	6. 5,000 人以上～10,000 人未満	56	24	23	4	3	0	2
		100.0%	42.9%	41.1%	7.1%	5.4%	0.0%	3.6%
	7. 10,000 人以上	64	37	13	5	8	0	1
		100.0%	57.8%	20.3%	7.8%	12.5%	0.0%	1.6%
(無回答)	1	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

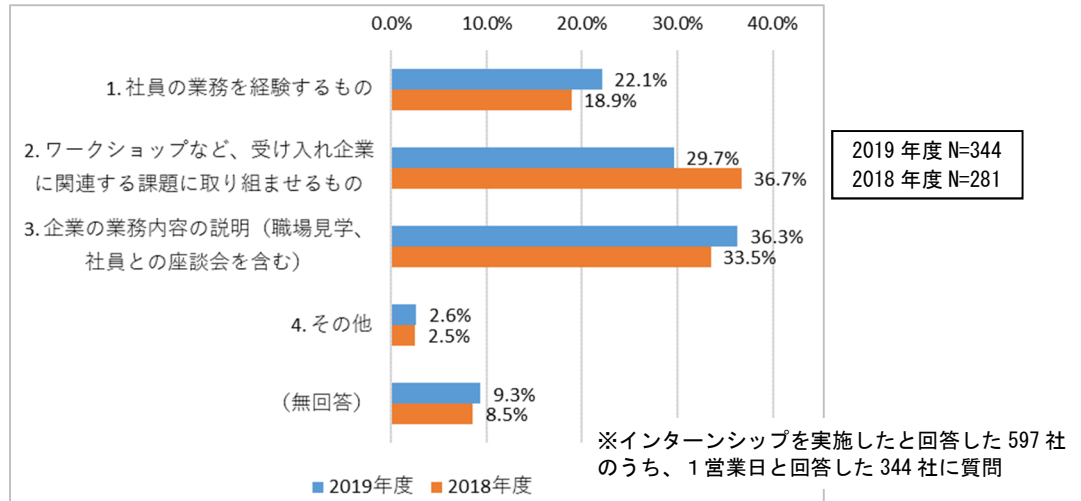
所在地別クロス集計表		全体	1. 1 営業日	2. 2～4 営業日	3. 5～9 営業日	4. 10 営業日以上～1 カ月未満	5. 1 カ月以上	(無回答)
全体		597	344	121	80	32	5	15
		100.0%	57.6%	20.3%	13.4%	5.4%	0.8%	2.5%
所在地	1. 北海道・東北	40	26	7	5	1	1	0
		100.0%	65.0%	17.5%	12.5%	2.5%	2.5%	0.0%
	2. 関東（東京以外）	77	40	18	14	5	0	0
		100.0%	51.9%	23.4%	18.2%	6.5%	0.0%	0.0%
	3. 東京	174	94	41	23	7	2	7
		100.0%	54.0%	23.6%	13.2%	4.0%	1.1%	4.0%
	4. 中部	116	75	19	11	4	2	5
		100.0%	64.7%	16.4%	9.5%	3.4%	1.7%	4.3%
	5. 近畿	100	63	17	6	11	0	3
		100.0%	63.0%	17.0%	6.0%	11.0%	0.0%	3.0%
	6. 中国・四国	55	31	6	17	1	0	0
		100.0%	56.4%	10.9%	30.9%	1.8%	0.0%	0.0%
	7. 九州・沖縄	33	15	12	4	2	0	0
		100.0%	45.5%	36.4%	12.1%	6.1%	0.0%	0.0%
(無回答)	2	0	1	0	1	0	0	
	100.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

### (7) 1 日間のインターンシップの内容について

○1 回あたりのインターンシップの実施日数が「1 営業日」と回答した企業（344 社）に対し、インターンシップの内容を尋ねたところ、「企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）」（36.3%）との回答が最も多く、次いで「ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組ませるもの」（29.7%）との回答が多かった。

1日間（1営業日）のインターンシップの内容はどのようなものですか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組ませるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	（無回答）
344	76	102	125	9	32
100.0%	22.1%	29.7%	36.3%	2.6%	9.3%





業種別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組ませるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		344	76	102	125	9	32
		100.0%	22.1%	29.7%	36.3%	2.6%	9.3%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	2. 建設業	36	12	7	15	0	2
		100.0%	33.3%	19.4%	41.7%	0.0%	5.6%
	3. 製造業	107	22	27	43	3	12
		100.0%	20.6%	25.2%	40.2%	2.8%	11.2%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	5	0	3	2	0	0
		100.0%	0.0%	60.0%	40.0%	0.0%	0.0%
	5. 情報通信業	27	6	15	4	1	1
		100.0%	22.2%	55.6%	14.8%	3.7%	3.7%
	6. 運輸業、郵便業	9	1	2	6	0	0
		100.0%	11.1%	22.2%	66.7%	0.0%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	75	13	23	26	1	12
		100.0%	17.3%	30.7%	34.7%	1.3%	16.0%
	8. 金融業、保険業	8	2	2	3	1	0
		100.0%	25.0%	25.0%	37.5%	12.5%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	8	3	2	1	0	2
		100.0%	37.5%	25.0%	12.5%	0.0%	25.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	5	0	2	2	0	1
		100.0%	0.0%	40.0%	40.0%	0.0%	20.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	5	0	1	3	0	1
		100.0%	0.0%	20.0%	60.0%	0.0%	20.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	8	4	2	2	0	0
		100.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	3	0	3	0	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	14. 医療、福祉	16	8	0	8	0	0
		100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	19	4	6	7	2	0
		100.0%	21.1%	31.6%	36.8%	10.5%	0.0%
	16. その他	11	0	7	2	1	1
		100.0%	0.0%	63.6%	18.2%	9.1%	9.1%
(無回答)	2	1	0	1	0	0	
	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みさせるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		344	76	102	125	9	32
		100.0%	22.1%	29.7%	36.3%	2.6%	9.3%
従業員数	1. 100人未満	7	0	2	4	0	1
		100.0%	0.0%	28.6%	57.1%	0.0%	14.3%
	2. 100人以上～300人未満	116	33	21	49	1	12
		100.0%	28.4%	18.1%	42.2%	0.9%	10.3%
	3. 300人以上～500人未満	57	15	16	21	2	3
		100.0%	26.3%	28.1%	36.8%	3.5%	5.3%
	4. 500人以上～1,000人未満	40	10	9	15	2	4
		100.0%	25.0%	22.5%	37.5%	5.0%	10.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	62	10	21	19	4	8
		100.0%	16.1%	33.9%	30.6%	6.5%	12.9%
6. 5,000人以上～10,000人未満	24	4	13	6	0	1	
	100.0%	16.7%	54.2%	25.0%	0.0%	4.2%	
7. 10,000人以上	37	3	20	11	0	3	
	100.0%	8.1%	54.1%	29.7%	0.0%	8.1%	
(無回答)		1	1	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

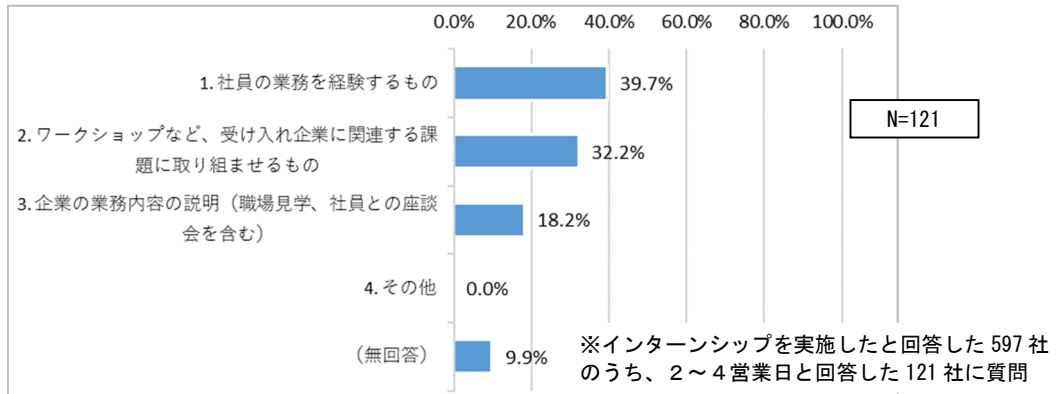
所在地別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みさせるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		344	76	102	125	9	32
		100.0%	22.1%	29.7%	36.3%	2.6%	9.3%
所在地	1. 北海道・東北	26	5	4	13	0	4
		100.0%	19.2%	15.4%	50.0%	0.0%	15.4%
	2. 関東（東京以外）	40	9	7	20	1	3
		100.0%	22.5%	17.5%	50.0%	2.5%	7.5%
	3. 東京	94	8	43	32	3	8
		100.0%	8.5%	45.7%	34.0%	3.2%	8.5%
	4. 中部	75	22	18	22	3	10
		100.0%	29.3%	24.0%	29.3%	4.0%	13.3%
	5. 近畿	63	19	22	18	1	3
		100.0%	30.2%	34.9%	28.6%	1.6%	4.8%
6. 中国・四国	31	9	5	14	1	2	
	100.0%	29.0%	16.1%	45.2%	3.2%	6.5%	
7. 九州・沖縄	15	4	3	6	0	2	
	100.0%	26.7%	20.0%	40.0%	0.0%	13.3%	
(無回答)		0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-

#### (8) 2～4日間のインターンシップの内容について

○1回あたりのインターンシップの実施日数が「2～4営業日」と回答した企業（121社）に対し、インターンシップの内容を尋ねたところ、「社員の業務を経験するもの」（39.7%）との回答が最も多く、次いで「ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みさせるもの」（32.2%）との回答が多かった。

2～4日間（2～4営業日）のインターンシップの内容はどのようなものですか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組ませるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	（無回答）
121	48	39	22	0	12
100.0%	39.7%	32.2%	18.2%	0.0%	9.9%



業種別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組ませるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		121	48	39	22	0	12
		100.0%	39.7%	32.2%	18.2%	0.0%	9.9%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	2. 建設業	10	2	3	4	0	1
		100.0%	20.0%	30.0%	40.0%	0.0%	10.0%
	3. 製造業	51	21	18	6	0	6
		100.0%	41.2%	35.3%	11.8%	0.0%	11.8%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	5	2	2	0	0	1
		100.0%	40.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	5. 情報通信業	6	2	2	1	0	1
		100.0%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%
	6. 運輸業、郵便業	8	2	2	4	0	0
		100.0%	25.0%	25.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	18	10	4	3	0	1
		100.0%	55.6%	22.2%	16.7%	0.0%	5.6%
	8. 金融業、保険業	8	2	4	1	0	1
		100.0%	25.0%	50.0%	12.5%	0.0%	12.5%
	9. 不動産業、物品賃貸業	1	1	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	1	1	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
11. 宿泊業、飲食サービス業	2	1	1	0	0	0	
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	
13. 教育・学習支援業	1	1	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
14. 医療、福祉	2	0	0	2	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	6	3	2	0	0	1	
	100.0%	50.0%	33.3%	0.0%	0.0%	16.7%	
16. その他	2	0	1	1	0	0	
	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組ませるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		121	48	39	22	0	12
		100.0%	39.7%	32.2%	18.2%	0.0%	9.9%
従業員数	1. 100人未満	1	0	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	41	22	5	8	0	6
		100.0%	53.7%	12.2%	19.5%	0.0%	14.6%
	3. 300人以上～500人未満	13	6	4	1	0	2
		100.0%	46.2%	30.8%	7.7%	0.0%	15.4%
	4. 500人以上～1,000人未満	8	4	3	1	0	0
		100.0%	50.0%	37.5%	12.5%	0.0%	0.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	22	6	10	5	0	1
		100.0%	27.3%	45.5%	22.7%	0.0%	4.5%
6. 5,000人以上～10,000人未満	23	6	11	4	0	2	
	100.0%	26.1%	47.8%	17.4%	0.0%	8.7%	
7. 10,000人以上	13	4	5	3	0	1	
	100.0%	30.8%	38.5%	23.1%	0.0%	7.7%	
(無回答)		0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-

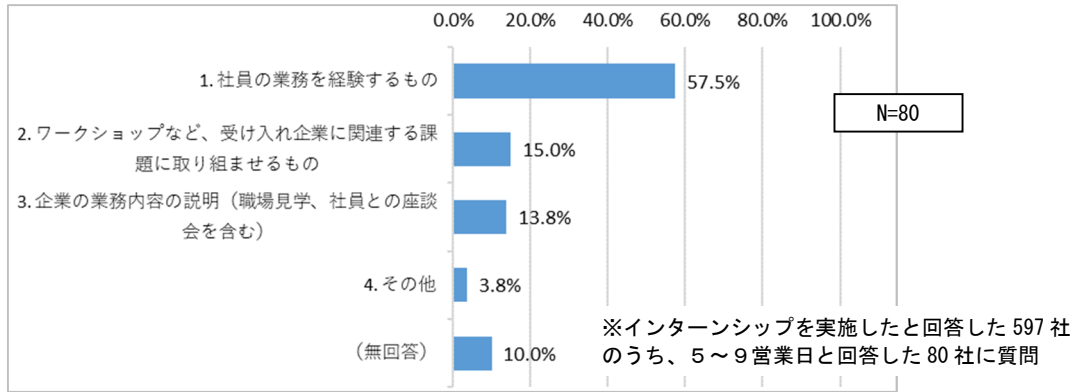
所在地別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組ませるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		121	48	39	22	0	12
		100.0%	39.7%	32.2%	18.2%	0.0%	9.9%
所在地	1. 北海道・東北	7	2	2	2	0	1
		100.0%	28.6%	28.6%	28.6%	0.0%	14.3%
	2. 関東（東京以外）	18	8	5	4	0	1
		100.0%	44.4%	27.8%	22.2%	0.0%	5.6%
	3. 東京	41	11	18	6	0	6
		100.0%	26.8%	43.9%	14.6%	0.0%	14.6%
	4. 中部	19	9	4	4	0	2
		100.0%	47.4%	21.1%	21.1%	0.0%	10.5%
	5. 近畿	17	7	8	1	0	1
		100.0%	41.2%	47.1%	5.9%	0.0%	5.9%
6. 中国・四国	6	3	0	2	0	1	
	100.0%	50.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%	
7. 九州・沖縄	12	7	2	3	0	0	
	100.0%	58.3%	16.7%	25.0%	0.0%	0.0%	
(無回答)		1	1	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

### (9) 5～9日間のインターンシップの内容について

○1回あたりのインターンシップの実施日数が「5～9営業日」とであると回答した企業（80社）に対し、インターンシップの内容を尋ねたところ、「社員の業務を経験するもの」（57.5%）との回答が最も多かった。

5～9日間（5～9営業日）のインターンシップの内容はどのようなものですか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組ませるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
80	46	12	11	3	8
100.0%	57.5%	15.0%	13.8%	3.8%	10.0%



業種別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みさせるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		80	46	12	11	3	8
		100.0%	57.5%	15.0%	13.8%	3.8%	10.0%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	1	1	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	9	3	0	4	1	1
		100.0%	33.3%	0.0%	44.4%	11.1%	11.1%
	3. 製造業	38	25	7	2	1	3
		100.0%	65.8%	18.4%	5.3%	2.6%	7.9%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	2	1	0	1	0	0
		100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	5. 情報通信業	8	6	0	0	0	2
		100.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	6. 運輸業、郵便業	2	1	0	1	0	0
		100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	6	2	2	1	0	1
		100.0%	33.3%	33.3%	16.7%	0.0%	16.7%
	8. 金融業、保険業	2	0	2	0	0	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9. 不動産業、物品賃貸業	1	0	0	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
10. 学術研究、専門・技術サービス業	3	1	0	1	0	1	
	100.0%	33.3%	0.0%	33.3%	0.0%	33.3%	
11. 宿泊業、飲食サービス業	2	2	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	
13. 教育・学習支援業	2	2	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
14. 医療、福祉	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	
15. サービス業（他に分類されないもの）	2	2	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
16. その他	1	0	0	1	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
(無回答)	1	0	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組ませるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		80	46	12	11	3	8
		100.0%	57.5%	15.0%	13.8%	3.8%	10.0%
従業員数	1. 100人未満	4	3	0	0	0	1
		100.0%	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%
	2. 100人以上～300人未満	36	24	4	4	2	2
		100.0%	66.7%	11.1%	11.1%	5.6%	5.6%
	3. 300人以上～500人未満	13	8	0	2	0	3
		100.0%	61.5%	0.0%	15.4%	0.0%	23.1%
	4. 500人以上～1,000人未満	8	3	0	3	1	1
		100.0%	37.5%	0.0%	37.5%	12.5%	12.5%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	10	4	5	0	0	1
		100.0%	40.0%	50.0%	0.0%	0.0%	10.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	4	2	0	2	0	0	
	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
7. 10,000人以上	5	2	3	0	0	0	
	100.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
(無回答)		0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-

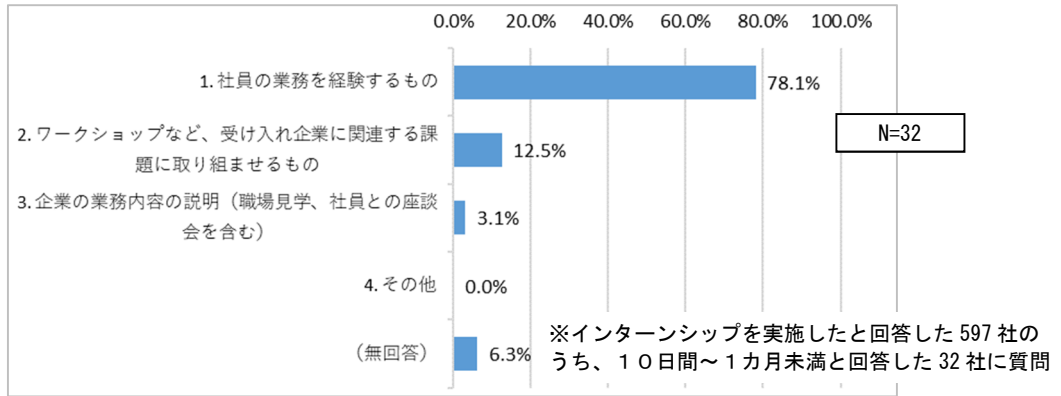
所在地別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組ませるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		80	46	12	11	3	8
		100.0%	57.5%	15.0%	13.8%	3.8%	10.0%
所在地	1. 北海道・東北	5	2	2	1	0	0
		100.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	2. 関東（東京以外）	14	7	2	2	2	1
		100.0%	50.0%	14.3%	14.3%	14.3%	7.1%
	3. 東京	23	13	5	1	1	3
		100.0%	56.5%	21.7%	4.3%	4.3%	13.0%
	4. 中部	11	6	1	3	0	1
		100.0%	54.5%	9.1%	27.3%	0.0%	9.1%
	5. 近畿	6	6	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6. 中国・四国	17	10	2	3	0	2	
	100.0%	58.8%	11.8%	17.6%	0.0%	11.8%	
7. 九州・沖縄	4	2	0	1	0	1	
	100.0%	50.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	
(無回答)		0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-

### (10) 10日間～1カ月未満のインターンシップの内容について

○1回あたりのインターンシップの実施日数が「10日間～1カ月未満」とであると回答した企業（32社）に対し、インターンシップの内容を尋ねたところ、「社員の業務を経験するもの」（78.1%）との回答が最も多かった。

10日間～1カ月未満（10営業日～1カ月未満）のインターンシップの内容はどのようなものですか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組ませるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
32	25	4	1	0	2
100.0%	78.1%	12.5%	3.1%	0.0%	6.3%



業種別クロス集計表	全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組ませるもの	3. 企業の業務内容の説明 (職場見学、社員との座談会を含む)	4. その他	(無回答)
全体	32	25	4	1	0	2
	100.0%	78.1%	12.5%	3.1%	0.0%	6.3%
1. 鉱業・採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-
2. 建設業	4	3	0	1	0	0
	100.0%	75.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
3. 製造業	17	15	0	0	0	2
	100.0%	88.2%	0.0%	0.0%	0.0%	11.8%
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-
5. 情報通信業	3	3	0	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6. 運輸業、郵便業	1	0	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
7. 卸売業、小売業	5	4	1	0	0	0
	100.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. 金融業、保険業	1	0	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
9. 不動産業、物品賃貸業	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-
10. 学術研究、専門・技術サービス業	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-
11. 宿泊業、飲食サービス業	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-
12. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-
13. 教育・学習支援業	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-
14. 医療、福祉	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-
15. サービス業 (他に分類されないもの)	1	0	1	0	0	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16. その他	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-
(無回答)	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-



従業員数別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みせるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		32	25	4	1	0	2
		100.0%	78.1%	12.5%	3.1%	0.0%	6.3%
従業員数	1. 100人未満	1	1	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	8	5	1	1	0	1
		100.0%	62.5%	12.5%	12.5%	0.0%	12.5%
	3. 300人以上～500人未満	7	6	1	0	0	0
		100.0%	85.7%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	2	1	0	0	0	1
		100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	3	2	1	0	0	0
		100.0%	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	3	3	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
7. 10,000人以上	8	7	1	0	0	0	
	100.0%	87.5%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	
(無回答)		0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-

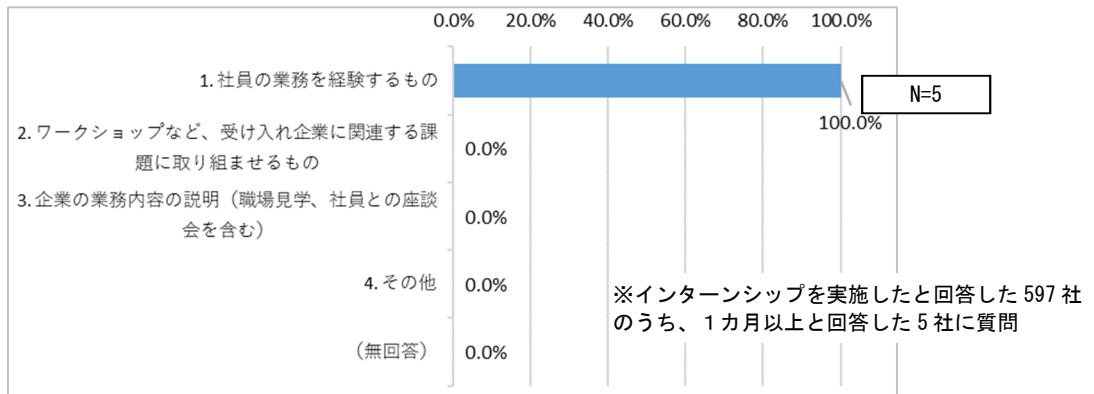
所在地別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みせるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		32	25	4	1	0	2
		100.0%	78.1%	12.5%	3.1%	0.0%	6.3%
所在地	1. 北海道・東北	1	1	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 関東（東京以外）	5	4	0	0	0	1
		100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
	3. 東京	7	5	2	0	0	0
		100.0%	71.4%	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%
	4. 中部	4	4	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5. 近畿	11	8	2	0	0	1
		100.0%	72.7%	18.2%	0.0%	0.0%	9.1%
6. 中国・四国	1	1	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
7. 九州・沖縄	2	1	0	1	0	0	
	100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
(無回答)		1	1	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-

(11) 1カ月以上のインターンシップの内容について

○1回あたりのインターンシップの実施日数が「1カ月以上」と回答した企業(5社)に対し、インターンシップの内容を尋ねたところ、全社が「社員の業務を経験するもの」との回答であった。

1カ月以上のインターンシップの内容はどのようなものですか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組ませるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	（無回答）
5	5	0	0	0	0
100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



業種別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みせるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		5	5	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	2. 建設業	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	3. 製造業	2	2	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	5. 情報通信業	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	6. 運輸業、郵便業	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	7. 卸売業、小売業	1	1	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	8. 金融業、保険業	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	9. 不動産業、物品賃貸業	0	0	0	0	0	0
	-	-	-	-	-	-	
10. 学術研究、専門・技術サービス業	1	1	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
11. 宿泊業、飲食サービス業	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	
13. 教育・学習支援業	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	
14. 医療、福祉	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	
15. サービス業（他に分類されないもの）	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	
16. その他	1	1	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みせるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		5	5	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
従業員数	1. 100人未満	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	2. 100人以上～300人未満	2	2	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3. 300人以上～500人未満	2	2	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	5. 1,000人以上～5,000人未満	1	1	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	
7. 10,000人以上	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	

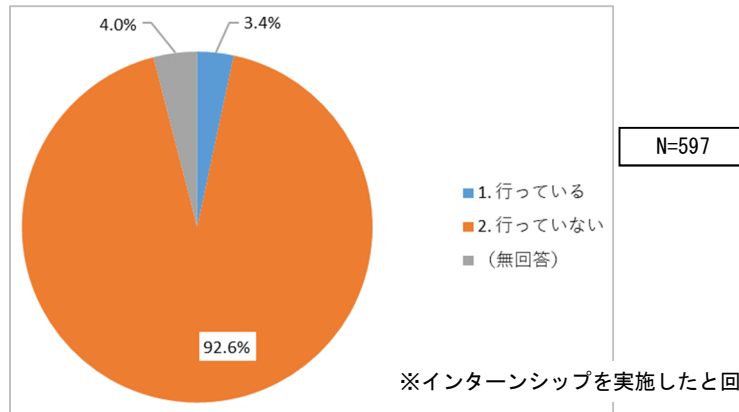
所在地別クロス集計表		全体	1. 社員の業務を経験するもの	2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みせるもの	3. 企業の業務内容の説明（職場見学、社員との座談会を含む）	4. その他	(無回答)
全体		5	5	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
所在地	1. 北海道・東北	1	1	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 関東（東京以外）	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
	3. 東京	2	2	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4. 中部	2	2	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5. 近畿	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-
6. 中国・四国	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	
7. 九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	

## (12) インターンシップの中で採用活動を行っているかについて

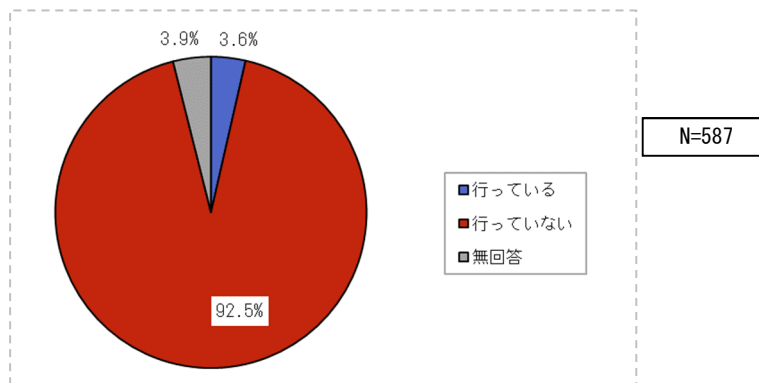
○ (1) にて「実施した」と回答した企業（597社）に対して、インターンシップのプログラムの中で、面接や試験などの採用活動を行っているかを尋ねたところ、「行っている」が3.4%、「行っていない」が92.6%であった。

インターンシップのプログラムの中で、面接や試験などの採用活動を行っていますか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 行っている	2. 行っていない	(無回答)
597	20	553	24
100.0%	3.4%	92.6%	4.0%



[参考：昨年度調査]



業種別クロス集計表	全体	1. 行っている	2. 行っていない	(無回答)	
全体	597	20	553	24	
	100.0%	3.4%	92.6%	4.0%	
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	1	0	1	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	2. 建設業	60	0	58	2
		100.0%	0.0%	96.7%	3.3%
	3. 製造業	223	10	203	10
		100.0%	4.5%	91.0%	4.5%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	12	0	12	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	5. 情報通信業	45	2	40	3
		100.0%	4.4%	88.9%	6.7%
	6. 運輸業、郵便業	20	1	18	1
		100.0%	5.0%	90.0%	5.0%
	7. 卸売業、小売業	107	3	102	2
		100.0%	2.8%	95.3%	1.9%
	8. 金融業、保険業	19	0	18	1
		100.0%	0.0%	94.7%	5.3%
	9. 不動産業、物品賃貸業	10	0	10	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	11	0	10	1
		100.0%	0.0%	90.9%	9.1%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	10	1	8	1
		100.0%	10.0%	80.0%	10.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	8	2	6	0
		100.0%	25.0%	75.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	6	0	5	1
		100.0%	0.0%	83.3%	16.7%
	14. 医療、福祉	18	1	16	1
		100.0%	5.6%	88.9%	5.6%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	28	0	27	1
		100.0%	0.0%	96.4%	3.6%
16. その他	16	0	16	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
(無回答)	3	0	3	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 行っている	2. 行っていない	(無回答)
全体		597	20	553	24
		100.0%	3.4%	92.6%	4.0%
従業員数	1. 100人未満	13	0	13	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	208	3	194	11
		100.0%	1.4%	93.3%	5.3%
	3. 300人以上～500人未満	95	3	85	7
		100.0%	3.2%	89.5%	7.4%
	4. 500人以上～1,000人未満	61	1	59	1
		100.0%	1.6%	96.7%	1.6%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	99	4	92	3
		100.0%	4.0%	92.9%	3.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	56	2	54	0	
	100.0%	3.6%	96.4%	0.0%	
7. 10,000人以上	64	7	55	2	
	100.0%	10.9%	85.9%	3.1%	
(無回答)	1	0	1	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

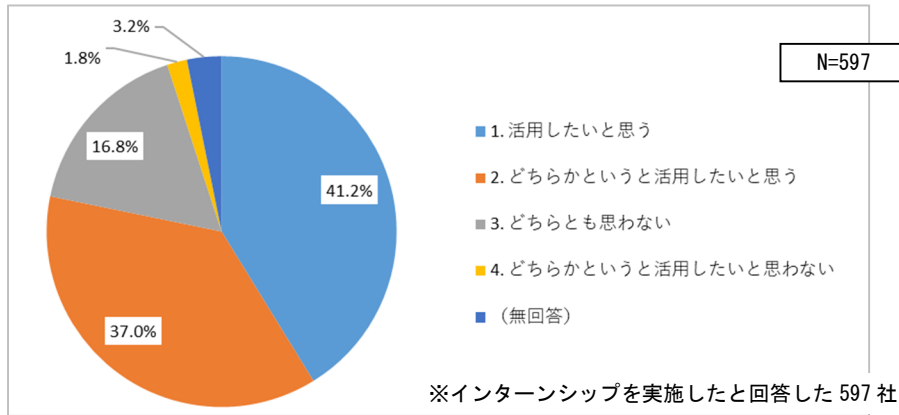
所在地別クロス集計表		全体	1. 行っている	2. 行っていない	(無回答)
全体		597	20	553	24
		100.0%	3.4%	92.6%	4.0%
所在地	1. 北海道・東北	40	0	39	1
		100.0%	0.0%	97.5%	2.5%
	2. 関東(東京以外)	77	2	74	1
		100.0%	2.6%	96.1%	1.3%
	3. 東京	174	9	154	11
		100.0%	5.2%	88.5%	6.3%
	4. 中部	116	2	109	5
		100.0%	1.7%	94.0%	4.3%
	5. 近畿	100	5	92	3
		100.0%	5.0%	92.0%	3.0%
6. 中国・四国	55	1	52	2	
	100.0%	1.8%	94.5%	3.6%	
7. 九州・沖縄	33	1	31	1	
	100.0%	3.0%	93.9%	3.0%	
(無回答)	2	0	2	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

(13) インターンシップで得た学生情報を広報活動・採用選考活動へ活用することについて

○ (1) にて「実施した」と回答した企業(597社)に対して、インターンシップで得た学生情報を、広報活動・採用選考活動へ活用することについての考えを尋ねたところ、「活用したいと思う」と「どちらかという活用したいと思う」との回答数を合わせると78.2%であった。

現在、インターンシップで得た学生情報を採用活動に使用することは原則認めていませんが、広報活動・採用選考活動へ活用することについてどう考えますか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 活用したいと思う	2. どちらかという と活用したい と思う	3. どちらとも思 わない	4. どちらかとい うと活用したい と思わない	(無回答)
597	246	221	100	11	19
100.0%	41.2%	37.0%	16.8%	1.8%	3.2%





業種別クロス集計表		全体	1. 活用したいと思う	2. どちらかという と活用したい と思う	3. どちらとも思 わない	4. どちらかとい うと活用したい と思わない	(無回答)
全体		597	246	221	100	11	19
		100.0%	41.2%	37.0%	16.8%	1.8%	3.2%
業 種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	1	1	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	60	26	26	6	2	0
		100.0%	43.3%	43.3%	10.0%	3.3%	0.0%
	3. 製造業	223	91	87	35	3	7
		100.0%	40.8%	39.0%	15.7%	1.3%	3.1%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	12	4	5	3	0	0
		100.0%	33.3%	41.7%	25.0%	0.0%	0.0%
	5. 情報通信業	45	19	19	3	0	4
		100.0%	42.2%	42.2%	6.7%	0.0%	8.9%
	6. 運輸業、郵便業	20	2	10	7	1	0
		100.0%	10.0%	50.0%	35.0%	5.0%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	107	51	28	23	2	3
		100.0%	47.7%	26.2%	21.5%	1.9%	2.8%
	8. 金融業、保険業	19	4	9	5	0	1
		100.0%	21.1%	47.4%	26.3%	0.0%	5.3%
	9. 不動産業、物品賃貸業	10	3	5	2	0	0
		100.0%	30.0%	50.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	11	5	3	1	0	2
		100.0%	45.5%	27.3%	9.1%	0.0%	18.2%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	10	6	3	0	0	1
		100.0%	60.0%	30.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	8	4	2	2	0	0
		100.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	6	1	5	0	0	0
		100.0%	16.7%	83.3%	0.0%	0.0%	0.0%
	14. 医療、福祉	18	7	5	5	0	1
		100.0%	38.9%	27.8%	27.8%	0.0%	5.6%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	28	16	9	2	1	0
		100.0%	57.1%	32.1%	7.1%	3.6%	0.0%
	16. その他	16	6	5	4	1	0
		100.0%	37.5%	31.3%	25.0%	6.3%	0.0%
(無回答)	3	0	0	2	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	66.7%	33.3%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1.活用したいと思う	2.どちらかという活用したいと思う	3.どちらとも思わない	4.どちらかという活用したいと思わない	(無回答)
全体		597	246	221	100	11	19
		100.0%	41.2%	37.0%	16.8%	1.8%	3.2%
従業員数	1. 100人未満	13	4	7	2	0	0
		100.0%	30.8%	53.8%	15.4%	0.0%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	208	76	76	43	7	6
		100.0%	36.5%	36.5%	20.7%	3.4%	2.9%
	3. 300人以上～500人未満	95	44	34	13	0	4
		100.0%	46.3%	35.8%	13.7%	0.0%	4.2%
	4. 500人以上～1,000人未満	61	24	26	7	2	2
		100.0%	39.3%	42.6%	11.5%	3.3%	3.3%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	99	44	39	13	1	2
		100.0%	44.4%	39.4%	13.1%	1.0%	2.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	56	24	20	11	0	1	
	100.0%	42.9%	35.7%	19.6%	0.0%	1.8%	
7. 10,000人以上	64	29	19	11	1	4	
	100.0%	45.3%	29.7%	17.2%	1.6%	6.3%	
(無回答)		1	1	0	0	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

所在地別クロス集計表		全体	1.活用したいと思う	2.どちらかという活用したいと思う	3.どちらとも思わない	4.どちらかという活用したいと思わない	(無回答)
全体		597	246	221	100	11	19
		100.0%	41.2%	37.0%	16.8%	1.8%	3.2%
所在地	1. 北海道・東北	40	16	13	10	1	0
		100.0%	40.0%	32.5%	25.0%	2.5%	0.0%
	2. 関東(東京以外)	77	31	27	16	1	2
		100.0%	40.3%	35.1%	20.8%	1.3%	2.6%
	3. 東京	174	79	58	26	3	8
		100.0%	45.4%	33.3%	14.9%	1.7%	4.6%
	4. 中部	116	40	55	16	1	4
		100.0%	34.5%	47.4%	13.8%	0.9%	3.4%
	5. 近畿	100	42	37	16	2	3
		100.0%	42.0%	37.0%	16.0%	2.0%	3.0%
6. 中国・四国	55	25	19	7	3	1	
	100.0%	45.5%	34.5%	12.7%	5.5%	1.8%	
7. 九州・沖縄	33	13	11	8	0	1	
	100.0%	39.4%	33.3%	24.2%	0.0%	3.0%	
(無回答)		2	0	1	1	0	0
		100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%

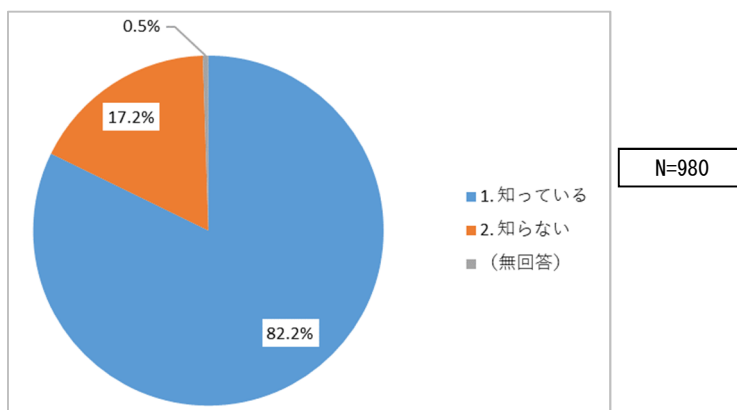
XI. 来年度の就職・採用活動時期に係る政府の経済団体等への要請等について

(1) 来年度の就職・採用活動時期の設定について

○来年度の就職・採用活動時期の設定について知っているかを尋ねたところ、「知っている」との回答が82.2%であった。

来年度の就職・採用活動時期の設定について知っていますか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 知っている	2. 知らない	(無回答)
980	806	169	5
100.0%	82.2%	17.2%	0.5%



業種別クロス集計表	全体	1.知っている	2.知らない	(無回答)	
全体	980	806	169	5	
	100.0%	82.2%	17.2%	0.5%	
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	2	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	95	78	17	0
		100.0%	82.1%	17.9%	0.0%
	3. 製造業	354	285	66	3
		100.0%	80.5%	18.6%	0.8%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	15	13	1	1
		100.0%	86.7%	6.7%	6.7%
	5. 情報通信業	72	59	13	0
		100.0%	81.9%	18.1%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	39	34	5	0
		100.0%	87.2%	12.8%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	191	152	38	1
		100.0%	79.6%	19.9%	0.5%
	8. 金融業、保険業	24	23	1	0
		100.0%	95.8%	4.2%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	13	11	2	0
		100.0%	84.6%	15.4%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	14	1	0
		100.0%	93.3%	6.7%	0.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	14	11	3	0
		100.0%	78.6%	21.4%	0.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	10	10	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	14	13	1	0
		100.0%	92.9%	7.1%	0.0%
	14. 医療、福祉	28	22	6	0
		100.0%	78.6%	21.4%	0.0%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	56	45	11	0
		100.0%	80.4%	19.6%	0.0%
16. その他	30	26	4	0	
	100.0%	86.7%	13.3%	0.0%	
(無回答)	8	8	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 知っている	2. 知らない	(無回答)
全体		980	806	169	5
		100.0%	82.2%	17.2%	0.5%
従業員数	1. 100人未満	73	44	28	1
		100.0%	60.3%	38.4%	1.4%
	2. 100人以上～300人未満	433	331	101	1
		100.0%	76.4%	23.3%	0.2%
	3. 300人以上～500人未満	127	105	21	1
		100.0%	82.7%	16.5%	0.8%
	4. 500人以上～1,000人未満	85	75	8	2
		100.0%	88.2%	9.4%	2.4%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	125	116	9	0
		100.0%	92.8%	7.2%	0.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	65	64	1	0	
	100.0%	98.5%	1.5%	0.0%	
7. 10,000人以上	70	69	1	0	
	100.0%	98.6%	1.4%	0.0%	
(無回答)	2	2	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

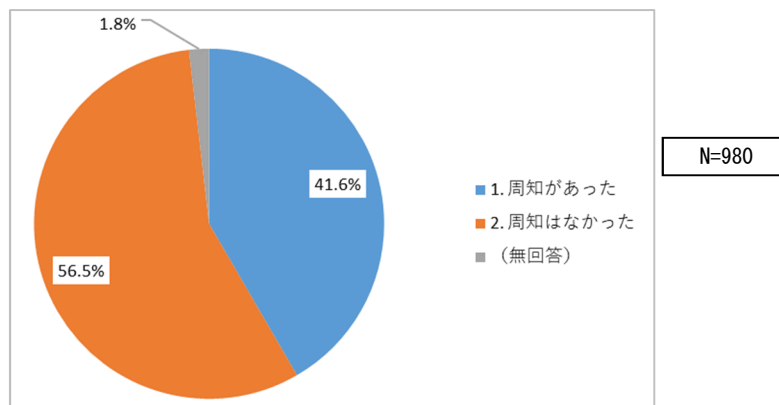
所在地別クロス集計表		全体	1. 知っている	2. 知らない	(無回答)
全体		980	806	169	5
		100.0%	82.2%	17.2%	0.5%
所在地	1. 北海道・東北	91	69	21	1
		100.0%	75.8%	23.1%	1.1%
	2. 関東(東京以外)	139	114	25	0
		100.0%	82.0%	18.0%	0.0%
	3. 東京	266	225	41	0
		100.0%	84.6%	15.4%	0.0%
	4. 中部	175	145	28	2
		100.0%	82.9%	16.0%	1.1%
	5. 近畿	172	144	27	1
		100.0%	83.7%	15.7%	0.6%
6. 中国・四国	81	61	19	1	
	100.0%	75.3%	23.5%	1.2%	
7. 九州・沖縄	53	45	8	0	
	100.0%	84.9%	15.1%	0.0%	
(無回答)	3	3	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

(2) 来年度の就職・採用活動開始時期が本年度と同様の時期に設定されたことについての周知について

○来年度の就職・採用活動開始時期が本年度と同様の時期に設定されたことについて、経済団体・業界団体、大学等から周知があったかについて尋ねたところ、「周知があった」は41.6%、「周知はなかった」は56.5%であった。

来年度の就職・採用活動開始時期が本年度と同様の時期に設定されたことについて、経済団体・業界団体、大学等から周知がありましたか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 周知があった	2. 周知はなかった	(無回答)
980	408	554	18
100.0%	41.6%	56.5%	1.8%



業種別クロス集計表	全体	1. 周知があった	2. 周知はなかった	(無回答)	
全体	980	408	554	18	
	100.0%	41.6%	56.5%	1.8%	
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	2	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	95	43	48	4
		100.0%	45.3%	50.5%	4.2%
	3. 製造業	354	151	195	8
		100.0%	42.7%	55.1%	2.3%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	15	7	8	0
		100.0%	46.7%	53.3%	0.0%
	5. 情報通信業	72	28	43	1
		100.0%	38.9%	59.7%	1.4%
	6. 運輸業、郵便業	39	18	21	0
		100.0%	46.2%	53.8%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	191	73	115	3
		100.0%	38.2%	60.2%	1.6%
	8. 金融業、保険業	24	17	7	0
		100.0%	70.8%	29.2%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	13	4	9	0
	100.0%	30.8%	69.2%	0.0%	
10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	5	10	0	
	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	
11. 宿泊業、飲食サービス業	14	5	8	1	
	100.0%	35.7%	57.1%	7.1%	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	10	2	8	0	
	100.0%	20.0%	80.0%	0.0%	
13. 教育・学習支援業	14	9	5	0	
	100.0%	64.3%	35.7%	0.0%	
14. 医療、福祉	28	8	19	1	
	100.0%	28.6%	67.9%	3.6%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	56	17	39	0	
	100.0%	30.4%	69.6%	0.0%	
16. その他	30	16	14	0	
	100.0%	53.3%	46.7%	0.0%	
(無回答)	8	3	5	0	
	100.0%	37.5%	62.5%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 周知があった	2. 周知はなかった	(無回答)
全体		980	408	554	18
		100.0%	41.6%	56.5%	1.8%
従業員数	1. 100人未満	73	14	54	5
		100.0%	19.2%	74.0%	6.8%
	2. 100人以上～300人未満	433	138	287	8
		100.0%	31.9%	66.3%	1.8%
	3. 300人以上～500人未満	127	61	65	1
		100.0%	48.0%	51.2%	0.8%
	4. 500人以上～1,000人未満	85	33	50	2
		100.0%	38.8%	58.8%	2.4%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	125	69	55	1
		100.0%	55.2%	44.0%	0.8%
6. 5,000人以上～10,000人未満	65	46	19	0	
	100.0%	70.8%	29.2%	0.0%	
7. 10,000人以上	70	45	24	1	
	100.0%	64.3%	34.3%	1.4%	
(無回答)	2	2	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

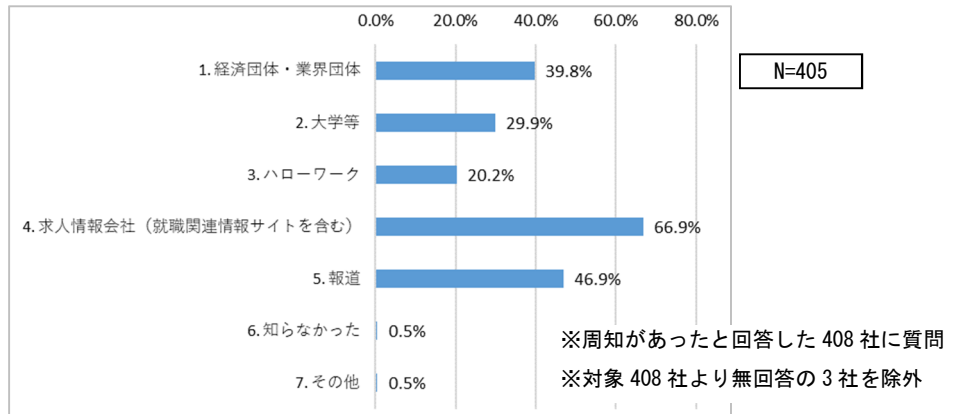
所在地別クロス集計表		全体	1. 周知があった	2. 周知はなかった	(無回答)
全体		980	408	554	18
		100.0%	41.6%	56.5%	1.8%
所在地	1. 北海道・東北	91	34	56	1
		100.0%	37.4%	61.5%	1.1%
	2. 関東(東京以外)	139	57	78	4
		100.0%	41.0%	56.1%	2.9%
	3. 東京	266	124	139	3
		100.0%	46.6%	52.3%	1.1%
	4. 中部	175	64	105	6
		100.0%	36.6%	60.0%	3.4%
	5. 近畿	172	67	103	2
		100.0%	39.0%	59.9%	1.2%
6. 中国・四国	81	34	46	1	
	100.0%	42.0%	56.8%	1.2%	
7. 九州・沖縄	53	27	25	1	
	100.0%	50.9%	47.2%	1.9%	
(無回答)	3	1	2	0	
	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	

### (3) 周知があったのはどこからかについて

○ (2) において「周知があった」と回答した企業(408社)に対して、周知があったのはどこからかを尋ねたところ、「求人情報会社(就職関連情報サイトを含む)」(66.9%)との回答が最も多く、次いで「報道」(46.9%)であった。

周知があったのはどこからですか(当てはまるものを全て選択)

全体	1. 経済団体・業界団体	2. 大学等	3. ハローワーク	4. 求人情報会社(就職関連情報サイトを含む)	5. 報道	6. 知らなかった	7. その他
405	161	121	82	271	190	2	2
	39.8%	29.9%	20.2%	66.9%	46.9%	0.5%	0.5%



業種別クロス集計表		全体	1. 経済団体・業界団体	2. 大学等	3. ハローワーク	4. 求人情報会社（就職関連情報サイトを含む）	5. 報道	6. 知らなかった	7. その他
全体		405	161	121	82	271	190	2	2
			39.8%	29.9%	20.2%	66.9%	46.9%	0.5%	0.5%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	1	0	0	1	0	0	0
			50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	43	19	7	8	24	16	1	0
			44.2%	16.3%	18.6%	55.8%	37.2%	2.3%	0.0%
	3. 製造業	149	50	51	34	104	68	0	0
			33.6%	34.2%	22.8%	69.8%	45.6%	0.0%	0.0%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	7	6	0	1	3	4	0	0
			85.7%	0.0%	14.3%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%
	5. 情報通信業	27	9	10	4	20	16	0	1
			33.3%	37.0%	14.8%	74.1%	59.3%	0.0%	3.7%
	6. 運輸業、郵便業	18	10	6	1	10	10	0	0
			55.6%	33.3%	5.6%	55.6%	55.6%	0.0%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	73	20	20	19	53	35	0	0
			27.4%	27.4%	26.0%	72.6%	47.9%	0.0%	0.0%
	8. 金融業、保険業	17	16	4	3	12	13	0	0
			94.1%	23.5%	17.6%	70.6%	76.5%	0.0%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	4	3	3	0	2	2	0	0
		75.0%	75.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
10. 学術研究、専門・技術サービス業	5	2	2	2	2	1	0	0	
		40.0%	40.0%	40.0%	40.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
11. 宿泊業、飲食サービス業	5	3	3	2	4	2	0	0	
		60.0%	60.0%	40.0%	80.0%	40.0%	0.0%	0.0%	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	2	0	1	0	2	1	0	0	
		0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	
13. 教育・学習支援業	9	6	3	1	4	3	0	0	
		66.7%	33.3%	11.1%	44.4%	33.3%	0.0%	0.0%	
14. 医療、福祉	8	2	2	3	2	2	0	0	
		25.0%	25.0%	37.5%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	17	7	2	3	12	6	0	0	
		41.2%	11.8%	17.6%	70.6%	35.3%	0.0%	0.0%	
16. その他	16	7	7	1	13	9	1	1	
		43.8%	43.8%	6.3%	81.3%	56.3%	6.3%	6.3%	
(無回答)	3	0	0	0	3	2	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	



従業員数別クロス集計表		全体	1. 経済団体・業界団体	2. 大学等	3. ハローワーク	4. 求人情報会社（就職関連情報サイトを含む）	5. 報道	6. 知らなかった	7. その他
全体		405	161	121	82	271	190	2	2
			39.8%	29.9%	20.2%	66.9%	46.9%	0.5%	0.5%
従業員数	1. 100人未満	14	3	0	6	7	3	0	0
			21.4%	0.0%	42.9%	50.0%	21.4%	0.0%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	137	36	30	31	86	56	1	0
			26.3%	21.9%	22.6%	62.8%	40.9%	0.7%	0.0%
	3. 300人以上～500人未満	61	19	19	11	47	26	0	0
			31.1%	31.1%	18.0%	77.0%	42.6%	0.0%	0.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	32	12	9	14	23	19	1	1
			37.5%	28.1%	43.8%	71.9%	59.4%	3.1%	3.1%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	68	30	28	12	50	32	0	0
			44.1%	41.2%	17.6%	73.5%	47.1%	0.0%	0.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	46	29	17	3	28	26	0	0	
		63.0%	37.0%	6.5%	60.9%	56.5%	0.0%	0.0%	
7. 10,000人以上	45	32	18	5	29	27	0	1	
		71.1%	40.0%	11.1%	64.4%	60.0%	0.0%	2.2%	
(無回答)	2	0	0	0	1	1	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

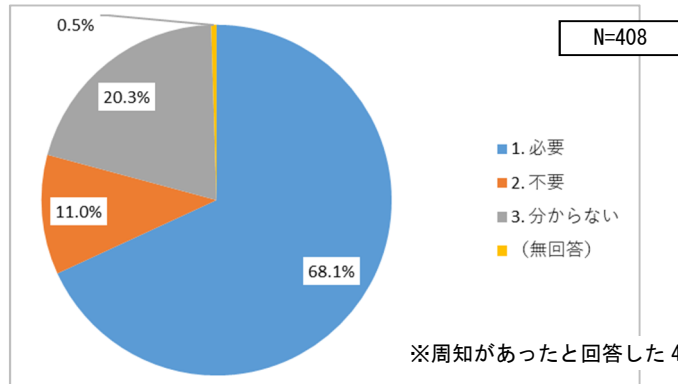
所在地別クロス集計表		全体	1. 経済団体・業界団体	2. 大学等	3. ハローワーク	4. 求人情報会社（就職関連情報サイトを含む）	5. 報道	6. 知らなかった	7. その他
全体		405	161	121	82	271	190	2	2
			39.8%	29.9%	20.2%	66.9%	46.9%	0.5%	0.5%
所在地	1. 北海道・東北	34	9	8	9	21	11	0	0
			26.5%	23.5%	26.5%	61.8%	32.4%	0.0%	0.0%
	2. 関東（東京以外）	55	16	13	16	38	21	0	0
			29.1%	23.6%	29.1%	69.1%	38.2%	0.0%	0.0%
	3. 東京	124	64	47	10	83	68	1	2
			51.6%	37.9%	8.1%	66.9%	54.8%	0.8%	1.6%
	4. 中部	64	22	16	20	40	23	0	0
			34.4%	25.0%	31.3%	62.5%	35.9%	0.0%	0.0%
	5. 近畿	66	28	23	15	49	38	1	0
			42.4%	34.8%	22.7%	74.2%	57.6%	1.5%	0.0%
6. 中国・四国	34	13	9	10	23	15	0	0	
		38.2%	26.5%	29.4%	67.6%	44.1%	0.0%	0.0%	
7. 九州・沖縄	27	9	5	2	16	14	0	0	
		33.3%	18.5%	7.4%	59.3%	51.9%	0.0%	0.0%	
(無回答)	1	0	0	0	1	0	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

#### (4) 就職・採用活動の日程について、何らかのルールは必要かについて

○ (2) において「周知があった」と回答した企業（408社）に対して、就職・採用活動の日程について、何らかのルールは必要かを尋ねたところ、「必要」との回答が68.1%で、「不要」との回答は11.0%であった。

就職・採用活動の日程について、何らかのルールは必要ですか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 必要	2. 不要	3. 分からない	(無回答)
408	278	45	83	2
100.0%	68.1%	11.0%	20.3%	0.5%



業種別クロス集計表	全体	1. 必要	2. 不要	3. 分からない	(無回答)	
全体	408	278	45	83	2	
	100.0%	68.1%	11.0%	20.3%	0.5%	
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	1	0	1	0
		100.0%	50.0%	0.0%	50.0%	0.0%
	2. 建設業	43	29	3	11	0
		100.0%	67.4%	7.0%	25.6%	0.0%
	3. 製造業	151	101	22	27	1
		100.0%	66.9%	14.6%	17.9%	0.7%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	7	5	0	2	0
		100.0%	71.4%	0.0%	28.6%	0.0%
	5. 情報通信業	28	17	4	7	0
		100.0%	60.7%	14.3%	25.0%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	18	13	1	4	0
		100.0%	72.2%	5.6%	22.2%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	73	49	8	16	0
		100.0%	67.1%	11.0%	21.9%	0.0%
	8. 金融業、保険業	17	15	0	2	0
		100.0%	88.2%	0.0%	11.8%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	4	4	0	0	0
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
10. 学術研究、専門・技術サービス業	5	3	1	1	0	
	100.0%	60.0%	20.0%	20.0%	0.0%	
11. 宿泊業、飲食サービス業	5	4	1	0	0	
	100.0%	80.0%	20.0%	0.0%	0.0%	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	2	2	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
13. 教育・学習支援業	9	6	0	2	1	
	100.0%	66.7%	0.0%	22.2%	11.1%	
14. 医療、福祉	8	5	2	1	0	
	100.0%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	17	14	1	2	0	
	100.0%	82.4%	5.9%	11.8%	0.0%	
16. その他	16	9	2	5	0	
	100.0%	56.3%	12.5%	31.3%	0.0%	
(無回答)	3	1	0	2	0	
	100.0%	33.3%	0.0%	66.7%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 必要	2. 不要	3. 分からない	(無回答)
全体		408	278	45	83	2
		100.0%	68.1%	11.0%	20.3%	0.5%
従業員数	1. 100人未満	14	6	3	5	0
		100.0%	42.9%	21.4%	35.7%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	138	92	14	32	0
		100.0%	66.7%	10.1%	23.2%	0.0%
	3. 300人以上～500人未満	61	47	3	11	0
		100.0%	77.0%	4.9%	18.0%	0.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	33	19	7	6	1
		100.0%	57.6%	21.2%	18.2%	3.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	69	50	7	12	0
		100.0%	72.5%	10.1%	17.4%	0.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	46	30	6	9	1	
	100.0%	65.2%	13.0%	19.6%	2.2%	
7. 10,000人以上	45	34	4	7	0	
	100.0%	75.6%	8.9%	15.6%	0.0%	
(無回答)	2	0	1	1	0	
	100.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	

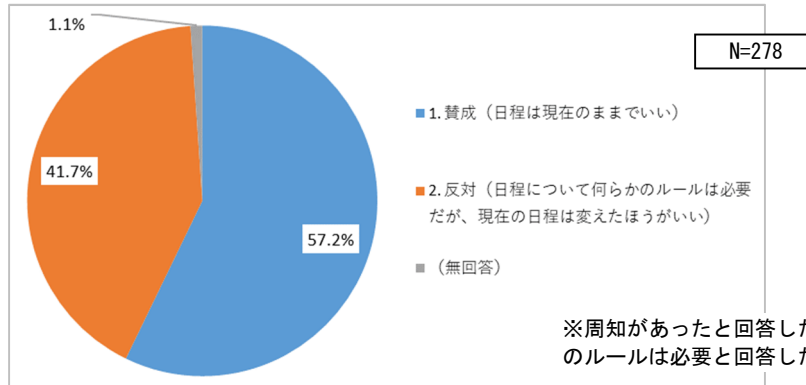
所在地別クロス集計表		全体	1. 必要	2. 不要	3. 分からない	(無回答)
全体		408	278	45	83	2
		100.0%	68.1%	11.0%	20.3%	0.5%
所在地	1. 北海道・東北	34	21	3	10	0
		100.0%	61.8%	8.8%	29.4%	0.0%
	2. 関東（東京以外）	57	40	3	13	1
		100.0%	70.2%	5.3%	22.8%	1.8%
	3. 東京	124	88	15	21	0
		100.0%	71.0%	12.1%	16.9%	0.0%
	4. 中部	64	46	9	9	0
		100.0%	71.9%	14.1%	14.1%	0.0%
	5. 近畿	67	45	8	13	1
		100.0%	67.2%	11.9%	19.4%	1.5%
6. 中国・四国	34	21	6	7	0	
	100.0%	61.8%	17.6%	20.6%	0.0%	
7. 九州・沖縄	27	17	1	9	0	
	100.0%	63.0%	3.7%	33.3%	0.0%	
(無回答)	1	0	0	1	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

#### (5) 就職・採用活動の日程に関する現在のルールについて

○ (4) にて「必要」と回答した企業（278社）に対して、現在のルール内容に賛成かを尋ねたところ、「賛成（日程は現在のままでいい）」との回答が57.2%で、「反対（日程について何らかのルールは必要だが、現在の日程は変えた方がいい）」は41.7%であった。

就職・採用活動の日程に関する現在のルールの内容（広報活動3月1日以降、採用活動は6月1日以降）に賛成ですか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 賛成（日程は現在のままでいい）	2. 反対（日程について何らかのルールは必要だが、現在の日程は変えたほうがいい）	（無回答）
278	159	116	3
100.0%	57.2%	41.7%	1.1%



業種別クロス集計表		全体	1.賛成（日程は現在のままでもいい）	2.反対（日程について何らかのルールは必要だが、現在の日程は変えたい方がいい）	（無回答）
全体		278	159	116	3
		100.0%	57.2%	41.7%	1.1%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	1	1	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	29	14	15	0
		100.0%	48.3%	51.7%	0.0%
	3. 製造業	101	60	40	1
		100.0%	59.4%	39.6%	1.0%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	5	5	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	5. 情報通信業	17	9	8	0
		100.0%	52.9%	47.1%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	13	7	6	0
		100.0%	53.8%	46.2%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	49	22	25	2
		100.0%	44.9%	51.0%	4.1%
	8. 金融業、保険業	15	8	7	0
		100.0%	53.3%	46.7%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	4	4	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	3	2	1	0
		100.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	4	1	3	0
		100.0%	25.0%	75.0%	0.0%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	2	2	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	6	3	3	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	14. 医療、福祉	5	3	2	0
		100.0%	60.0%	40.0%	0.0%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	14	10	4	0
		100.0%	71.4%	28.6%	0.0%
	16. その他	9	7	2	0
		100.0%	77.8%	22.2%	0.0%
（無回答）	1	1	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1.賛成（日程は現在のままでいい）	2.反対（日程について何らかのルールは必要だが、現在の日程は変えたほうがいい）	（無回答）
全体		278	159	116	3
		100.0%	57.2%	41.7%	1.1%
従業員数	1. 100人未満	6	3	3	0
		100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	92	58	34	0
		100.0%	63.0%	37.0%	0.0%
	3. 300人以上～500人未満	47	25	22	0
		100.0%	53.2%	46.8%	0.0%
	4. 500人以上～1,000人未満	19	11	8	0
		100.0%	57.9%	42.1%	0.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	50	27	23	0
	100.0%	54.0%	46.0%	0.0%	
6. 5,000人以上～10,000人未満	30	15	12	3	
	100.0%	50.0%	40.0%	10.0%	
7. 10,000人以上	34	20	14	0	
	100.0%	58.8%	41.2%	0.0%	
（無回答）		0	0	0	0
		-	-	-	-

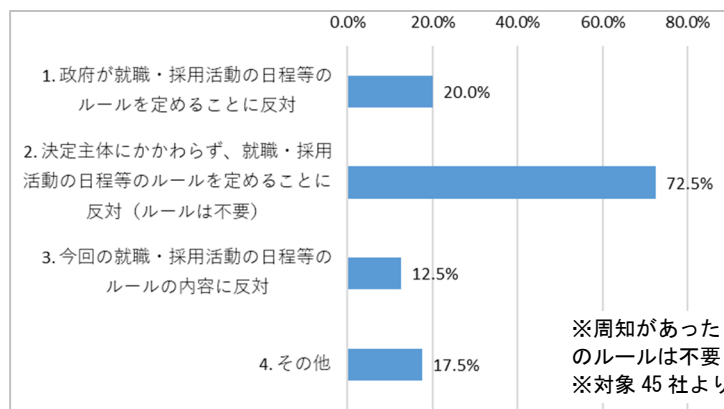
所在地別クロス集計表		全体	1.賛成（日程は現在のままでいい）	2.反対（日程について何らかのルールは必要だが、現在の日程は変えたほうがいい）	（無回答）
全体		278	159	116	3
		100.0%	57.2%	41.7%	1.1%
所在地	1. 北海道・東北	21	11	9	1
		100.0%	52.4%	42.9%	4.8%
	2. 関東（東京以外）	40	31	9	0
		100.0%	77.5%	22.5%	0.0%
	3. 東京	88	46	40	2
		100.0%	52.3%	45.5%	2.3%
	4. 中部	46	22	24	0
		100.0%	47.8%	52.2%	0.0%
	5. 近畿	45	25	20	0
	100.0%	55.6%	44.4%	0.0%	
6. 中国・四国	21	11	10	0	
	100.0%	52.4%	47.6%	0.0%	
7. 九州・沖縄	17	13	4	0	
	100.0%	76.5%	23.5%	0.0%	
（無回答）		0	0	0	0
		-	-	-	-

#### （6）就職・採用活動の日程について、何らかのルールが不要な理由について

○（4）にて「不要」と回答した企業（45社）に対して、その理由を尋ねたところ、「決定主体にかかわらず、就職・採用活動の日程等のルールを定めることに反対（ルールは不要）」（72.5%）との回答が最も多かった。

就職・採用活動の日程について、何らかのルールが不要な理由を教えてください（当てはまるものを全て選択）

全体	1. 政府が就職・採用活動の日程等のルールを定めることに反対	2. 決定主体にかかわらず、就職・採用活動の日程等のルールを定めることに反対（ルールは不要）	3. 今回の就職・採用活動の日程等のルールの内容に反対	4. その他
40	8	29	5	7
	20.0%	72.5%	12.5%	17.5%



業種別クロス集計表	全体	1. 政府が就職・採用活動の日程等のルールを定めることに反対	2. 決定主体にかかわらず、就職・採用活動の日程等のルールを定めることに反対（ルールは不要）	3. 今回の就職・採用活動の日程等のルールの内容に反対	4. その他
全体	40	8	29	5	7
		20.0%	72.5%	12.5%	17.5%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	0	0	0	0
		-	-	-	-
	2. 建設業	2	1	1	0
		50.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	3. 製造業	19	4	13	2
		21.1%	68.4%	10.5%	21.1%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0
		-	-	-	-
	5. 情報通信業	4	3	3	2
		75.0%	75.0%	50.0%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	1	0	1	0
		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	7	0	5	1
		0.0%	71.4%	14.3%	28.6%
	8. 金融業、保険業	0	0	0	0
		-	-	-	-
	9. 不動産業、物品賃貸業	0	0	0	0
	-	-	-	-	
10. 学術研究、専門・技術サービス業	1	0	1	0	
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
11. 宿泊業、飲食サービス業	1	0	1	0	
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0	
	-	-	-	-	
13. 教育・学習支援業	0	0	0	0	
	-	-	-	-	
14. 医療、福祉	2	0	2	0	
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	1	0	0	0	
	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
16. その他	2	0	2	0	
	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
(無回答)	0	0	0	0	
	-	-	-	-	



従業員数別クロス集計表		全体	1. 政府が就職・採用活動の日程等のルールを定めることに反対	2. 決定主体にかかわらず、就職・採用活動の日程等のルールを定めることに反対（ルールは不要）	3. 今回の就職・採用活動の日程等のルールの内容に反対	4. その他
全体		40	8 20.0%	29 72.5%	5 12.5%	7 17.5%
従業員数	1. 100人未満	3	1 33.3%	2 66.7%	1 33.3%	0 0.0%
	2. 100人以上～300人未満	12	4 33.3%	8 66.7%	3 25.0%	2 16.7%
	3. 300人以上～500人未満	3	0 0.0%	1 33.3%	0 0.0%	2 66.7%
	4. 500人以上～1,000人未満	6	2 33.3%	5 83.3%	1 16.7%	1 16.7%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	7	0 0.0%	6 85.7%	0 0.0%	1 14.3%
	6. 5,000人以上～10,000人未満	6	0 0.0%	5 83.3%	0 0.0%	1 16.7%
	7. 10,000人以上	3	1 33.3%	2 66.7%	0 0.0%	0 0.0%
	(無回答)	0	0	0	0	0
			-	-	-	-

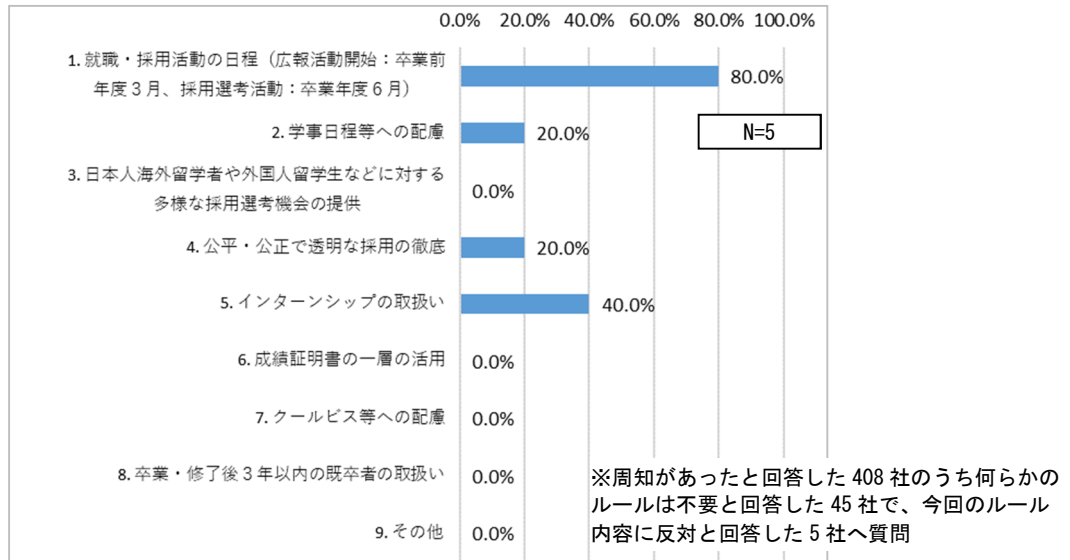
所在地別クロス集計表		全体	1. 政府が就職・採用活動の日程等のルールを定めることに反対	2. 決定主体にかかわらず、就職・採用活動の日程等のルールを定めることに反対（ルールは不要）	3. 今回の就職・採用活動の日程等のルールの内容に反対	4. その他
全体		40	8 20.0%	29 72.5%	5 12.5%	7 17.5%
所在地	1. 北海道・東北	3	0 0.0%	2 66.7%	0 0.0%	1 33.3%
	2. 関東（東京以外）	3	2 66.7%	1 33.3%	1 33.3%	1 33.3%
	3. 東京	12	2 16.7%	10 83.3%	1 8.3%	1 8.3%
	4. 中部	8	2 25.0%	6 75.0%	1 12.5%	1 12.5%
	5. 近畿	7	1 14.3%	4 57.1%	1 14.3%	2 28.6%
	6. 中国・四国	6	1 16.7%	6 100.0%	1 16.7%	0 0.0%
	7. 九州・沖縄	1	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
	(無回答)	0	0	0	0	0
			-	-	-	-

(7) 今回の就職・採用活動の日程等のルールのどの内容に反対かについて

○さらに(6)にて「今回の就職・採用活動の日程等のルールの内容に反対」と回答した企業(5社)に対して、今回の就職・採用活動の日程等のルールのどの内容に反対かを尋ねたところ、「就職・採用活動の日程(広報活動開始:卒業前年度3月、採用選考活動:卒業年度6月)」(80.0%)との回答が最も多かった。

今回の就職・採用活動の日程等のルールの内容に反対ですか（当てはまるものを全て選択）

全体	1. 就職・採用活動の日程（広報活動開始：卒業前年度3月、採用選考活動：卒業年度6月）	2. 学事日程等への配慮	3. 日本人海外留学生や外国人留学生などに対する多様な採用選考機会の提供	4. 公平・公正で透明な採用の徹底	5. インターンシップの取扱い	6. 成績証明書の一層の活用	7. クールビズ等への配慮	8. 卒業・修了後3年以内の既卒者の取扱い	9. その他
5	4	1	0	1	2	0	0	0	0
	80.0%	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%



業種別クロス集計表		1. 就職・採用活動の日程 (広報活動開始：卒業前年度3月、採用選考活動：卒業年度6月)	2. 学事日程等への配慮	3. 日本人海外留学生や外国人留学生などに対する多様な採用選考機会の提供	4. 公平・公正で透明な採用の徹底	5. インターシップの取扱い	6. 成績証明書の一層の活用	7. クールビズ等への配慮	8. 卒業・修了後3年以内の既卒者の取扱い	9. その他
全体	5	4	1	0	1	2	0	0	0	0
		80.0%	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2. 建設業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	3. 製造業	2	1	1	0	1	1	0	0	0
		50.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	5. 情報通信業	2	2	0	0	0	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	7. 卸売業、小売業	1	1	0	0	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	8. 金融業、保険業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	9. 不動産業、物品賃貸業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-	-
11. 宿泊業、飲食サービス業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
13. 教育・学習支援業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
14. 医療、福祉	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
15. サービス業（他に分類されないもの）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
16. その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 就職・採用活動の日程 (広報活動開始：卒業前年度3月、採用選考活動：卒業年度6月)	2. 学事日程等への配慮	3. 日本人海外留学生や外国人留学生などに対する多様な採用選考機会の提供	4. 公平・公正で透明な採用の徹底	5. インターシップの取扱い	6. 成績証明書の一層の活用	7. クールビズ等への配慮	8. 卒業・修了後3年以内の既卒者の取扱い	9. その他
全体		5	4	1	0	1	2	0	0	0	0
			80.0%	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
従業員数	1. 100人未満	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	3	2	1	0	1	1	0	0	0	0
			66.7%	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3. 300人以上～500人未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			-	-	-	-	-	-	-	-	-
	4. 500人以上～1,000人未満	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
6. 5,000人以上～10,000人未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
7. 10,000人以上	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	

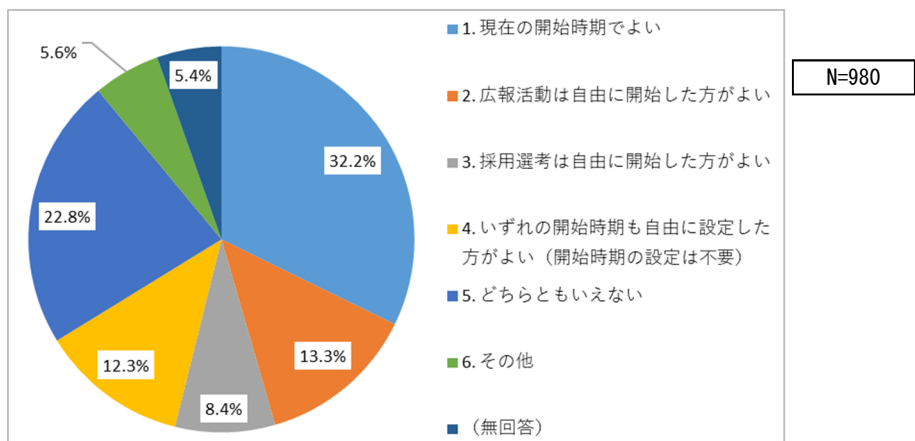
所在地別クロス集計表		全体	1. 就職・採用活動の日程 (広報活動開始：卒業前年度3月、採用選考活動：卒業年度6月)	2. 学事日程等への配慮	3. 日本人海外留学生や外国人留学生などに対する多様な採用選考機会の提供	4. 公平・公正で透明な採用の徹底	5. インターシップの取扱い	6. 成績証明書の一層の活用	7. クールビズ等への配慮	8. 卒業・修了後3年以内の既卒者の取扱い	9. その他
全体		5	4	1	0	1	2	0	0	0	0
			80.0%	20.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
所在地	1. 北海道・東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
			-	-	-	-	-	-	-	-	-
	2. 関東（東京以外）	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	3. 東京	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
			100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	4. 中部	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0
			0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	5. 近畿	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
6. 中国・四国	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
7. 九州・沖縄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	-	-	-	

### (8) 就職・採用活動の開始時期が設定されていることについて

○ (2) において「周知はなかった」と回答した企業を含め、そもそも就職・採用活動の開始時期（広報活動3月、採用選考活動6月）が設定されていることについての考えを尋ねたところ、「現在の開始時期が良い」との回答が最も多く32.2%、次いで「どちらともいえない」との回答で22.8%、続いて「広報活動は自由に開始したほうがよい」（13.3%）、「いずれの開始時期も自由に設定した方がよい（開始時期の設定は不要）」（12.3%）との回答となった。

来年度の就職・採用活動時期は上記の通り設定されているところですが、そもそも就職・採用活動の開始時期（広報活動3月、採用選考活動6月）が設定されていることについてどう考えますか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 現在の開始時期でよい	2. 広報活動は自由に開始した方がよい	3. 採用選考は自由に開始した方がよい	4. いずれの開始時期も自由に設定した方がよい（開始時期の設定は不要）	5. どちらともいえない	6. その他	（無回答）
980	316	130	82	121	223	55	53
100.0%	32.2%	13.3%	8.4%	12.3%	22.8%	5.6%	5.4%



業種別クロス集計表		全体	1.現在の開始時期でよい	2.広報活動は自由に開始した方がよい	3.採用選考は自由に開始した方がよい	4.いずれの開始時期も自由に設定した方がよい(開始時期の設定は不要)	5.どちらともいえない	6.その他	(無回答)
全体		980	316	130	82	121	223	55	53
		100.0%	32.2%	13.3%	8.4%	12.3%	22.8%	5.6%	5.4%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	1	0	0	0	1	0	0
		100.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	95	35	9	10	9	19	7	6
		100.0%	36.8%	9.5%	10.5%	9.5%	20.0%	7.4%	6.3%
	3. 製造業	354	106	55	29	44	80	24	16
		100.0%	29.9%	15.5%	8.2%	12.4%	22.6%	6.8%	4.5%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	15	5	2	0	1	5	1	1
		100.0%	33.3%	13.3%	0.0%	6.7%	33.3%	6.7%	6.7%
	5. 情報通信業	72	21	11	8	13	14	3	2
		100.0%	29.2%	15.3%	11.1%	18.1%	19.4%	4.2%	2.8%
	6. 運輸業、郵便業	39	18	7	1	2	9	1	1
		100.0%	46.2%	17.9%	2.6%	5.1%	23.1%	2.6%	2.6%
	7. 卸売業、小売業	191	59	18	17	28	48	7	14
		100.0%	30.9%	9.4%	8.9%	14.7%	25.1%	3.7%	7.3%
	8. 金融業、保険業	24	7	8	0	0	6	3	0
		100.0%	29.2%	33.3%	0.0%	0.0%	25.0%	12.5%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	13	7	0	0	3	2	0	1
		100.0%	53.8%	0.0%	0.0%	23.1%	15.4%	0.0%	7.7%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	6	1	0	2	2	4	0
		100.0%	40.0%	6.7%	0.0%	13.3%	13.3%	26.7%	0.0%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	14	1	2	3	2	5	0	1
		100.0%	7.1%	14.3%	21.4%	14.3%	35.7%	0.0%	7.1%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	10	5	1	0	1	2	1	0
		100.0%	50.0%	10.0%	0.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%
	13. 教育・学習支援業	14	3	2	2	1	3	1	2
		100.0%	21.4%	14.3%	14.3%	7.1%	21.4%	7.1%	14.3%
	14. 医療、福祉	28	8	3	3	5	6	1	2
		100.0%	28.6%	10.7%	10.7%	17.9%	21.4%	3.6%	7.1%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	56	23	7	6	5	12	0	3
		100.0%	41.1%	12.5%	10.7%	8.9%	21.4%	0.0%	5.4%
	16. その他	30	8	4	2	5	6	1	4
		100.0%	26.7%	13.3%	6.7%	16.7%	20.0%	3.3%	13.3%
(無回答)	8	3	0	1	0	3	1	0	
	100.0%	37.5%	0.0%	12.5%	0.0%	37.5%	12.5%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1.現在の開始時期でよい	2.広報活動は自由に開始した方がよい	3.採用選考は自由に開始した方がよい	4.いずれの開始時期も自由に設定した方がよい(開始時期の設定は不要)	5.どちらともいえない	6.その他	(無回答)
全体		980	316	130	82	121	223	55	53
		100.0%	32.2%	13.3%	8.4%	12.3%	22.8%	5.6%	5.4%
従業員数	1. 100人未満	73	24	6	8	8	22	1	4
		100.0%	32.9%	8.2%	11.0%	11.0%	30.1%	1.4%	5.5%
	2. 100人以上～300人未満	433	141	47	35	59	103	28	20
		100.0%	32.6%	10.9%	8.1%	13.6%	23.8%	6.5%	4.6%
	3. 300人以上～500人未満	127	42	19	16	14	20	9	7
		100.0%	33.1%	15.0%	12.6%	11.0%	15.7%	7.1%	5.5%
	4. 500人以上～1,000人未満	85	33	6	8	14	17	5	2
		100.0%	38.8%	7.1%	9.4%	16.5%	20.0%	5.9%	2.4%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	125	37	22	6	13	33	6	8
		100.0%	29.6%	17.6%	4.8%	10.4%	26.4%	4.8%	6.4%
6. 5,000人以上～10,000人未満	65	17	15	4	7	13	2	7	
	100.0%	26.2%	23.1%	6.2%	10.8%	20.0%	3.1%	10.8%	
7. 10,000人以上	70	22	15	5	5	14	4	5	
	100.0%	31.4%	21.4%	7.1%	7.1%	20.0%	5.7%	7.1%	
(無回答)	2	0	0	0	1	1	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	

所在地別クロス集計表		全体	1.現在の開始時期でよい	2.広報活動は自由に開始した方がよい	3.採用選考は自由に開始した方がよい	4.いずれの開始時期も自由に設定した方がよい(開始時期の設定は不要)	5.どちらともいえない	6.その他	(無回答)
全体		980	316	130	82	121	223	55	53
		100.0%	32.2%	13.3%	8.4%	12.3%	22.8%	5.6%	5.4%
所在地	1. 北海道・東北	91	37	11	5	9	20	5	4
		100.0%	40.7%	12.1%	5.5%	9.9%	22.0%	5.5%	4.4%
	2. 関東(東京以外)	139	46	17	16	12	37	6	5
		100.0%	33.1%	12.2%	11.5%	8.6%	26.6%	4.3%	3.6%
	3. 東京	266	80	41	22	39	60	8	16
		100.0%	30.1%	15.4%	8.3%	14.7%	22.6%	3.0%	6.0%
	4. 中部	175	48	26	19	16	41	14	11
		100.0%	27.4%	14.9%	10.9%	9.1%	23.4%	8.0%	6.3%
	5. 近畿	172	53	17	7	36	37	14	8
		100.0%	30.8%	9.9%	4.1%	20.9%	21.5%	8.1%	4.7%
6. 中国・四国	81	29	10	11	8	13	5	5	
	100.0%	35.8%	12.3%	13.6%	9.9%	16.0%	6.2%	6.2%	
7. 九州・沖縄	53	22	7	2	1	14	3	4	
	100.0%	41.5%	13.2%	3.8%	1.9%	26.4%	5.7%	7.5%	
(無回答)	3	1	1	0	0	1	0	0	
	100.0%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	

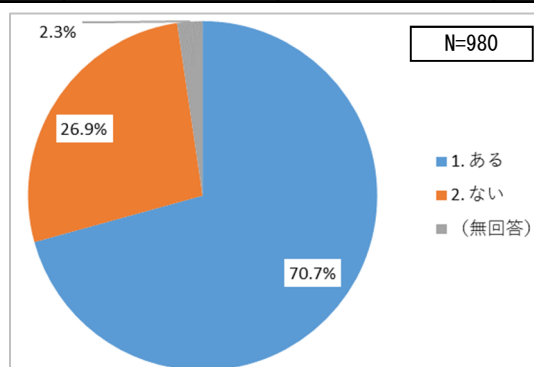
## XII. その他

### (1) 内々定を出した後に、学生から辞退されたことがあるかについて

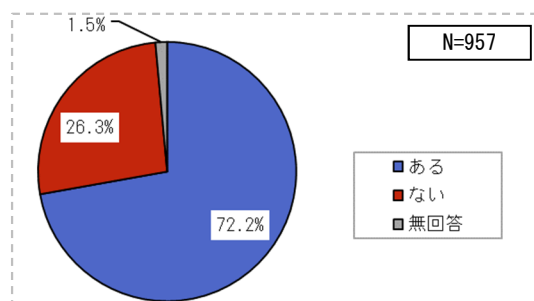
○内々定を出した後に、学生に辞退されたことがあるかを尋ねたところ、70.7%の企業が「ある」との回答をした。

本年度の就職・採用活動において、学生に対し、内々定を出した後に、辞退されたことがありますか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. ある	2. ない	(無回答)	
980	693	264	23	
100.0%	70.7%	26.9%	2.3%	



[参考：昨年度調査]





業種別クロス集計表	全体	1. ある	2. ない	(無回答)	
全体	980	693	264	23	
	100.0%	70.7%	26.9%	2.3%	
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	2	0	0
		100.0%	100.0%	0.0%	0.0%
	2. 建設業	95	62	32	1
		100.0%	65.3%	33.7%	1.1%
	3. 製造業	354	231	113	10
		100.0%	65.3%	31.9%	2.8%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	15	10	5	0
		100.0%	66.7%	33.3%	0.0%
	5. 情報通信業	72	58	14	0
		100.0%	80.6%	19.4%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	39	28	11	0
		100.0%	71.8%	28.2%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	191	140	42	9
		100.0%	73.3%	22.0%	4.7%
	8. 金融業、保険業	24	22	2	0
		100.0%	91.7%	8.3%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	13	10	2	1
		100.0%	76.9%	15.4%	7.7%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	12	3	0
		100.0%	80.0%	20.0%	0.0%
11. 宿泊業、飲食サービス業	14	13	1	0	
	100.0%	92.9%	7.1%	0.0%	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	10	8	2	0	
	100.0%	80.0%	20.0%	0.0%	
13. 教育・学習支援業	14	7	6	1	
	100.0%	50.0%	42.9%	7.1%	
14. 医療、福祉	28	19	8	1	
	100.0%	67.9%	28.6%	3.6%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	56	44	12	0	
	100.0%	78.6%	21.4%	0.0%	
16. その他	30	21	9	0	
	100.0%	70.0%	30.0%	0.0%	
(無回答)	8	6	2	0	
	100.0%	75.0%	25.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. ある	2. ない	(無回答)
全体		980	693	264	23
		100.0%	70.7%	26.9%	2.3%
従業員数	1. 100人未満	73	22	46	5
		100.0%	30.1%	63.0%	6.8%
	2. 100人以上～300人未満	433	260	159	14
		100.0%	60.0%	36.7%	3.2%
	3. 300人以上～500人未満	127	104	22	1
		100.0%	81.9%	17.3%	0.8%
	4. 500人以上～1,000人未満	85	74	11	0
		100.0%	87.1%	12.9%	0.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	125	104	20	1
		100.0%	83.2%	16.0%	0.8%
6. 5,000人以上～10,000人未満	65	59	5	1	
	100.0%	90.8%	7.7%	1.5%	
7. 10,000人以上	70	69	0	1	
	100.0%	98.6%	0.0%	1.4%	
(無回答)	2	1	1	0	
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	

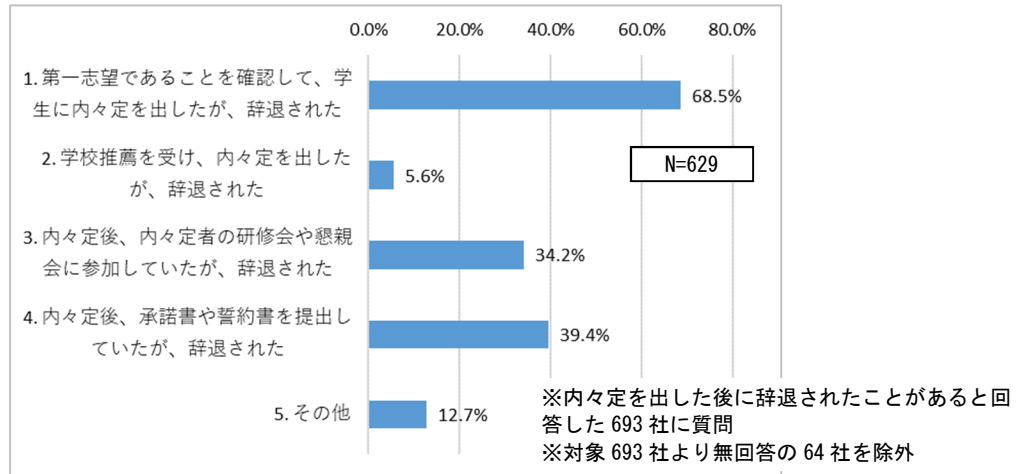
所在地別クロス集計表		全体	1. ある	2. ない	(無回答)
全体		980	693	264	23
		100.0%	70.7%	26.9%	2.3%
所在地	1. 北海道・東北	91	52	36	3
		100.0%	57.1%	39.6%	3.3%
	2. 関東（東京以外）	139	88	45	6
		100.0%	63.3%	32.4%	4.3%
	3. 東京	266	209	52	5
		100.0%	78.6%	19.5%	1.9%
	4. 中部	175	127	48	0
		100.0%	72.6%	27.4%	0.0%
	5. 近畿	172	124	46	2
		100.0%	72.1%	26.7%	1.2%
6. 中国・四国	81	55	21	5	
	100.0%	67.9%	25.9%	6.2%	
7. 九州・沖縄	53	37	15	1	
	100.0%	69.8%	28.3%	1.9%	
(無回答)	3	1	1	1	
	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	

## (2) 内々定辞退時の状況について

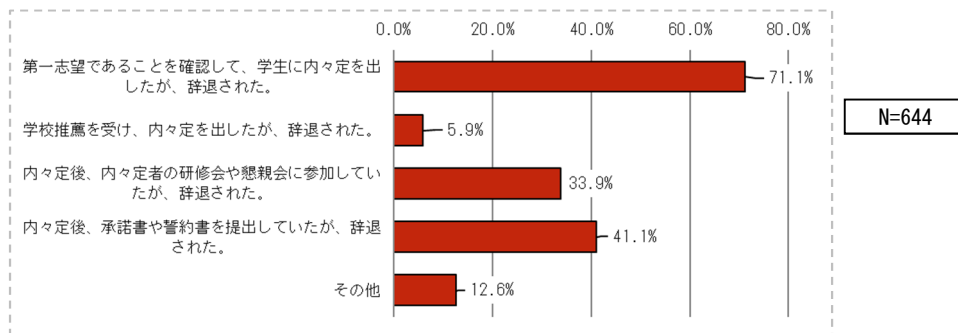
○ (1) にて「ある」と回答した企業（693社）に対して、学生が内々定を辞退する際の状況を尋ねたところ、「第一志望であることを確認して、学生に内々定を出したが、辞退された」が68.5%と最も多く、次いで「内々定後、承諾書や誓約書を提出していたが、辞退された」（39.4%）、「内々定後、内々定者の研修会や懇親会に参加していたが、辞退された」（34.2%）との回答が多かった。

学生が辞退する際に以下のようなことはありましたか（当てはまるものを全て選択）

全体	1. 第一志望であることを確認して、学生に内々定を出したが、辞退された	2. 学校推薦を受け、内々定を出したが、辞退された	3. 内々定後、内々定者の研修会や懇親会に参加していたが、辞退された	4. 内々定後、承諾書や誓約書を提出していたが、辞退された	5. その他
629	431	35	215	248	80
	68.5%	5.6%	34.2%	39.4%	12.7%



[参考：昨年度調査]



業種別クロス集計表	全体	1. 第一志望であることを確認して、学生に内々定を出したが、辞退された	2. 学校推薦を受け、内々定を出したが、辞退された	3. 内々定後、内々定者の研修会や懇親会に参加していたが、辞退された	4. 内々定後、承諾書や誓約書を提出していたが、辞退された	5. その他	
全体	629	431	35	215	248	80	
		68.5%	5.6%	34.2%	39.4%	12.7%	
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	1	0	1	1	0
			50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%
	2. 建設業	59	40	5	10	21	6
			67.8%	8.5%	16.9%	35.6%	10.2%
	3. 製造業	203	146	15	58	76	22
			71.9%	7.4%	28.6%	37.4%	10.8%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	10	9	1	4	2	1
			90.0%	10.0%	40.0%	20.0%	10.0%
	5. 情報通信業	51	36	6	21	23	7
			70.6%	11.8%	41.2%	45.1%	13.7%
	6. 運輸業、郵便業	26	20	2	10	7	3
			76.9%	7.7%	38.5%	26.9%	11.5%
	7. 卸売業、小売業	128	77	0	47	51	24
			60.2%	0.0%	36.7%	39.8%	18.8%
	8. 金融業、保険業	21	20	1	12	11	0
			95.2%	4.8%	57.1%	52.4%	0.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	10	7	0	5	6	0
			70.0%	0.0%	50.0%	60.0%	0.0%
	10. 学術研究、専門・技術サービス業	9	5	2	2	5	1
			55.6%	22.2%	22.2%	55.6%	11.1%
	11. 宿泊業、飲食サービス業	11	6	0	4	5	2
			54.5%	0.0%	36.4%	45.5%	18.2%
	12. 生活関連サービス業、娯楽業	8	6	0	7	3	1
			75.0%	0.0%	87.5%	37.5%	12.5%
	13. 教育・学習支援業	7	6	0	1	1	0
			85.7%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%
	14. 医療、福祉	18	12	0	6	9	3
			66.7%	0.0%	33.3%	50.0%	16.7%
	15. サービス業（他に分類されないもの）	40	23	1	15	16	5
			57.5%	2.5%	37.5%	40.0%	12.5%
16. その他	21	14	2	12	9	3	
		66.7%	9.5%	57.1%	42.9%	14.3%	
(無回答)	5	3	0	0	2	2	
		60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	40.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 第一志望であることを確認して、学生に内々定を出したが、辞退された	2. 学校推薦を受け、内々定を出したが、辞退された	3. 内々定後、内々定者の研修会や懇親会に参加していたが、辞退された	4. 内々定後、承諾書や誓約書を提出していたが、辞退された	5. その他
全体		629	431	35	215	248	80
			68.5%	5.6%	34.2%	39.4%	12.7%
従業員数	1. 100人未満	17	9	1	2	5	7
			52.9%	5.9%	11.8%	29.4%	41.2%
	2. 100人以上～300人未満	225	140	3	39	83	38
			62.2%	1.3%	17.3%	36.9%	16.9%
	3. 300人以上～500人未満	96	53	4	30	35	20
			55.2%	4.2%	31.3%	36.5%	20.8%
	4. 500人以上～1,000人未満	68	47	2	18	27	11
			69.1%	2.9%	26.5%	39.7%	16.2%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	102	82	9	53	50	4
		80.4%	8.8%	52.0%	49.0%	3.9%	
6. 5,000人以上～10,000人未満	55	43	5	31	21	0	
		78.2%	9.1%	56.4%	38.2%	0.0%	
7. 10,000人以上	65	56	11	42	26	0	
		86.2%	16.9%	64.6%	40.0%	0.0%	
(無回答)	1	1	0	0	1	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

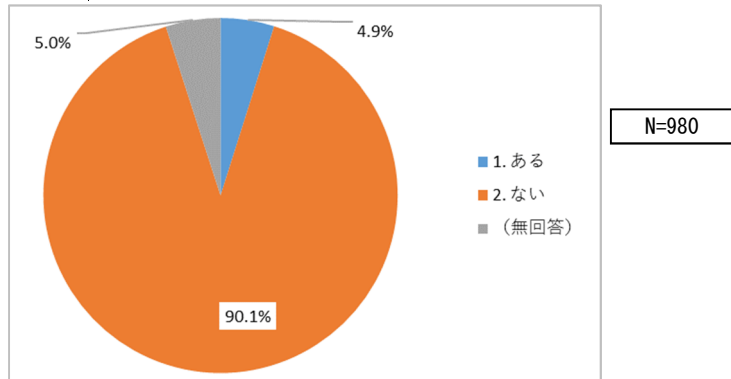
所在地別クロス集計表		全体	1. 第一志望であることを確認して、学生に内々定を出したが、辞退された	2. 学校推薦を受け、内々定を出したが、辞退された	3. 内々定後、内々定者の研修会や懇親会に参加していたが、辞退された	4. 内々定後、承諾書や誓約書を提出していたが、辞退された	5. その他
全体		629	431	35	215	248	80
			68.5%	5.6%	34.2%	39.4%	12.7%
所在地	1. 北海道・東北	47	31	3	14	15	10
			66.0%	6.4%	29.8%	31.9%	21.3%
	2. 関東（東京以外）	80	53	7	28	29	11
			66.3%	8.8%	35.0%	36.3%	13.8%
	3. 東京	192	144	16	90	79	15
			75.0%	8.3%	46.9%	41.1%	7.8%
	4. 中部	119	81	5	26	60	11
			68.1%	4.2%	21.8%	50.4%	9.2%
	5. 近畿	111	76	2	33	37	18
			68.5%	1.8%	29.7%	33.3%	16.2%
6. 中国・四国	46	29	2	11	14	10	
		63.0%	4.3%	23.9%	30.4%	21.7%	
7. 九州・沖縄	33	17	0	12	14	5	
		51.5%	0.0%	36.4%	42.4%	15.2%	
(無回答)	1	0	0	1	0	0	
		0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

### (3) 学生に対して、他社への就職活動の終了を求めたことについて

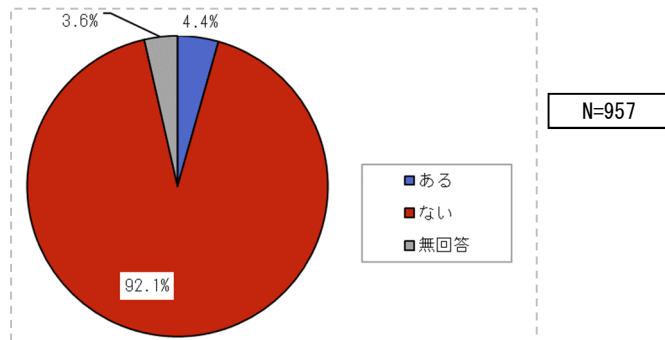
○本年度の就職・採用活動において、学生に対し、他社への就職活動の終了を求めたことがあるかを尋ねたところ、90.1%の企業は「ない」との回答をしたが、4.9%の企業は「ある」と回答した。

本年度の就職・採用活動において、学生に対し、他社への就職活動の終了を求めたことはありましたか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. ある	2. ない	(無回答)
980	48	883	49
100.0%	4.9%	90.1%	5.0%



[参考：昨年度調査]



業種別クロス集計表		全体	1. ある	2. ない	(無回答)
全体		980	48	883	49
		100.0%	4.9%	90.1%	5.0%
業 種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	0	2	0
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
	2. 建設業	95	6	88	1
		100.0%	6.3%	92.6%	1.1%
	3. 製造業	354	21	312	21
		100.0%	5.9%	88.1%	5.9%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	15	0	14	1
		100.0%	0.0%	93.3%	6.7%
	5. 情報通信業	72	3	69	0
		100.0%	4.2%	95.8%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	39	2	36	1
		100.0%	5.1%	92.3%	2.6%
	7. 卸売業、小売業	191	6	169	16
		100.0%	3.1%	88.5%	8.4%
	8. 金融業、保険業	24	3	20	1
		100.0%	12.5%	83.3%	4.2%
9. 不動産業、物品賃貸業	13	1	10	2	
	100.0%	7.7%	76.9%	15.4%	
10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	0	15	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
11. 宿泊業、飲食サービス業	14	0	14	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	10	0	9	1	
	100.0%	0.0%	90.0%	10.0%	
13. 教育・学習支援業	14	1	12	1	
	100.0%	7.1%	85.7%	7.1%	
14. 医療、福祉	28	1	25	2	
	100.0%	3.6%	89.3%	7.1%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	56	3	52	1	
	100.0%	5.4%	92.9%	1.8%	
16. その他	30	1	28	1	
	100.0%	3.3%	93.3%	3.3%	
(無回答)	8	0	8	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

従業員数別クロス集計表		全体	1. ある	2. ない	(無回答)
全体		980	48	883	49
		100.0%	4.9%	90.1%	5.0%
従 業 員 数	1. 100人未満	73	1	65	7
		100.0%	1.4%	89.0%	9.6%
	2. 100人以上～300人未満	433	13	393	27
		100.0%	3.0%	90.8%	6.2%
	3. 300人以上～500人未満	127	6	115	6
		100.0%	4.7%	90.6%	4.7%
	4. 500人以上～1,000人未満	85	3	81	1
		100.0%	3.5%	95.3%	1.2%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	125	9	114	2
		100.0%	7.2%	91.2%	1.6%
6. 5,000人以上～10,000人未満	65	3	58	4	
	100.0%	4.6%	89.2%	6.2%	
7. 10,000人以上	70	13	55	2	
	100.0%	18.6%	78.6%	2.9%	
(無回答)	2	0	2	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

所在地別クロス集計表		全体	1. ある	2. ない	(無回答)
全体		980	48	883	49
		100.0%	4.9%	90.1%	5.0%
所在地	1. 北海道・東北	91	6	81	4
		100.0%	6.6%	89.0%	4.4%
	2. 関東（東京以外）	139	3	123	13
		100.0%	2.2%	88.5%	9.4%
	3. 東京	266	20	236	10
		100.0%	7.5%	88.7%	3.8%
	4. 中部	175	12	159	4
		100.0%	6.9%	90.9%	2.3%
	5. 近畿	172	5	159	8
		100.0%	2.9%	92.4%	4.7%
	6. 中国・四国	81	1	73	7
		100.0%	1.2%	90.1%	8.6%
	7. 九州・沖縄	53	1	50	2
		100.0%	1.9%	94.3%	3.8%
(無回答)	3	0	2	1	
	100.0%	0.0%	66.7%	33.3%	

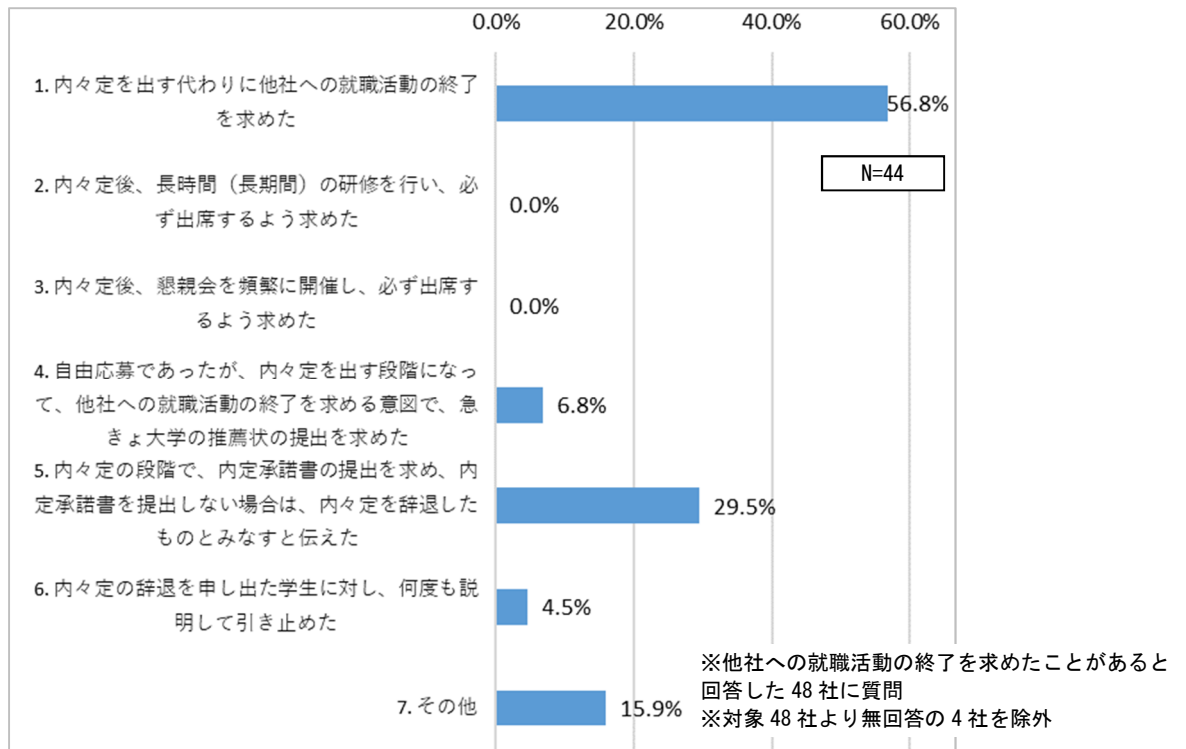
#### (4) 具体的にはどのようなことを求めたかについて

○「ある」と回答した企業（48社）に対して、具体的にどのようなことを求めたかを尋ねたところ、「内々定を出す代わりに他社への就職活動の終了を求めた」との回答が最も多く得られた。

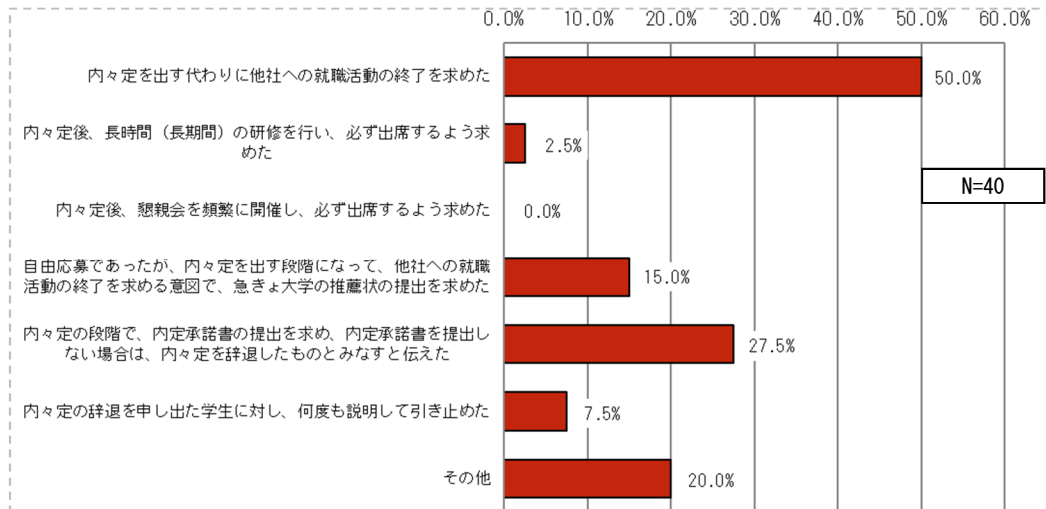
#### 具体的にどのようなことを求めましたか（当てはまるものを全て選択）

全体	1. 内々定を出す代わりに他社への就職活動の終了を求めた	2. 内々定後、長時間（長期間）の研修を行い、必ず出席するよう求めた	3. 内々定後、懇親会を頻繁に開催し、必ず出席するよう求めた	4. 自由応募であったが、内々定を出す段階になって、他社への就職活動の終了を求める意図で、急ぎよ大学の推薦状の提出を求めた	5. 内々定の段階で、内定承諾書の提出を求め、内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと伝えた	6. 内々定の辞退を申し出た学生に対し、何度も説明して引き止めた	7. その他
44	25	0	0	3	13	2	7
	56.8%	0.0%	0.0%	6.8%	29.5%	4.5%	15.9%





[参考：昨年度調査]



業種別クロス集計表	全体	1.内々定を出す代わりに他社への就職活動の終了を求めた	2.内々定後、長時間(長期間)の研修を行い、必ず出席するよう求めた	3.内々定後、懇親会を頻繁に開催し、必ず出席するよう求めた	4.自由応募であったが、内々定を出す段階になって、他社への就職活動の終了を求める意図で、急きょ大学の推薦状の提出を求めた	5.内々定の段階で、内定承諾書の提出を求め、内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと伝えた	6.内々定の辞退を申し出た学生に対し、何度も説明して引き止めた	7.その他
全体	44	25	0	0	3	13	2	7
		56.8%	0.0%	0.0%	6.8%	29.5%	4.5%	15.9%
業種	1. 鉱業・採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-
	2. 建設業	5	4	0	0	0	1	0
		80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%
	3. 製造業	20	8	0	0	3	6	1
		40.0%	0.0%	0.0%	15.0%	30.0%	5.0%	25.0%
	4. 電気・ガス・熱供給・水道業	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-
	5. 情報通信業	2	2	0	0	0	1	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%
	6. 運輸業、郵便業	2	2	0	0	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	7. 卸売業、小売業	6	4	0	0	0	2	0
		66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%
	8. 金融業、保険業	2	0	0	0	0	1	0
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
	9. 不動産業、物品賃貸業	1	1	0	0	0	0	0
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
10. 学術研究、専門・技術サービス業	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	
11. 宿泊業、飲食サービス業	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	
12. 生活関連サービス業、娯楽業	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	
13. 教育・学習支援業	1	1	0	0	0	0	1	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
14. 医療、福祉	1	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
15. サービス業（他に分類されないもの）	3	1	0	0	0	2	0	
	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	66.7%	0.0%	0.0%	
16. その他	1	1	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	
	-	-	-	-	-	-	-	

従業員数別クロス集計表		全体	1. 内々定を出す代わりに他社への就職活動の終了を求めた	2. 内々定後、長時間(長期間)の研修を行い、必ず出席するよう求めた	3. 内々定後、懇親会を頻繁に開催し、必ず出席するよう求めた	4. 自由応募であったが、内々定を出す段階になって、他社への就職活動の終了を求める意向で、きまよ大学の推薦状の提出を求めた	5. 内々定の段階で、内定承諾書の提出を求め、内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと伝えた	6. 内々定の辞退を申し出た学生に対し、何度も説明して引き止めた	7. その他
全体		44	25	0	0	3	13	2	7
			56.8%	0.0%	0.0%	6.8%	29.5%	4.5%	15.9%
従業員数	1. 100人未満	0	0	0	0	0	0	0	0
		-	-	-	-	-	-	-	-
	2. 100人以上～300人未満	13	8	0	0	0	6	1	1
			61.5%	0.0%	0.0%	0.0%	46.2%	7.7%	7.7%
	3. 300人以上～500人未満	6	3	0	0	0	2	0	1
			50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%
	4. 500人以上～1,000人未満	2	0	0	0	0	1	0	1
			0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	8	3	0	0	1	2	0	2
		37.5%	0.0%	0.0%	12.5%	25.0%	0.0%	25.0%	
6. 5,000人以上～10,000人未満	3	1	0	0	0	1	1	1	
		33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	
7. 10,000人以上	12	10	0	0	2	1	0	1	
		83.3%	0.0%	0.0%	16.7%	8.3%	0.0%	8.3%	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	-	-

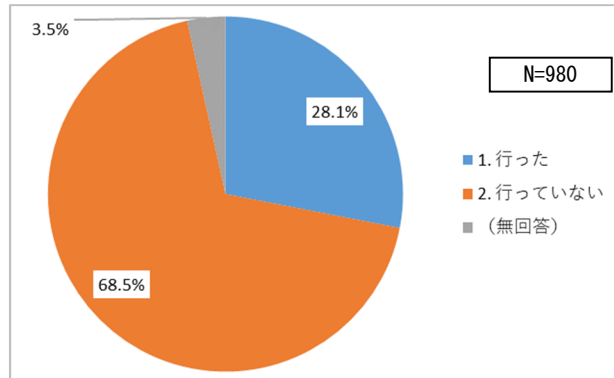
所在地別クロス集計表		全体	1. 内々定を出す代わりに他社への就職活動の終了を求めた	2. 内々定後、長時間(長期間)の研修を行い、必ず出席するよう求めた	3. 内々定後、懇親会を頻繁に開催し、必ず出席するよう求めた	4. 自由応募であったが、内々定を出す段階になって、他社への就職活動の終了を求める意向で、きまよ大学の推薦状の提出を求めた	5. 内々定の段階で、内定承諾書の提出を求め、内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと伝えた	6. 内々定の辞退を申し出た学生に対し、何度も説明して引き止めた	7. その他
全体		44	25	0	0	3	13	2	7
			56.8%	0.0%	0.0%	6.8%	29.5%	4.5%	15.9%
所在地	1. 北海道・東北	6	5	0	0	0	2	0	0
			83.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
	2. 関東(東京以外)	3	2	0	0	0	0	0	1
			66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
	3. 東京	18	13	0	0	1	6	2	1
			72.2%	0.0%	0.0%	5.6%	33.3%	11.1%	5.6%
	4. 中部	10	3	0	0	1	3	0	3
			30.0%	0.0%	0.0%	10.0%	30.0%	0.0%	30.0%
	5. 近畿	5	2	0	0	1	1	0	1
		40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	
6. 中国・四国	1	0	0	0	0	0	0	1	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	
7. 九州・沖縄	1	0	0	0	0	1	0	0	
		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	
(無回答)	0	0	0	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	-	-	-	-

(5) セクシュアルハラスメントのような行為を防止するために対策をしたかについて

○本年度の就職・採用活動において、学生に対するセクシュアルハラスメントのような行為を防止するために、対策をしたかを尋ねたところ、「行っていない」との回答が68.5%と最も多く、「行った」は28.1%であった。

本年度の就職・採用活動において、学生に対するセクシュアルハラスメントのような行為を防止するために、対策をしましたか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 行った	2. 行っていない	(無回答)
980	275	671	34
100.0%	28.1%	68.5%	3.5%



業種別クロス集計表	全体	1. 行った	2. 行っていない	(無回答)
全体	980	275	671	34
	100.0%	28.1%	68.5%	3.5%
1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	0	2	0
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
2. 建設業	95	18	74	3
	100.0%	18.9%	77.9%	3.2%
3. 製造業	354	114	231	9
	100.0%	32.2%	65.3%	2.5%
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	15	5	10	0
	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%
5. 情報通信業	72	17	54	1
	100.0%	23.6%	75.0%	1.4%
6. 運輸業、郵便業	39	16	22	1
	100.0%	41.0%	56.4%	2.6%
7. 卸売業、小売業	191	47	131	13
	100.0%	24.6%	68.6%	6.8%
8. 金融業、保険業	24	14	9	1
	100.0%	58.3%	37.5%	4.2%
9. 不動産業、物品賃貸業	13	3	9	1
	100.0%	23.1%	69.2%	7.7%
10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	2	13	0
	100.0%	13.3%	86.7%	0.0%
11. 宿泊業、飲食サービス業	14	3	9	2
	100.0%	21.4%	64.3%	14.3%
12. 生活関連サービス業、娯楽業	10	6	4	0
	100.0%	60.0%	40.0%	0.0%
13. 教育・学習支援業	14	4	9	1
	100.0%	28.6%	64.3%	7.1%
14. 医療、福祉	28	4	23	1
	100.0%	14.3%	82.1%	3.6%
15. サービス業（他に分類されないもの）	56	11	44	1
	100.0%	19.6%	78.6%	1.8%
16. その他	30	10	20	0
	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%
(無回答)	8	1	7	0
	100.0%	12.5%	87.5%	0.0%

従業員数別クロス集計表		全体	1. 行った	2. 行っていない	(無回答)
全体		980	275	671	34
		100.0%	28.1%	68.5%	3.5%
従業員数	1. 100人未満	73	8	59	6
		100.0%	11.0%	80.8%	8.2%
	2. 100人以上～300人未満	433	89	324	20
		100.0%	20.6%	74.8%	4.6%
	3. 300人以上～500人未満	127	24	102	1
		100.0%	18.9%	80.3%	0.8%
	4. 500人以上～1,000人未満	85	27	58	0
		100.0%	31.8%	68.2%	0.0%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	125	53	68	4
		100.0%	42.4%	54.4%	3.2%
6. 5,000人以上～10,000人未満	65	33	30	2	
	100.0%	50.8%	46.2%	3.1%	
7. 10,000人以上	70	41	28	1	
	100.0%	58.6%	40.0%	1.4%	
(無回答)	2	0	2	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

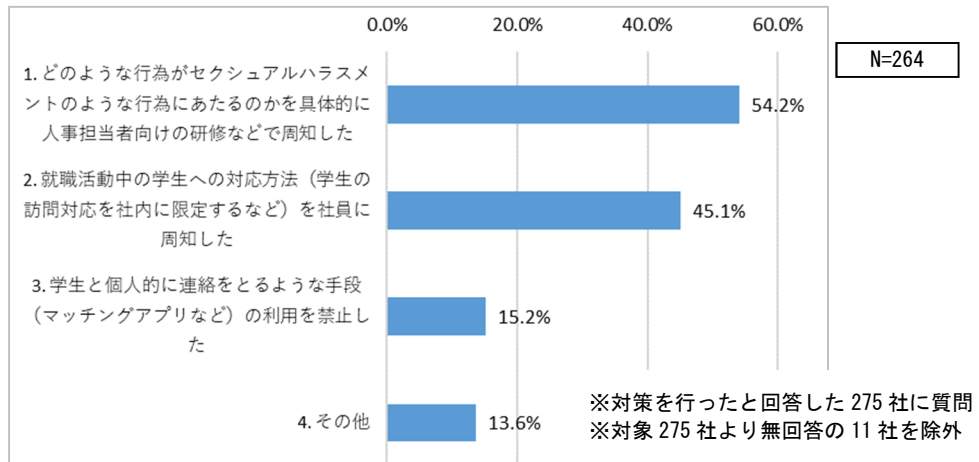
所在地別クロス集計表		全体	1. 行った	2. 行っていない	(無回答)
全体		980	275	671	34
		100.0%	28.1%	68.5%	3.5%
所在地	1. 北海道・東北	91	12	76	3
		100.0%	13.2%	83.5%	3.3%
	2. 関東（東京以外）	139	28	105	6
		100.0%	20.1%	75.5%	4.3%
	3. 東京	266	109	149	8
		100.0%	41.0%	56.0%	3.0%
	4. 中部	175	39	132	4
		100.0%	22.3%	75.4%	2.3%
	5. 近畿	172	57	110	5
		100.0%	33.1%	64.0%	2.9%
6. 中国・四国	81	13	63	5	
	100.0%	16.0%	77.8%	6.2%	
7. 九州・沖縄	53	16	34	3	
	100.0%	30.2%	64.2%	5.7%	
(無回答)	3	1	2	0	
	100.0%	33.3%	66.7%	0.0%	

#### (6) 企業において具体的にどのような対策をとったかについて

○ (5) にて「行った」と回答した企業（275社）に対して、具体的にどのような対策をとったかを尋ねたところ、「どのような行為がセクシュアルハラスメントのような行為にあたるのかを具体的に人事担当者向けの研修などで周知した」（54.2%）との回答が最も多く、次いで「就職活動中の学生への対応方法（学生の訪問対応を社内限定するなど）を社員に周知した」（45.1%）との回答が多かった。

企業において具体的にどのような対策をとりましたか（当てはまるものを全て選択）

全体	1. どのような行為がセクシュアルハラスメントのような行為にあたるのかを具体的に人事担当者向けの研修などで周知した	2. 就職活動中の学生への対応方法（学生の訪問対応を社内に限定するなど）を社員に周知した	3. 学生と個人的に連絡をとるような手段（マッチングアプリなど）の利用を禁止した	4. その他
264	143	119	40	36
	54.2%	45.1%	15.2%	13.6%



業種別クロス集計表	全体	1. どのような行為がセクシュアルハラスメントのような行為にあたるのかを具体的に人事担当者向けの研修などで周知した	2. 就職活動中の学生への対応方法（学生の訪問対応を社内に限定するなど）を社員に周知した	3. 学生と個人的に連絡をとるような手段（マッチングアプリなど）の利用を禁止した	4. その他
全体	264	143	119	40	36
		54.2%	45.1%	15.2%	13.6%
1. 鉱業・採石業、砂利採取業	0	0	0	0	0
		-	-	-	-
2. 建設業	17	6	12	3	1
		35.3%	70.6%	17.6%	5.9%
3. 製造業	111	55	50	14	19
		49.5%	45.0%	12.6%	17.1%
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	5	2	2	0	1
		40.0%	40.0%	0.0%	20.0%
5. 情報通信業	14	11	6	0	1
		78.6%	42.9%	0.0%	7.1%
6. 運輸業、郵便業	15	8	7	1	0
		53.3%	46.7%	6.7%	0.0%
7. 卸売業、小売業	47	28	18	10	5
		59.6%	38.3%	21.3%	10.6%
8. 金融業、保険業	13	6	10	4	2
		46.2%	76.9%	30.8%	15.4%
9. 不動産業、物品賃貸業	3	1	3	1	0
		33.3%	100.0%	33.3%	0.0%
10. 学術研究、専門・技術サービス業	2	1	2	0	0
		50.0%	100.0%	0.0%	0.0%
11. 宿泊業、飲食サービス業	3	3	0	0	1
		100.0%	0.0%	0.0%	33.3%
12. 生活関連サービス業、娯楽業	5	5	2	1	0
		100.0%	40.0%	20.0%	0.0%
13. 教育・学習支援業	4	2	1	0	1
		50.0%	25.0%	0.0%	25.0%
14. 医療、福祉	4	3	1	1	1
		75.0%	25.0%	25.0%	25.0%
15. サービス業（他に分類されないもの）	10	6	2	2	2
		60.0%	20.0%	20.0%	20.0%
16. その他	10	5	3	3	2
		50.0%	30.0%	30.0%	20.0%
(無回答)	1	1	0	0	0
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

従業員数別クロス集計表		全体	1. どのような行為がセクシュアルハラスメントのような行為にあたるのかを具体的に人事担当者向けの研修などで周知した	2. 就職活動中の学生への対応方法（学生の訪問対応を社内限定するなど）を社員に周知した	3. 学生と個人的に連絡をとるような手段（マッチングアプリなど）の利用を禁止した	4. その他
全体		264	143	119	40	36
			54.2%	45.1%	15.2%	13.6%
従業員数	1. 100人未満	7	5	2	0	0
			71.4%	28.6%	0.0%	0.0%
	2. 100人以上～300人未満	84	51	28	8	8
			60.7%	33.3%	9.5%	9.5%
	3. 300人以上～500人未満	22	15	8	2	4
			68.2%	36.4%	9.1%	18.2%
	4. 500人以上～1,000人未満	27	16	10	3	4
			59.3%	37.0%	11.1%	14.8%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	52	21	31	12	9
		40.4%	59.6%	23.1%	17.3%	
6. 5,000人以上～10,000人未満	32	13	18	9	4	
		40.6%	56.3%	28.1%	12.5%	
7. 10,000人以上	40	22	22	6	7	
		55.0%	55.0%	15.0%	17.5%	
(無回答)	0	0	0	0	0	
		-	-	-	-	

所在地別クロス集計表		全体	1. どのような行為がセクシュアルハラスメントのような行為にあたるのかを具体的に人事担当者向けの研修などで周知した	2. 就職活動中の学生への対応方法（学生の訪問対応を社内限定するなど）を社員に周知した	3. 学生と個人的に連絡をとるような手段（マッチングアプリなど）の利用を禁止した	4. その他
全体		264	143	119	40	36
			54.2%	45.1%	15.2%	13.6%
所在地	1. 北海道・東北	12	9	4	1	1
			75.0%	33.3%	8.3%	8.3%
	2. 関東（東京以外）	27	17	9	2	5
			63.0%	33.3%	7.4%	18.5%
	3. 東京	105	60	47	20	13
			57.1%	44.8%	19.0%	12.4%
	4. 中部	36	13	18	5	7
			36.1%	50.0%	13.9%	19.4%
	5. 近畿	56	26	31	6	8
		46.4%	55.4%	10.7%	14.3%	
6. 中国・四国	12	9	4	5	1	
		75.0%	33.3%	41.7%	8.3%	
7. 九州・沖縄	15	9	5	1	1	
		60.0%	33.3%	6.7%	6.7%	
(無回答)	1	0	1	0	0	
		0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

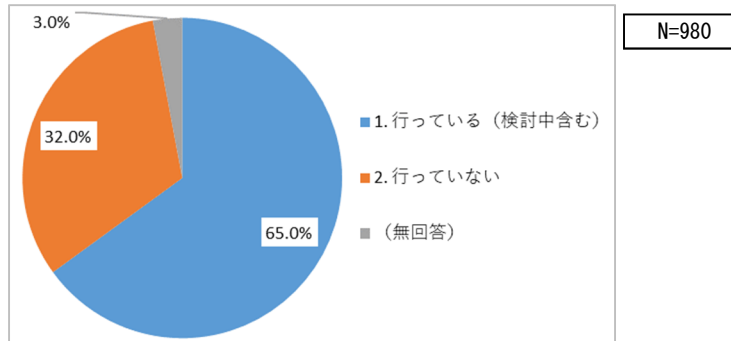
### (7) 卒業・修了後少なくとも3年間の適切な対応について

○政府の要請文書や申合せにおいて求められている、卒業・修了後少なくとも3年間は新規卒業・修了予定者の採用枠に応募できるような募集条件を設定するなどの適切な対応について、そのような対応を行っているかを尋ねたところ、「行っている（検討中を含む）」との回答が65.0%であった。



政府の要請文書や申合せにおいて、卒業・修了後少なくとも3年間は新規卒業・修了予定者の採用枠に応募できるような募集条件を設定するなど、適切な対応を求めているところですが、そのような対応を行っていますか（当てはまるものを一つ選択）

全体	1. 行っている（検討中含む）	2. 行っていない	（無回答）
980	637	314	29
100.0%	65.0%	32.0%	3.0%



業種別クロス集計表	全体	1. 行っている（検討中含む）	2. 行っていない	（無回答）
全体	980	637	314	29
	100.0%	65.0%	32.0%	3.0%
1. 鉱業・採石業、砂利採取業	2	1	1	0
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%
2. 建設業	95	72	22	1
	100.0%	75.8%	23.2%	1.1%
3. 製造業	354	217	127	10
	100.0%	61.3%	35.9%	2.8%
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	15	10	4	1
	100.0%	66.7%	26.7%	6.7%
5. 情報通信業	72	52	18	2
	100.0%	72.2%	25.0%	2.8%
6. 運輸業、郵便業	39	33	6	0
	100.0%	84.6%	15.4%	0.0%
7. 卸売業、小売業	191	107	75	9
	100.0%	56.0%	39.3%	4.7%
8. 金融業、保険業	24	17	7	0
	100.0%	70.8%	29.2%	0.0%
9. 不動産業、物品賃貸業	13	9	3	1
	100.0%	69.2%	23.1%	7.7%
10. 学術研究、専門・技術サービス業	15	14	1	0
	100.0%	93.3%	6.7%	0.0%
11. 宿泊業、飲食サービス業	14	9	5	0
	100.0%	64.3%	35.7%	0.0%
12. 生活関連サービス業、娯楽業	10	7	2	1
	100.0%	70.0%	20.0%	10.0%
13. 教育・学習支援業	14	7	6	1
	100.0%	50.0%	42.9%	7.1%
14. 医療、福祉	28	20	7	1
	100.0%	71.4%	25.0%	3.6%
15. サービス業（他に分類されないもの）	56	41	14	1
	100.0%	73.2%	25.0%	1.8%
16. その他	30	16	13	1
	100.0%	53.3%	43.3%	3.3%
（無回答）	8	5	3	0
	100.0%	62.5%	37.5%	0.0%

従業員数別クロス集計表		全体	1. 行っている (検討中含む)	2. 行っていない	(無回答)
全体		980	637	314	29
		100.0%	65.0%	32.0%	3.0%
従業員数	1. 100人未満	73	36	32	5
		100.0%	49.3%	43.8%	6.8%
	2. 100人以上～300人未満	433	270	147	16
		100.0%	62.4%	33.9%	3.7%
	3. 300人以上～500人未満	127	77	48	2
		100.0%	60.6%	37.8%	1.6%
	4. 500人以上～1,000人未満	85	55	28	2
		100.0%	64.7%	32.9%	2.4%
	5. 1,000人以上～5,000人未満	125	92	33	0
		100.0%	73.6%	26.4%	0.0%
6. 5,000人以上～10,000人未満	65	51	13	1	
	100.0%	78.5%	20.0%	1.5%	
7. 10,000人以上	70	55	12	3	
	100.0%	78.6%	17.1%	4.3%	
(無回答)	2	1	1	0	
	100.0%	50.0%	50.0%	0.0%	

所在地別クロス集計表		全体	1. 行っている (検討中含む)	2. 行っていない	(無回答)
全体		980	637	314	29
		100.0%	65.0%	32.0%	3.0%
所在地	1. 北海道・東北	91	62	28	1
		100.0%	68.1%	30.8%	1.1%
	2. 関東 (東京以外)	139	90	42	7
		100.0%	64.7%	30.2%	5.0%
	3. 東京	266	180	76	10
		100.0%	67.7%	28.6%	3.8%
	4. 中部	175	110	63	2
		100.0%	62.9%	36.0%	1.1%
	5. 近畿	172	108	61	3
		100.0%	62.8%	35.5%	1.7%
6. 中国・四国	81	49	28	4	
	100.0%	60.5%	34.6%	4.9%	
7. 九州・沖縄	53	37	15	1	
	100.0%	69.8%	28.3%	1.9%	
(無回答)	3	1	1	1	
	100.0%	33.3%	33.3%	33.3%	

以上

## 4. 調査票

### 調査票

#### 2019年度就職・採用活動に関する調査（企業）

文部科学省では、今年度も就職問題懇談会の協力を得て、同封の「2019年度就職・採用活動に関する調査」の実施について（依頼）のとおり、2019年度就職・採用活動に関する調査を実施させていただきたく存じます。企業の皆さまにおかれましては趣旨を御理解の上、御協力をお願い致します。

本調査については、とりまとめ次第公表いたしますが、大学等関係団体（注）の代表から構成され、大学等卒業・修了予定者の在り方について検討・協議を行う就職問題懇談会において、就職・採用活動の在り方に関する議論や経済団体との意見交換を行う際にも活用させていただきます。

（注）国立大学協会、公立大学協会、日本私立大学団体連合会、全国公立短期大学協会、日本私立短期大学協会、  
独立行政法人国立高等専門学校機構、全国公立高等専門学校協会、日本私立高等専門学校協会

#### 【回答にあたってのお願い】

本調査は文部科学省が実施するものですが、調査票の送付、回収、集計については、テントセント株式会社が行います。

- ①回答は、2019年8月1日時点の状況について、御回答願います。
- ②回答は、社長など経営の責任者の方に回答内容の了解を得たうえで、御回答くださるようお願い致します。
- ③回答は、本調査票に直接記載いただき、同封の返信用封筒にて、御返送下さい。  
2019年8月7日（水）までに御投函を御願致します。
- ④実態を把握するために率直な回答をお願い致します。調査に御協力いただいた企業が回答内容により不利益を受けることはありません。記入できない設問については未記入のままでかまいません。
- ⑤回答を記入するにあたり、御質問がございましたら、委託会社であるテントセント株式会社までお問合せ下さい。【問合せ先：（電話）03-3268-3363（メール）mext2019@tentosento.com】
- ⑥本調査は公表を予定していますが、全体をとりまとめた結果を公表しますので、個別の企業が特定されることはありません。
- ⑦本調査で御提供いただいた情報については、調査における検討・分析のみに使用し、個別の回答結果が第三者に漏れることのないよう、文部科学省の指導・監督の下、本調査事業の受託者であるテントセント株式会社の責任において管理いたします。

#### 【用語の定義】

- ・「就職活動」とは、学生が具体的な就職先を決定するための活動として、会社説明会への参加、エントリーシートの記入・提出、企業訪問など企業の「採用活動」に対応して行う活動を指します。
- ・「採用活動」は「広報活動」と「採用選考活動」に分けられます。
- ・「広報活動」とは、企業が採用予定数や選考スケジュールなど採用を目的とした情報を学生に対して発信する活動であって採用のための実質的な選考とならない活動を指します。（例：会社説明会）
- ・「採用選考活動」とは、企業が面接等の採用のための実質的な選考を行う活動であって、採用のために学生の参加が必須となる活動を指します。（例：面接、試験）
- ・学生の業界研究や企業研究に資する採用を目的としない一般的な企業情報の提供（一般的な広報）は「採用活動」には含まれません。
- ・「就職活動」と「採用活動」を合わせたものを「就職・採用活動」とします。
- ・「本年度」とは、2019年度（令和元年度）を指し、「本年度の就職・採用活動」とは2020年（令和2年）3月卒業・修了予定者に関する就職・採用活動を指します。

## I. 貴社のことについて伺います。

(問1) 貴社が属する業種は次のうちどれですか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

- |                  |                     |                       |
|------------------|---------------------|-----------------------|
| 1. 鉱業・採石業、砂利採取業  | 7. 卸売業、小売業          | 13. 教育・学習支援業          |
| 2. 建設業           | 8. 金融業、保険業          | 14. 医療、福祉             |
| 3. 製造業           | 9. 不動産業、物品賃貸業       | 15. サービス業(他に分類されないもの) |
| 4. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 10. 学術研究、専門・技術サービス業 | 16. その他               |
| 5. 情報通信業         | 11. 宿泊業、飲食サービス業     |                       |
| 6. 運輸業、郵便業       | 12. 生活関連サービス業、娯楽業   |                       |

(問2) 貴社の従業員数は次のうちどれですか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 100名未満          | 5. 1,000名以上～5,000名未満  |
| 2. 100名以上～300名未満   | 6. 5,000名以上～10,000名未満 |
| 3. 300名以上～500名未満   | 7. 10,000名以上          |
| 4. 500名以上～1,000名未満 |                       |

(問3) 貴社の所在地は次のうちどれですか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

※本社の所在地を選択して下さい。

- |           |             |       |       |       |
|-----------|-------------|-------|-------|-------|
| 1. 北海道・東北 | 2. 関東(東京以外) | 3. 東京 | 4. 中部 | 5. 近畿 |
| 6. 中国・四国  | 7. 九州・沖縄    |       |       |       |

## II. 本年度の就職・採用活動時期の周知状況について伺います。

本年度の就職・採用活動の開始時期の周知状況について伺います。

本年度の就職・採用活動の開始時期については、経団連の「採用選考に関する指針」等により、広報活動3月1日以降、採用選考活動6月1日以降となっており、昨年度と同様の時期に設定されています。このことについて以下の設問に御回答下さい。

(問4) 就職・採用活動開始時期が昨年度と同様の時期に設定されたことについて、貴社に対して経済団体・業界団体、大学等から周知がありましたか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 周知があった | 2. 周知はなかった |
|-----------|------------|

(問5) 就職・採用活動時期の設定に関する情報の入手先は何ですか。(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

- |                           |              |           |           |
|---------------------------|--------------|-----------|-----------|
| 1. 政府の要請文書                | 2. 経済団体・業界団体 | 3. 大学等    | 4. ハローワーク |
| 5. 求人情報会社(就職関連情報サイトを含む)   | 6. 報道        | 7. 知らなかった |           |
| 8. その他(以下に具体的な内容を御記載下さい。) |              |           |           |

[

]



【問11】で1.～5.と御回答いただいた方に伺います。

（問12）採用選考活動開始時期を6月より前にした理由は何ですか。（当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。）

1. 競合する他社よりも早く学生に接触するため      2. 採用選考活動開始時期を認識していなかったため  
3. 以前から採用活動を独自のスケジュールで実施していたため      4. 早い段階で来年度の採用予定者を確定しておくため  
5. その他（以下に具体的な内容を御記載下さい。）

[ ]

【内々定を出し始めた時期等】

（問13）貴社が内々定を出し始めた時期は、いつでしたか。（当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。）

※内々定には、内々定以外の名称であっても実質的な内々定に該当するものを含みます。

1. 2019年1月以前      2. 2019年2月      3. 2019年3月      4. 2019年4月  
5. 2019年5月      6. 2019年6月      7. 2019年7月以降

【採用予定者数の確保】

（問14）現時点において、本年度の採用予定数を確保できていますか。（当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。）※8月1日時点でお答えください。

1. 概ね確保できた      2. まだ確保できていない → 2. と御回答いただいた方は、問16にお進み下さい。

【問14】で「1. 概ね確保できた」と御回答いただいた方に伺います。

（問15）採用予定数を概ね確保できた時期はいつですか。（当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。）

1. 2019年1月以前      2. 2019年2月      3. 2019年3月      4. 2019年4月  
5. 2019年5月      6. 2019年6月      7. 2019年7月

【問14】で「2. まだ確保できていない」と御回答いただいた方に伺います。

（問16）採用予定数を確保できない理由は何ですか。以下から当てはまるものを選択して下さい。

（当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。）

1. 内々定辞退数が想定を上回ったため      2. 売り手市場で他社との競争が激しいため  
3. 他社が採用活動時期を遵守していないため      4. 採用予定数を各社とも増加させたため  
5. 採用したいと思う学生と出会わなかったため      6. まだ採用選考活動期間中であるため  
7. その他（以下に具体的な内容を御記載下さい。）

[ ]

【内定辞退や早期離職について】

（問17）内定辞退や早期離職について伺います。内定辞退や早期離職が生じる原因は何にあると思いますか。

（以下の各項目について、当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。）

※早期離職とは、入社後「3年以内」の離職として御回答下さい。

(1) 内定辞退の原因と思うもの

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらでもない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①大学等におけるキャリア教育や就職指導が不十分	1	2	3	4	5
②就職関連企業のサービス内容が学生を煽る傾向にあり、職業選択に効果的なものとなっていない	1	2	3	4	5
③企業の選考過程において、学生を十分に評価（マッチング）できていない	1	2	3	4	5
④学生自身の業界研究・企業研究が不十分	1	2	3	4	5
⑤産業・就業構造の変化や景気動向の影響	1	2	3	4	5
⑥その他（御自由に記述下さい。）					

(2) 早期離職の原因と思うもの

	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらでもない	どちらかといえばそう思わない	そう思わない
①大学等におけるキャリア教育や就職指導が不十分	1	2	3	4	5
②就職関連企業のサービス内容が学生を煽る傾向にあり、職業選択に効果的なものとなっていない	1	2	3	4	5
③企業において、働きやすい職場づくりへの取組が不十分	1	2	3	4	5
④学生自身の業界研究・企業研究が不十分	1	2	3	4	5
⑤産業・就業構造の変化や景気動向の影響	1	2	3	4	5
⑥学生のキャリア意識の変化（終身雇用にこだわらない等）	1	2	3	4	5
⑦その他（御自由に記述下さい。）					

(問18)

貴社では、内定辞退や早期離職の防止のために取り組まれていることはありますか。(自由記述)

[ ]

[ ]

【夏季・秋季の採用活動時期について】

(問19) 本年度の就職・採用活動において、夏季・秋季から開始される採用選考活動(※)を行っていますか。

(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

(※) 夏季、秋季から開始される採用選考活動のため、概ね6月以降に応募(エントリー)を開始し、面接等を行うもの。

1. 行っている      2. 行っていない、今後行う予定      3. 行っていない、今後も未定

**V. 就職・採用活動開始時期について**

【就職・採用活動の開始時期が昨年度と同様の時期になったことについて】

(問20) 本年度の就職・採用活動の開始時期が昨年度と同様の時期(広報活動3月、採用選考活動6月)に設定されたことについて、本年度の貴社の採用活動にどのような影響がありましたか。良い影響があったと思うこと、課題となったことについて、それぞれ御回答下さい。(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

(1) 良い影響があったと思うこと

1. 採用の準備や計画が立てやすくなった  
2. 昨年度よりは業界研究や企業研究をしっかり行う学生が見られた  
3. 同じ日程であるため効率化を行い人事担当者の業務量が減少した  
4. 同じ日程であるため効率化を行い採用に係る費用が減少した  
5. 特にな  
6. その他(以下に具体的な内容を御記載下さい。)
- [ ]

(2) 課題となったこと

1. 開始時期を遵守せず、早期に採用選考活動を開始する企業がいた  
2. 業界研究や企業研究が不足している学生が見受けられた  
3. 内々定を辞退する学生が増えた  
4. 学生の教育実習の時期と面接日程が重なってしまい、面接が実施できなかったり、面接日程の大幅な調整の必要が生じた  
5. 学生の留学の時期と面接日程が重なってしまい、面接が実施できなかったり、面接日程の大幅な調整の必要が生じた  
6. 特にな  
7. その他(以下に具体的な内容を御記載下さい。)
- [ ]

**VI. 学生の学業等への配慮について**

(問21) 本年度の採用・広報活動・インターンシップにおいて、学生の学業等への配慮を行っていましたか。

(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. 行っていた      2. 行っていない      → 2. と御回答いただいた方は、問23にお進み下さい。



問21で「1. 行っていた」と御回答いただいた方に伺います。

(問22) 本年度の採用・広報活動・インターンシップにおいて、行っていた配慮の内容はどのようなことですか。  
(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

1. 説明会や面接日・インターンシップ実施日について、余裕を持って連絡するよう努めた
2. 夕方や土日に説明会や面接を行った
3. 授業等の事情に応じて面接の日程変更を行った
4. 教育実習と面接が重複した学生に対し別の日程を提示する等、配慮した
5. 地方から都市部への就職活動等、遠隔地間の就職活動をする学生への配慮を行った  
(例：オンライン面接、地方での面接実施)
6. 日本人留学経験者向けの採用選考活動の別スケジュールを設定した
7. クールビズを認めていた
8. その他(以下に具体的な内容を御記載下さい。)

[

]

(問23) 本年度の採用活動において、学生から貴社の面接等の日程と学業(授業、実習、ゼミ、留学等)の日程が重なったため、面接等の日程を変更するなどの配慮をしてほしいと相談を受けたことはありましたか。  
(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. 受けた      2. 受けていない      → 2. と御回答いただいた方は、問27にお進み下さい。

問23で「1. 受けた」と御回答いただいた方に伺います。

(問24) 学生はどのような学業の日程と重なったと相談してきましたか。(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

1. 授業、ゼミ      2. 試験      3. 留学      4. 教育実習
5. その他(以下に具体的な内容を御記載下さい。)

[

]

(問25) 貴社では、相談を受けた学生のうち、どのくらいの学生に対応しましたか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. ほぼすべての学生に、日程の変更等の対応をした
2. 半分より多くの学生に、日程の変更等の対応をした
3. 日程の変更等の対応をした学生は半々程度
4. 半分より少ない学生に、日程の変更等の対応をした
5. 日程の変更等の対応をした学生は、ほとんどいない
6. 基本的に学生からの個別の要望に対応していない

→ 1. と御回答いただいた方は、問27にお進み下さい。

問25で2.～6. と御回答いただいた方に伺います。

(問26) 学生からの申し出に対応できなかった又は対応しなかったのはどのような理由でしたか。  
(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

1. 日程を合わせることができなかったため
2. 採用スケジュール全体の遅れが懸念されたため
3. 対応に必要な人員や予算が不足していたため
4. その他(以下に具体的な内容を御記載下さい。)

[

]

## Ⅶ. 採用選考活動における学業成果の活用について

(問27) 採用選考活動において、卒業・修了前年度までの学業成果(成績や履修履歴等)を重視していますか。  
(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. 大いに重視している      2. ある程度重視している      3. どちらとも言えない  
4. あまり重視していない      5. 全く重視していない

→3. と御回答いただいた方は、問30に、4. 5. とご回答いただいた方は、問29にお進み下さい。

(問27)で「1. 大いに重視している」「2. ある程度重視している」と御回答いただいた方に伺います。

(問28) 採用選考活動において、学業成果のどのような点について重視していますか。(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

1. どのような科目を履修しているか      2. どのような成績状況か      3. 本年度卒業見込みの状況であるか  
4. その他(以下に具体的な内容を御記載下さい。)

[

]

(問27)で「4. あまり重視していない」「5. 全く重視していない」と御回答いただいた方に伺います。

(問29) 採用選考活動において、学業成果を重視するとした場合、どのような要素が必要ですか。(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

1. 成績分布(大学における学生の成績状況がわかるもの)      2. 履修科目の具体的な内容      3. 大学間の相対評価  
4. その他(以下に具体的な内容を御記載下さい。)

[

]

(問30) 本年度の応募者全員に学業成果を表す書類やデータ(例えば、成績証明書や履修履歴等)の提出を求めていますか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. 求めている      2. 求めているが来年度以降求める予定である  
3. 求めておらず、今後は未定      4. 求めておらず、今後も求める予定はない

→2. ～4. と御回答いただいた方は、問35にお進み下さい。

(問30)で「1. 求めている」と御回答いただいた方に伺います。

(問31) どの段階で学生に学業成果を表す書類やデータ(例えば、成績証明書や履修履歴等)を提出させましたか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. 募集時      2. 1次面接時      3. 2次面接時以降      4. 内々定時      5. 内々定後

(問32) 選考にあたり、どの段階で学業成果を表す書類やデータ(例えば、成績証明書や履修履歴等)を活用しましたか。(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

1. 書類選考時      2. 1次面接時      3. 2次面接時以降      4. 内々定時      5. 内々定後  
6. 提出させたが、活用するかは未定

(問33) 面接の中で、提出された学業成果を表す書類やデータ(例えば、成績証明書や履修履歴等)に基づき、質問をしましたか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. 質問をした      2. 質問をしなかった      → 2. と御回答いただいた方は、問35にお進み下さい。

(問33)で「1. 質問をした」と御回答いただいた方に伺います。

(問34) 質問をしてよかったと思うことは何ですか。(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

1. 学業以外の評価と合わせることで、多面的な評価ができた
2. 学習成果について聞くことで、会社の求める能力と合致していることがわかった
3. 学生自身がアピールしたこと以外の長所がわかった
4. 無駄な質問をすることなく、速やかに学生の評価が決まった
5. 学生の自己アピールとの矛盾、脚色に気づいた
6. 大学の学業に対する取組や考え方等の特徴を知ることができた
7. その他(以下に具体的に御記入下さい。)

[

]

#### VIII. 学校推薦について

(問35) 学校推薦による採用を行っていますか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. 文系・理系ともに行っている      2. 理系のみ行っている      3. 文系のみ行っている
4. 学校推薦による採用は行っていない

→ 4. と御回答いただいた方は、問37にお進み下さい。

(問33)で1.～3. と御回答いただいた方に伺います。

(問36) 学生に学校からの推薦状をいつまでに提出させていますか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. 2018年10月以前      2. 2018年11月～12月      3. 2019年 1月～2月
4. 2019年 3月～5月      5. 2019年 6月以降

#### IX. 留学経験者の採用等について

(問37) 貴社では、留学経験者(日本人の学生で海外留学を経験した者(留学中も含む))の採用についてどのようにお考えですか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. 留学経験者を積極的に採用したい      2. 採用に当たっては、留学経験の有無は考慮しない
3. わからない

(問38) 本年度の採用選考活動について、貴社が、留学経験者（日本人の学生で海外留学を経験した者）の採用のために行っていることは何ですか。（当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。）

1. 別途のスケジュールを設けている  
2. 現在、別途のスケジュールを設けていないが、来年度別途スケジュールを設けることを検討している  
3. 入社時期を変えている      4. 海外に出向いて採用活動を行っている      5. 特に行っていない  
6. その他（以下に具体的な内容を御記載下さい。）

[

]

## X. インターンシップについて

(問39) 貴社は、2019年度(令和元年度)卒業・修了予定者(2020年(令和2年)3月卒業・修了予定者)を対象としたインターンシップを実施しましたか。（当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。）

※複数の学年を対象としている場合でも、2019年度(令和元年度)卒業・修了予定者(2020年(令和2年)3月卒業・修了予定者)が参加していれば、「実施した」を選択下さい。

1. 実施した      2. 実施していない      →      2. と御回答いただいた方は、問52にお進みください。

(問39)で「1. 実施した」と御回答いただいた方に伺います。

(問40) インターンシップの実施目的として最も大きいものは何ですか。（最も当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。）

1. 人材育成（キャリア教育）への貢献      2. 業界全体への理解促進      3. 自社への理解促進  
4. 採用選考の一環      5. 採用を目的とした説明会等の一環      6. 自企業への潜在的応募者の確保（母集団形成）  
7. その他 [ ]

→ 4. と御回答いただいた方は、問41に、6. と御回答いただいた方は、問42に、それ以外の御回答の方は、問43にお進みください。

(問40)で「4. 採用選考の一環」と御回答いただいた方に伺います。

(問41) 採用選考としてインターンシップを活用する理由をお答えください。（複数回答可）

1. 従来の面接等よりも、より学生の能力等がわかり、よりよい選考につながるため      4. 採用した者の定着率が高いため  
2. 学生に対して、自社のより深いPRにつながるため      5. 採用業務の平準化のため  
3. 早い段階で学生と接触することにより、学生から応募されやすくなるため      6. その他（以下に具体的な内容を御記載下さい。）  
[ ]

(問40)で「6. 自企業への潜在的応募者の確保（母集団形成）」と御回答いただいた方に伺います。

(問42) インターンシップの実施により、目的はどの程度達成されましたか。

（当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。）

1. インターンシップ参加から本選考に応募した学生が多く、目的が達成された  
2. ある程度達成された      3. あまり達成されなかった      4. 母集団形成には効果がなかった

(問43) インターンシップを実施した時期はいつですか。(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

2018年

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
a	b	c	d	e	f	g	h	i

2019年

1月	2月	3月	4月	5月	6月以降
j	k	l	m	n	o

(問44) 1回あたりのインターンシップについて、実施日数は何日間ですか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。) ※複数のプログラムを実施している企業におかれては、一番多く実施しているプログラムの日数で御回答ください。

1. 1営業日 2. 2～4営業日 3. 5～9営業日 4. 10営業日以上～1カ月未満 5. 1カ月以上

(問44)で「1. 1営業日」と御回答いただいた方に伺います。

(問45) 1日間(1営業日)のインターンシップの内容はどのようなものですか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。) ※選択肢1～4を組み合わせて実施している場合は、1日の中で最も多くの時間を割いているものを選択下さい。

1. 社員の業務を経験するもの 2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みせるもの  
3. 企業の業務内容の説明(職場見学、社員との座談会を含む) 4. その他 [ ]

(問44)で「2. 2～4営業日」と御回答いただいた方に伺います。

(問46) 2～4日間(2～4営業日)のインターンシップの内容はどのようなものですか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。) ※選択肢1～4を組み合わせて実施している場合は、最も多くの時間を割いているものを選択下さい。

1. 社員の業務を経験するもの 2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みせるもの  
3. 企業の業務内容の説明(職場見学、社員との座談会を含む) 4. その他 [ ]

(問44)で「3. 5～9営業日」と御回答いただいた方に伺います。

(問47) 5～9日間(5～9営業日)のインターンシップの内容はどのようなものですか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。) ※選択肢1～4を組み合わせて実施している場合は、最も多くの時間を割いているものを選択下さい。

1. 社員の業務を経験するもの 2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みせるもの  
3. 企業の業務内容の説明(職場見学、社員との座談会を含む) 4. その他 [ ]

(問44)で「4. 10営業日以上～1カ月未満」と御回答いただいた方に伺います。

(問48) 10日間～1カ月未満(10営業日～1カ月未満)のインターンシップの内容はどのようなものですか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。) ※選択肢1～4を組み合わせて実施している場合は、最も多くの時間を割いているものを選択下さい。

1. 社員の業務を経験するもの 2. ワークショップなど、受け入れ企業に関連する課題に取り組みせるもの  
3. 企業の業務内容の説明(職場見学、社員との座談会を含む) 4. その他 [ ]



(問55) 就職・採用活動の日程について、何らかのルールは必要ですか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. 必要      2. 不要      3. 分からない

(問55) で「1. 必要」と御回答いただいた方に伺います。

(問56) 就職・採用活動の日程に関する現在のルールの内容(広報活動3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降)に賛成ですか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. 賛成(日程は現在のままでいい)      2. 反対(日程について何らかのルールは必要だが、現在の日程は変えた方がいい)

(問55) で「2. 不要」と御回答いただいた方に伺います。

(問57) 就職・採用活動の日程について、何らかのルールが不要な理由を教えてください。(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

1. 政府が就職・採用活動の日程等のルールを定めることに反対  
2. 決定主体にかかわらず、就職・採用活動の日程等のルールを定めることに反対(ルールは不要)  
3. 今回の就職・採用活動の日程等のルールの内容に反対  
4. その他(以下に具体的な内容を御記載下さい。)

[

]

(問57) で「3. 今回の就職・採用活動の日程等のルールの内容に反対」と御回答いただいた方に伺います。

(問58) 今回の就職・採用活動の日程等のルールのどの内容に反対ですか。(当てはまるものをすべて○印で囲んで下さい。)

1. 就職・採用活動の日程(広報活動開始:卒業前年度3月、採用選考活動始:卒業年度6月)  
2. 学事日程等への配慮      3. 日本人海外留学生や外国人留学生などに対する多様な採用選考機会の提供  
4. 公平・公正で透明な採用の徹底      5. インターンシップの取扱い      6. 成績証明等の一層の活用  
7. クールビズ等への配慮      8. 卒業・修了後3年以内の既卒者の取扱い  
9. その他(以下に具体的な内容を御記載下さい。)

[

]

(問59) 来年度の就職・採用活動時期は上記のとおり設定されているところですが、そもそも就職・採用活動の開始時期(広報活動3月、採用選考活動6月)が設定されていることについてどう考えますか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. 現在の開始時期でよい      2. 広報活動は自由に開始した方がよい      3. 採用選考は自由に開始した方がよい  
4. いずれの開始時期も自由に設定した方がよい(開始時期の設定は不要)      5. どちらともいえない  
6. その他(以下に具体的な内容を御記載下さい。)

[

]

## XII. その他

(問60) 本年度の就職・採用活動において、学生に対し、内々定を出した後に、辞退されたことはありますか。  
(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. ある      2. ない      → 2. と御回答いただいた方は、問62にお進み下さい。

(問60) で「1. ある」と御回答いただいた方に伺います。

(問61) 学生が辞退する際に以下のようなことはありましたか。(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

1. 第一志望であることを確認して、学生に内々定を出したが、辞退された
2. 学校推薦を受け、内々定を出したが、辞退された
3. 内々定後、内々定者の研修会や懇親会に参加していたが、辞退された
4. 内々定後、承諾書や誓約書を提出していたが、辞退された
5. その他(具体的な内容を御記載下さい。)

(問62) 本年度の就職・採用活動において、学生に対し、他社への就職活動の終了を求めたことはありましたか。  
(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)※回答が難しければ、無回答としていただいても結構です。

1. ある      2. ない      → 2. と御回答いただいた方は、問64にお進み下さい。

(問62) で「1. ある」と御回答いただいた方に伺います。

(問63) 具体的にどのようなことを求めましたか。(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

1. 内々定を出す代わりに他社への就職活動の終了を求めた
2. 内々定後、長時間(長期間)の研修を行い、必ず出席するよう求めた
3. 内々定後、懇親会を頻繁に開催し、必ず出席するよう求めた
4. 自由応募であったが、内々定を出す段階になって、他社への就職活動の終了を求める意図で、急ぎょ大学の推薦状の提出を求めた
5. 内々定の段階で、内定承諾書の提出を求め、内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと伝えた
6. 内々定の辞退を申し出た学生に対し、何度も説明して引き止めた
7. その他(具体的な内容を御記載下さい。)

(問64) 昨今、企業の社員による就職活動中の学生に対するセクシュアルハラスメントのような行為が問題となっています。本年度の就職・採用活動において、学生に対するセクシュアルハラスメントのような行為を防止するために、対策をしましたか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

1. 行った      2. 行っていない      → 2. と御回答いただいた方は、問66にお進み下さい。



(問64)で「1. 行った」と御回答いただいた方に伺います。

(問65)企業において具体的にどのような対策をとりましたか。(当てはまる番号をすべて○印で囲んで下さい。)

- 1. どのような行為がセクシュアルハラスメントのような行為にあたるのかを具体的に人事担当者向けの研修などで周知した
- 2. 就職活動中の学生への対応方法(学生の訪問対応を社内限定するなど)を社員に周知した
- 3. 学生と個人的に連絡をとるような手段(マッチングアプリなど)の利用を禁止した
- 4. その他(具体的な内容を御記載下さい。)[ ]

(問66)政府の要請文書や申合せにおいて、卒業・修了後少なくとも3年間は新規卒業・修了予定者の採用枠に応募できるような募集条件を設定するなど、適切な対応を求めているところですが、そのような対応を行っていますか。(当てはまる番号一つを○印で囲んで下さい。)

- 1. 行っている(検討中含む)      2. 行っていない

**アンケートは以上で終了です。御協力ありがとうございました。**

最後に、御担当者様の連絡先等を御記載ください。

※アンケートに誤記などがある場合、確認のために使用する場合があります。

記載せずに御提出いただいてもかまいません。

御社名	
担当部署	
御連絡先	電話：  メールアドレス：